Canon

カラーレーザビームプリンタ

COLOR LASER SHOT

LBP-2360/2300

設置ガイド

最初にお読みください。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

マニュアルの構成について

キヤノン　COLOR LASER SHOT LBP-2360/2300をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本プリンタには、次のようなマニュアルが用意されています。目的に応じてマニュアルをお読みいただき、本プリンタを十分にご活用ください。また、マニュアルはお読みいただいた後も大切に保管しておいてください。

＊上記はLBP-2360の表紙例です。

その他のマニュアル

＊別売のマニュアルやオプション品のお求めについては販売店にご相談ください。

LIPS対応のプリンタドライバや印刷設定プログラムなどを作成するための、プログラマー用のマニュアルです。　→　**プログラマーズマニュアル（別売）**

オプション品に付属されております取扱説明書は、本プリンタ専用には記載されておりません。オプション品を本プリンタと併せてご使用になる場合は、本プリンタに付属の取扱説明書をご覧ください。　→　**オプション品に付属のマニュアル**

●本書に記載されている内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

●本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

設置ガイドの使いかた

第1章　設置前の準備　必ずお読みください

本プリンタを設置する前に必要な準備や、注意事項、オプションの概要を説明しています。

第2章　設置のしかた　必ずお読みください

本プリンタを梱包箱から取り出し、使えるようにするまでの手順を説明しています。

第3章　オプションの取り付け　必要に応じてお読みください

本プリンタの代表的なオプションの取り付けかたを説明しています。オプション品を取り付ける前に　第1章「設置手順について」（→P.14～15）をお読みになり、オプション品の取り付け位置と設置手順をご確認ください。

付　録　必要に応じてお読みください

本プリンタとオプション製品の主な寸法、保守契約制度のご案内を掲載しています。

お願い

- **オプションの使いかたについては、「ユーザーズガイド」をご覧ください。**
- **オプションのプリントサーバの取り付けかたについては、プリントサーバに付属の設置手順をご覧ください。**

目次

本書の読みかた 4
設置サービスのご案内 6
無償保証について 6

第 1 章　設置前の準備

オプションについて 8
設置手順について 14
設置場所について 16
設置環境 16
設置スペース 18

第 2 章　設置のしかた

パッケージの内容をご確認ください 22
シリアルナンバーの表示位置について 23
設置場所に運ぶ 24
梱包材を取り外す 26
電源コードを接続する 31
カートリッジをセットする 34
K（ブラック）トナーカートリッジの取り付け 36
ドラムカートリッジの取り付け 39
カラートナーカートリッジの取り付け 42
用紙をセットする 46
パソコンと接続する 51
DOS/Windows パソコンとの接続 51
Macintosh パソコンとの接続 54
ネットワークとの接続 56
PS/55、PS/V シリーズとの接続 59
動作を確認する 60
プリンタの動作を確認する 60
プリントサーバの動作を確認する 62

第 3 章　オプションの取り付け

500 枚カセット **68**
上段カセットを追加する（LBP-2300 のみ） 69
カセットを交換する 75
両面ユニット **77**
RAM/ROM **81**
プリントサーバ **89**
ハードディスク（LBP-2360 のみ） **95**
オプションコントローラボード **106**
7 ビンソータ **111**

付 録

各部の寸法 **124**
索 引 **128**
保守契約制度のご案内 **130**
商標について **132**

本書の読みかた

■マークについて

本書では、絶対にしないでいただきたいことや注意していただきたいこと、参考にしていただきたいことの説明には、次のようなマークを付けています。これらのマークの箇所は必ずお読みください。

警告

●取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意

●取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

お願い

●操作上必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。機械の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。

メモ

●操作の参考になることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

■キーの表記について

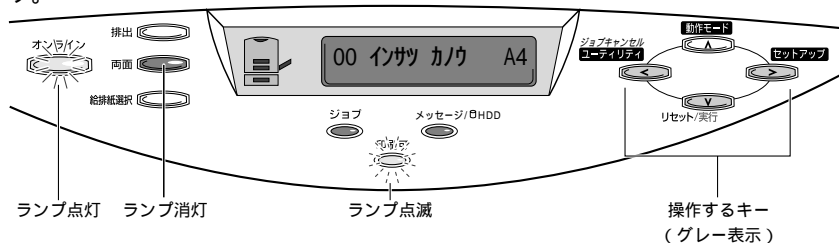
本書の説明文中で、操作パネルのキーを表すときは、キーの名称を（　）の枠で囲んでいます。

例）（オンライン）：操作パネルの「オンライン」キーを表しています。

■イラスト／画面例について

本書の説明文中では、LBP-2360のイラストを例に説明しています。イラストや画面例が、ご使用の機械と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。LBP-2300の標準状態では、カセット1、プリントサーバおよびLANコネクタはありません。（ただし、LBP-2300にオプションを取り付けると、カセット1やプリントサーバが使用可能となります。）
また、HDDランプはLBP-2300にはありません。

■イラスト内のキーやランプ表示について

本書の説明文中に使用している操作パネルのイラストで、ランプの状態は次のように表しています。

■略称について

本書では、Microsoft® Windows® を Windows と記述しています。
COLOR LASER SHOT LBP-2360 を LBP-2360、COLOR LASER SHOT LBP-2300 を LBP-2300、キヤノンレーザショット内蔵型プリントサーバ NB-4F をプリントサーバ NB-4F と記述しています。

設置サービスのご案内

本プリンタの設置は、「設置ガイド」および「ユーザーズガイド」をご一読いただくことで簡単に行えますが、設置について不安な場合、遠隔地に設置をご希望される場合には、専門のサービスマンが設置を有償で行います。本プリンタをお買い求めの販売店などへ依頼してください。
また、本プリンタに7ビンソータ用ペディスタルと7ビンソータを組み合わせて使用する場合、およびペーパーデッキや本プリンタ専用ペディスタルを取り付けて使用する場合は、専門のサービスマンが設置します。ご購入の際は、本プリンタをお買い求めの販売店に設置を依頼してください。お客様による設置はできません。

無償保証について

・本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より6ヶ月です。
・定期交換部品は無償保証の対象外となります。定期交換部品については、ユーザーズガイド付録「定期交換部品のご案内」をご覧ください。
・無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

第 1 章

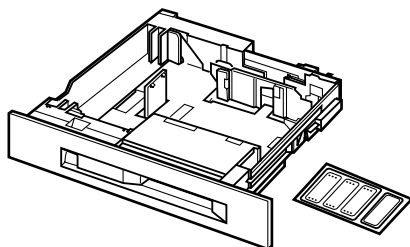
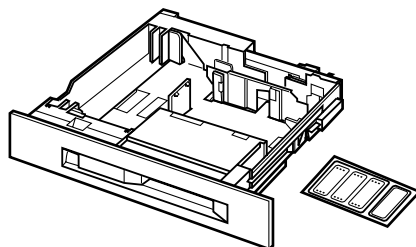
設置前の準備

オプションについて **8**
設置手順について **14**
設置場所について **16**
設置環境 16
設置スペース 18

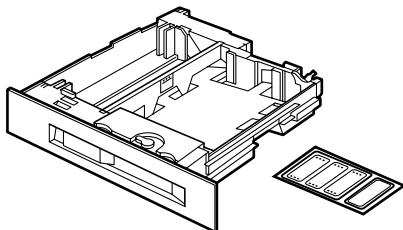
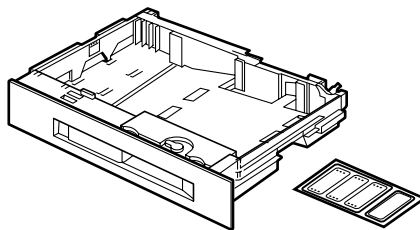
オプションについて

本プリンタの機能をフルに活かしてお使いいただくために、次のようなオプション品が用意されています。必要に応じてお買い求めください。オプション品については、本プリンタをお買い上げになった販売店にお問い合わせください。

■ 500枚カセット（→ P.68）

B5またはA5の用紙を縦送りするための給紙カセットです。用紙サイズ毎に2種類の専用給紙カセットが用意されています。普通紙（64g/m²）を最大で500枚までセットできます。LBP-2360の場合は、プリンタ本体の上段カセット（カセット1）と差し換えて使用します。LBP-2300の場合は、プリンタ本体の上段カセットカバーを取り外して使用します。また、2×500枚ペーパーデッキ-C1、2×500枚ペーパーデッキ-C1Lの上段カセット（カセット3）と差し替えて使用することもできます。

500枚カセット CS-82 B5R　　500枚カセット CS-82 A5R

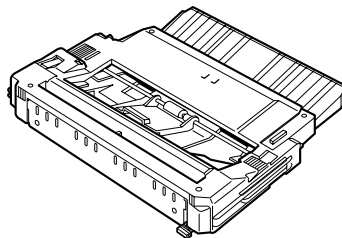
■ 500枚ユニバーサルカセット（→ P.68）

用紙サイズ変更が可能な給紙カセットです。500枚ユニバーサルカセットUC-82は、A4、B4、レター、リーガルサイズの普通紙、500枚ユニバーサルカセットUC-82KはA4、B4、A3、レター、リーガル、レジャーサイズの普通紙を最大で500枚（64g/m²）までセットできます。
500枚ユニバーサルカセットUC-82は、プリンタ本体の上段カセット（カセット1）と差し替えて（LBP-2300の場合は追加して）使用します。500枚ユニバーサルカセットUC-82Kは、プリンタ本体の下段カセット（カセット2）と差し替えて使用します。

500枚ユニバーサルカセット UC-82　　500枚ユニバーサルカセット UC-82K

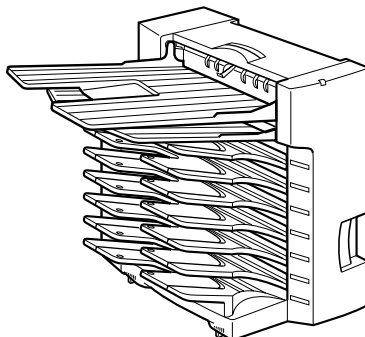
お願い

● 500枚カセットCS-82（B5R、A5R）は、プリンタ本体のカセット1および2×500枚ペーパーデッキのカセット3用です。プリンタ本体のカセット2や2×500枚ペーパーデッキのカセット4に取り付けることはできません。

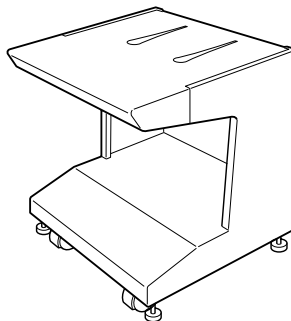
■両面ユニット（→ P.77）

両面プリントを可能にするためのユニットです。給紙カセットまたは2000枚ペーパーデッキから供給される、定形サイズ（A5R、B5R、A4、A4R、B4、A3、レター、レターR、リーガル、レジャー、エグゼクティブ）の普通紙に両面プリントができます。両面ユニットは、本プリンタの内部に取り付けます。

両面ユニット DU-82

■ 7ビンソータ（→ P.111）

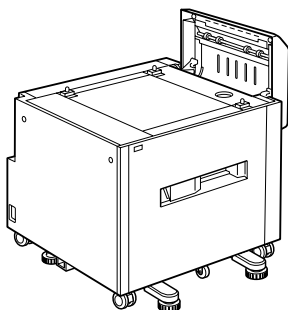
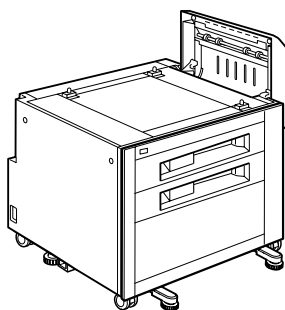
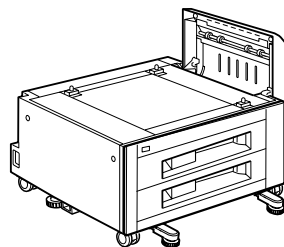
7つのビンを装備したソータユニットです。それぞれのビンには約120枚（75g/m²）まで積載可能で、7つのビンをさまざまに使い分けて排紙することができます。7ビンソータはサブ排紙トレイを取り外し、プリンタ本体側面に装着します。7ビンソータ装着時は、オプションコントローラボードの取り付けが必要です。

7ビンソータ-H1

■ 7ビンソータ用ペディスタル

2000枚ペーパーデッキまたは2×500枚ペーパーデッキ装着時に7ビンソータを装着するための専用台です。ペディスタルを固定するためのアジャスタと7ビンソータを本体から引き離すためのスライドトレイが付いています。

7ビンソータ用ペディスタル

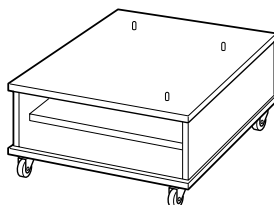
■ペーパーデッキ

ペーパーデッキは、給紙元を増設するためのプリンタ本体の下に装着するユニットです。2000枚ペーパーデッキ PD-82と2×500枚ペーパーデッキ -C1、2×500枚ペーパーデッキ -C1Lの3種類があり、いずれか1つを装着できます。2000枚ペーパーデッキ PD-82を装着すると、A4、B4、A3、レター、リーガル、レジャーサイズの普通紙を約2000枚までセットできます。2×500枚ペーパーデッキ -C1または2×500枚ペーパーデッキ -C1Lを装着すると、500枚給紙カセットを2つ追加することができます。

ペーパーデッキには、キャスタとプリンタを固定するためのアジャスタ、ペーパーデッキを安定させるための転倒防止脚が付いています。また、ペーパーデッキ装着時は、オプションコントローラボードの取り付けが必要です。

2000枚ペーパーデッキ PD-82

2×500枚ペーパーデッキ -C1

2×500枚ペーパーデッキ -C1L

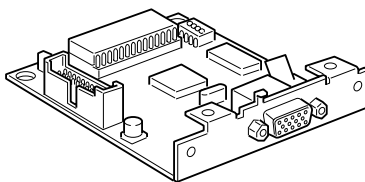
● 2×500枚ペーパーデッキ-C1や2×500枚ペーパーデッキ-C1Lの上段カセット（カセット3）を、オプションの500枚カセット CS-82 B5Rまたは500枚カセット CS-82 A5Rと差し替えて、B5やA5サイズの用紙をセットすることもできます。

■ペディスタル

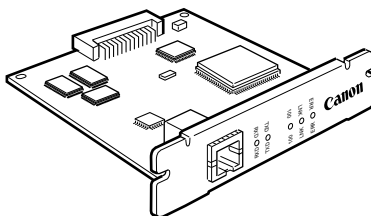
本プリンタを操作しやすい高さで設置するための専用台です。キャスタとプリンタを固定するためのアジャスタが付いています。

本プリンタ専用ペディスタル

● 7ビンソータと2×500枚ペーパーデッキ-C1Lまたは本プリンタ専用ペディスタルを組み合わせて使用することはできません。
● 本プリンタに7ビンソータ用ペディスタルと7ビンソータを組み合わせて使用する場合、およびペーパーデッキや本プリンタ専用ペディスタルを取り付けて使用する場合は、専門のサービスマンが設置します。ご購入の際は、本プリンタをお買い求めの販売店に設置を依頼してください。お客様による設置はできません。

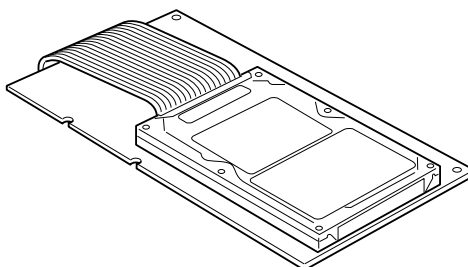
■オプションコントローラボード（→ P.106）

オプションのペーパーデッキや7ビンソータを使用するときに必要です。

オプションコントローラボード PH-82M

■プリントサーバ（→ P.89）

プリントサーバは、本プリンタをLANに接続するためのプリンタ内蔵型ボードです。IPX/SPX、TCP/IP、NetBIOS/NetBEUI、AppleTalkのプロトコルに対応したものがありますので、Windows、Macintosh、UNIX、NetWare®、イントラネットなど幅広いLANシステムに対応可能です。専用のネットワーク管理ソフト「NetSpot」はプリンタに標準同梱されています。

例）キヤノンレーザショット内蔵型プリントサーバ NB-4F

■ハードディスク（LBP-2360のみ）（→ P.95）

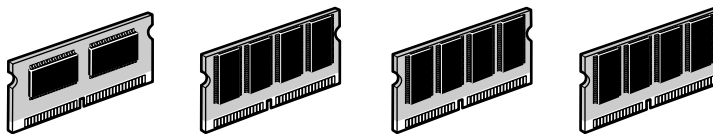
ハードディスクは、受信したプリントジョブを一時的に保存するためのプリンタ内蔵型ハードディスクです。ハードディスクを装着することにより、プリントジョブのスプールやセキュアプリント、電子ソート（rip once（リップワンス）機能）などの機能が使えるようになります。

ハードディスク HD-9

お願い

- **ハードディスクを使用するときは、32MB以上の拡張RAMの増設が必要です。また、rip once（リップワンス）機能を使用する場合は、64MB以上の拡張RAMの増設が必要です。併せて取り付けてください。**
- **ハードディスクを使用するときは、セットアップメニューの「ジョブタイムアウト」の設定を「シナイ」以外に設定してください。工場出荷時の状態の「15ビョウ」に設定することをお勧めします。**

■拡張 RAM（→ P.81）

（→ P.81）

メモリ容量を拡張するための増設メモリです。本プリンタは32MBのメモリを標準装備しています。拡張RAMは1個増設可能で、本プリンタのメモリ総容量を最大256MBまで拡張することができます。

32MB（RD-32MS）　64MB（RD-64MS）　128MB（RD-128MS）　256MB（RD-256MS）

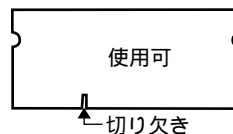
拡張RAMには、32MB（RD-32MS）、64MB（RD-64MS）、128MB（RD-128MS）、256MB（RD-256MS）の4種類があります。

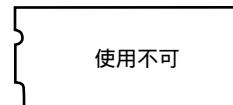
拡張RAM	取り付け後の使用可能容量	印字保証サイズ
32MB	64MB	B4×2
64MB	96MB	リーガル×4
128MB	160MB	A3×4
256MB	256MB	B4×8

上記印字保証サイズは、「印字動作」を「ガシツ　ユウセン」、「データ処理」を「ファイン」、「階調処理」を「ヒョウジュン」に設定した場合の値です。

メモ

- **印字保証サイズについては、LIPS 機能ガイド　第3章「4　印字調整グループの設定項目」をご覧ください。**
- **オーバレイなどの大量の登録データを処理する場合にも拡張 RAM の増設が必要です。**
- **拡張RAMは、必ず本プリンタに対応した3.3V用SDRAM DIMMをご使用ください。キヤノン製拡張RAM（RD-32MS、RD-64MS、RD-128MS、RD-256MS）のご使用をお勧めします。**

本プリンタ用SDRAM DIMM（3.3V）

- **従来の5V、3.3V用RAM DIMM（RD-4M、RD-8M、RD-16M、RD-4ME、RD-8ME、RD-16ME、RD-16ML、RD-32ML、RD-64ML）は、図のように形状が異なるため、スロットには取り付けることはできません。誤って使用した場合は、正しく動作しません。**

従来のRAM DIMM（3.3V、5V）

- **本プリンタに 256MB（RD-256MS）を取り付けた場合、総容量は 288MB になりますが、使用可能な容量は 256MB までです。**

■コントロール ROM（→ P.81）

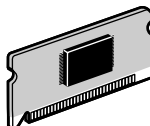
（→ P.81）

エミュレーションモードを追加するためのROMです。本プリンタを、お使いのコンピュータに対応した専用プリンタのように動作させることができます。1枚のコントロールROMに、次のエミュレーションモードとフォントが収録されています。

- **PS/55、PS/V シリーズ**
- **HP-GL 対応のアプリケーションに対応のエミュレーションモード**
- **バーコードフォント ROM（FR-BFV2CL 相当）**

本プリンタには、コントロール ROM またはフラッシュメモリのいずれか 1 個を増設可能です。

製品名
CR-HIS

メモ

- **コントロールROMは、必ず本プリンタに対応したもの（CR-HIS）をご使用ください。**
- **従来の3.3 V用コントロールROM（CR-5577M、CR-7550M、CR-ESL、CR-MEL）は、図のように形状が異なるため、取り付けることはできません。誤って使用した場合は、正しく動作しません。**
- **従来の5.5VコントロールROM（CR-5577/2、CR-359/2、CR-5273/2、CR-7550/C、CR-201/2、CR-ES/2、）は、図のように形状が異なるため、取り付けることはできません。誤って使用した場合は、正しく動作しません。**

■フラッシュメモリ（→ P.81）

オーバレイ、マクロなどをダウンロードするためのメモリ（ROM）です。

お願い

- **フラッシュメモリに関しては、発売未定です。**

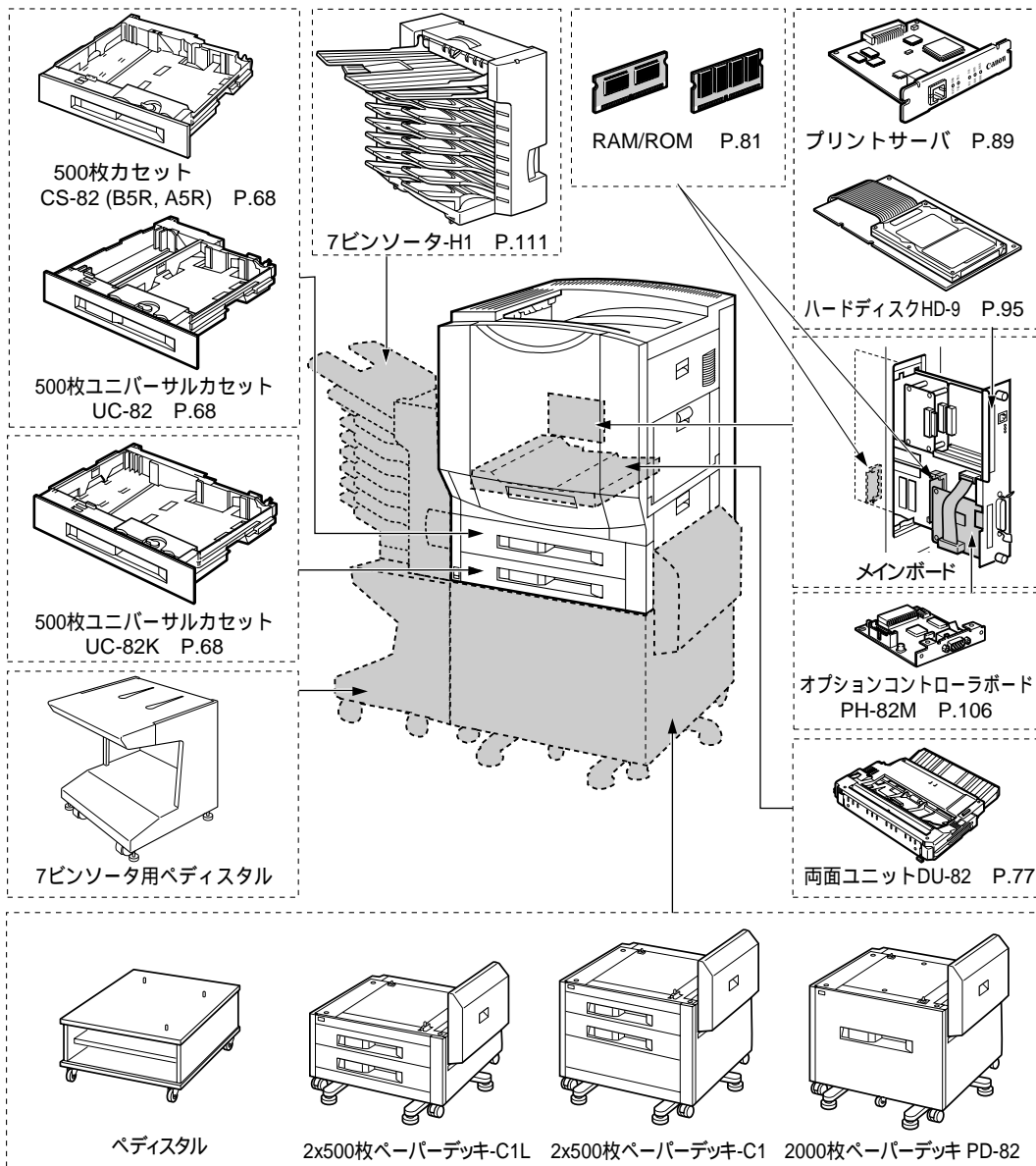
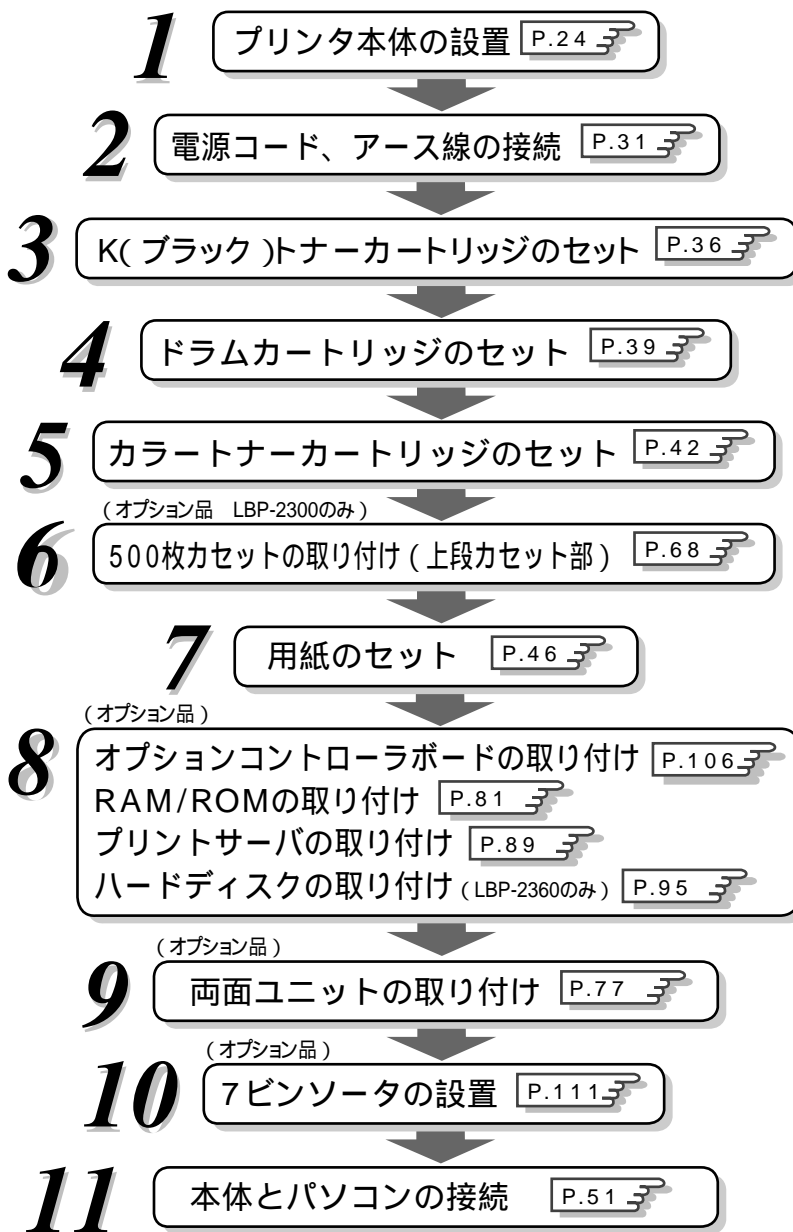
設置手順について

本プリンタは、オプションの装備状態によって、設置する手順が多少異なります。お買い求めになったオプションの内容を確認し、次表の手順で作業を行ってください。

■オプションの取り付け位置

■設置の手順

1. プリンタ本体の設置 P.24
2. 電源コード、アース線の接続 P.31
3. K（ブラック）トナーカートリッジのセット P.36
4. ドラムカートリッジのセット P.39
5. カラートナーカートリッジのセット P.42
6. （オプション品 LBP-2300のみ）500枚カセットの取り付け（上段カセット部） P.68
7. 用紙のセット P.46
8. （オプション品）
   - オプションコントローラボードの取り付け P.106
   - RAM/ROMの取り付け P.81
   - プリントサーバの取り付け P.89
   - ハードディスクの取り付け（LBP-2360のみ） P.95
9. （オプション品）両面ユニットの取り付け P.77
10. （オプション品）7ビンソータの設置 P.111
11. 本体とパソコンの接続 P.51

お願い

- お客様の設置状況に合わせ、該当する手順にそって作業を進めてください。標準装備の場合はオプション品と表記された手順は読み飛ばしてください。
- 本プリンタに7ビンソータ用ペディスタルと7ビンソータを組み合わせて使用する場合、およびペーパーデッキや本プリンタ専用ペディスタルを取り付けて使用する場合は、専門のサービスマンが設置します。ご購入の際は、本プリンタをお買い求めの販売店に設置を依頼してください。お客様による設置はできません。

設置場所について

本プリンタを安全かつ快適にご使用いただくために、十分なスペースが確保でき、風通しがよく、平坦で水平なプリンタ重量に耐えられる十分な強度のある場所を選んで設置してください。

お願い

- **本プリンタを設置する前に、付属の「⚠安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。**
- **本プリンタ用ペディスタルやペーパーデッキを使用せずに本体のみを設置する場合は、本体の重さに耐えられる机などに設置してください。**
- **本プリンタ及びオプションの重量で歪んだり、沈む可能性のある場所（じゅうたん、畳などの上）に設置することはお避けください。**

設置環境

■設置場所の温度／湿度条件

温度、湿度が以下の範囲内の場所でご使用ください。

- **周囲温度：15 ～ 30℃**
- **周囲湿度：20 ～ 80%RH（結露のないこと）**
- **本プリンタのある部屋を急激に暖めた場合や、本プリンタを温度や湿度の低い所から高い所へ移動した場合、プリンタ内部に水滴が生じる（結露現象）ことがあります。このような場合、本プリンタを周囲の温度や湿度に慣らすために、1時間以上放置してからご使用ください。**
- **プリンタ内部に水滴が生じると、用紙の搬送に不具合が起り、紙づまりの原因となったり、プリント不良となることがあります。また、「5F-nnサービスコール」というメッセージ（→ユーザーズガイド　第4章「メッセージが表示されたときは」）が表示され、プリント処理が停止してしまうことがあります。**

- 超音波加湿器をご使用のお客様へ -
超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をお勧めします。

■電源環境

最大消費電力は、LBP-2360の場合は1221W*以下、LBP-2300の場合は1199W*以下、2000枚ペーパーデッキPD-82は28W以下、2×500枚ペーパーデッキ-C1/C1Lは38W以下、7ビンソータ-H1は22W以下（AC100V±10%,50/60Hz±2Hz）です。電気的なノイズや許容範囲を超える電源電圧の降下は、本プリンタだけでなく、パソコン本体の誤作動やデータ消失の原因となることがあります。電源を取るときは、次のような点にご注意ください。

- **必ず15A以上の電源コンセントから、プリンタの電源をお取りください。**
- **一つの電源コンセントを本プリンタ専用にしてください。同一電源コンセント上の他の差し込み口は、使用しないでください。（本プリンタ専用のオプション品を接続する場合は除く）**
- **パソコン本体の補助電源コンセントから電源を取らないでください。**
- **複写機やエアコン、シュレッダーなど、消費電力の大きな機器や電気的ノイズを発生する機器と同じ電源コンセントから電源を取らないでください。**

お使いの電源について不明な場合は、ご契約の電気会社またはお近くの電気店などにご相談ください。

＊注：フルオプション装着時／起動時の瞬間的なピークを除いた値です。

警告

●感電防止のため、必ずアース線を専用のアースに接続してください。なお、アース線は絶対にガス管や水道管、電話線のアース、避雷針などには接続しないでください。感電の原因になります。

■設置環境

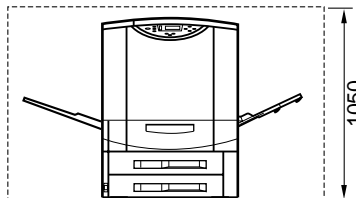
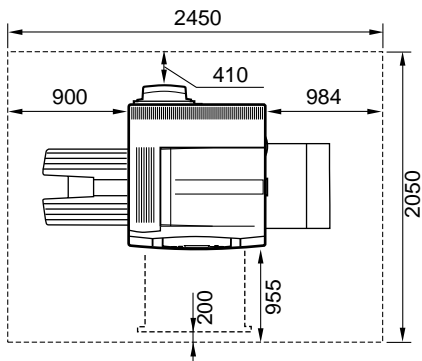
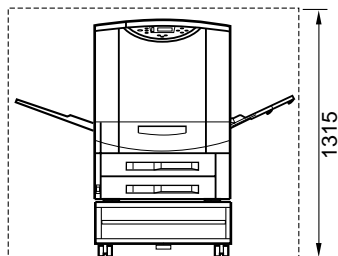
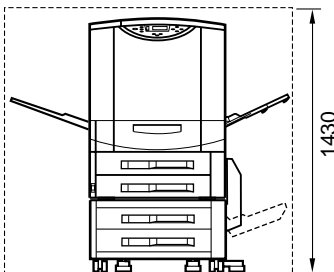
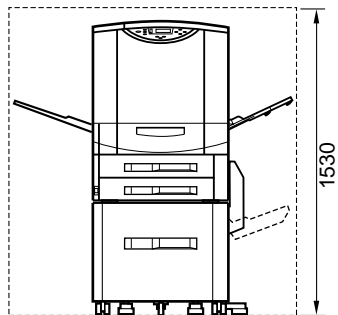
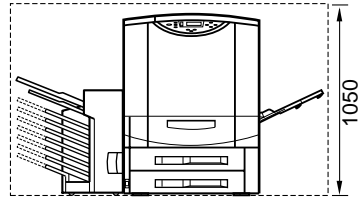
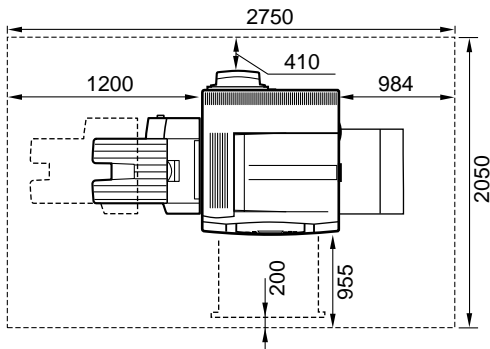
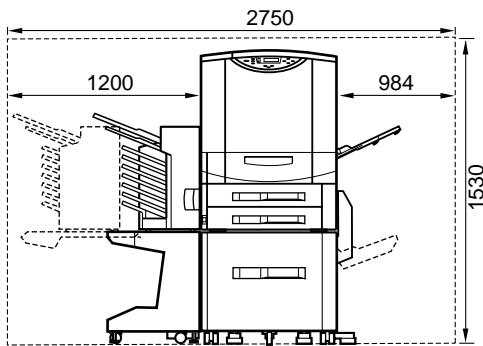
本プリンタは次のような場所に設置しないでください。思わぬ火災や故障の原因となることがあります。

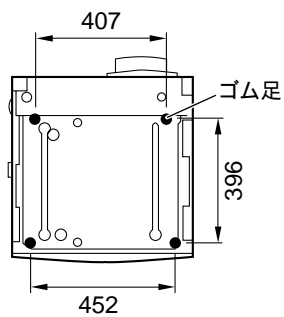
- **直射日光が当たる場所や高温な場所**
- **急激な温度変化や湿度変化がある場所**
- **風通しの悪い場所**
- **火気や水気のある場所**
- **振動がある場所**
- **ほこりが多い場所**
- **磁気や電磁波を発生する機器の近く**
- **実験室など、化学反応を起こすような場所**
- **空気が塩分や、毒性のガスを含んでいるような**場所

設置スペース

本プリンタの周囲には、次のような空間を確保し、本プリンタの質量に耐えられる場所を選んでください。各部の寸法、および周囲に必要な寸法、足の位置は次のようになっています。（単位はmm）

■周囲に必要なスペース

●標準状態

●ペディスタル装着状態

● 2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1L 装着状態

● 2000 枚ペーパーデッキ PD-82 または 2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1 装着状態

●7 ビンソータ -H1 装着状態

●7 ビンソータ +7 ビンソータ用ペディスタル + ペーパーデッキ装着状態

■足の位置

●本体底面のゴム足の位置

●ペーパーデッキのキャスタ、アジャスタ、
転倒防止脚アジャスタの位置

第 2 章

設置のしかた

パッケージの内容をご確認ください 22
シリアルナンバーの表示位置について 23
設置場所に運ぶ 24
梱包材を取り外す 26
電源コードを接続する 31
カートリッジをセットする 34
K（ブラック）トナーカートリッジの取り付け 36
ドラムカートリッジの取り付け 39
カラートナーカートリッジの取り付け 42
用紙をセットする 46
パソコンと接続する 51
DOS/Windows パソコンとの接続 51
Macintosh パソコンとの接続 54
ネットワークとの接続 56
PS/55、PS/V シリーズとの接続 59
動作を確認する 60
プリンタの動作を確認する 60
プリントサーバの動作を確認する 62

パッケージの内容をご確認ください

プリンタを設置する前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているかどうかを確認してください。万一不足しているものや損傷しているものがあった場合には、お買い上げの販売店までご連絡ください。

プリンタ本体
（給紙カセットが取り付けられています。）

用紙サイズ表示板

エンジンキット

電源コード

サブ排紙トレイ
（フェースアップトレイ）

アース線

部材（加圧解除レバー下げ忘れ防止用）

K（ブラック）
トナーカートリッジ

C（シアン）、M（マゼンタ）、
Y（イエロー）トナーカートリッジ

ドラムカートリッジ

スキャナキャリブレーション用
パターンチャート

マニュアルガイド

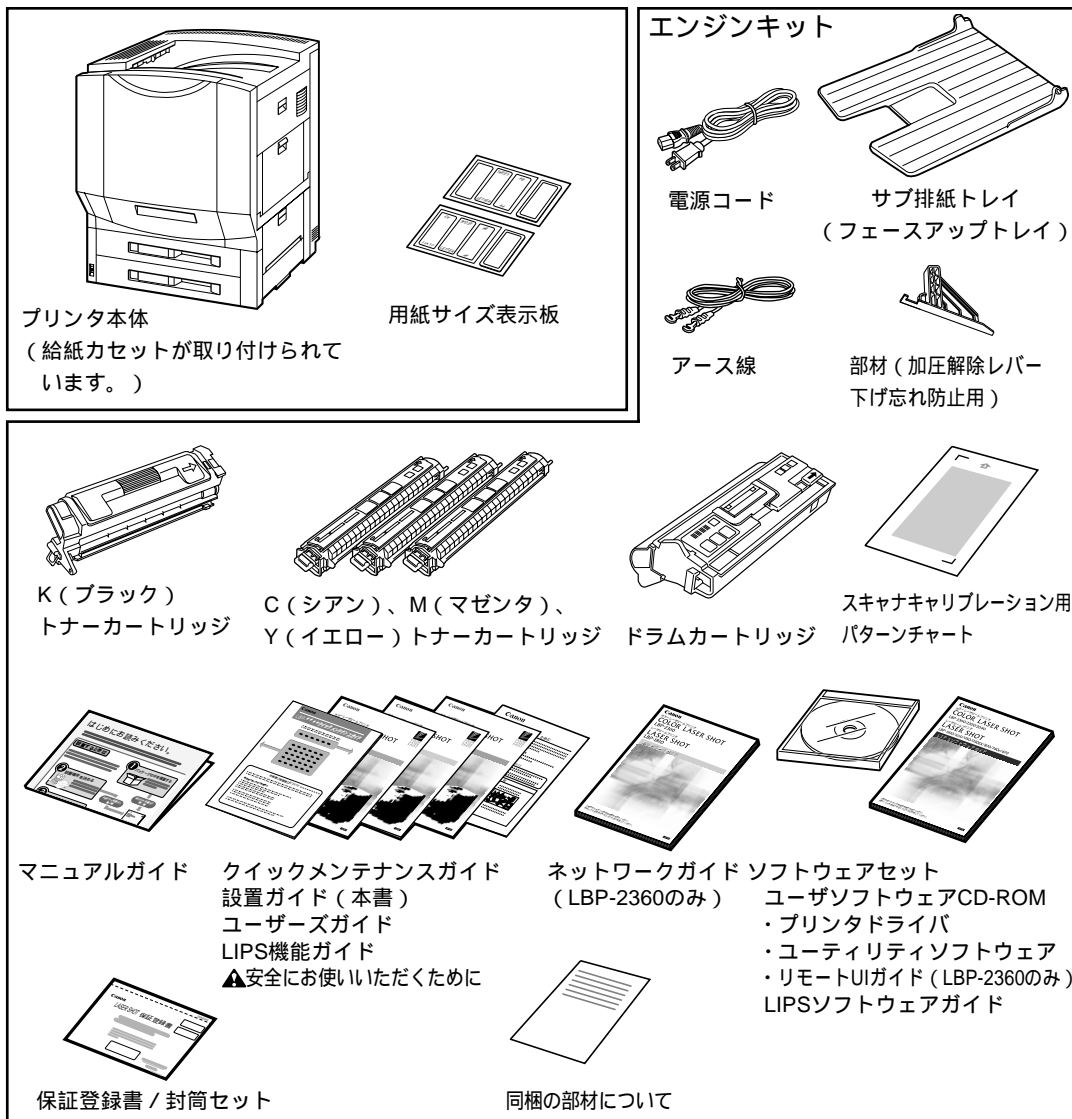
クイックメンテナンスガイド
設置ガイド（本書）
ユーザーズガイド
LIPS機能ガイド
⚠安全にお使いいただくために

ネットワークガイド
（LBP-2360のみ）

ソフトウェアセット
■ユーザソフトウェアCD-ROM
・プリンタドライバ
・ユーティリティソフトウェア
・リモートUIガイド（LBP-2360のみ）
■LIPSソフトウェアガイド

保証登録書／封筒セット

同梱の部材について

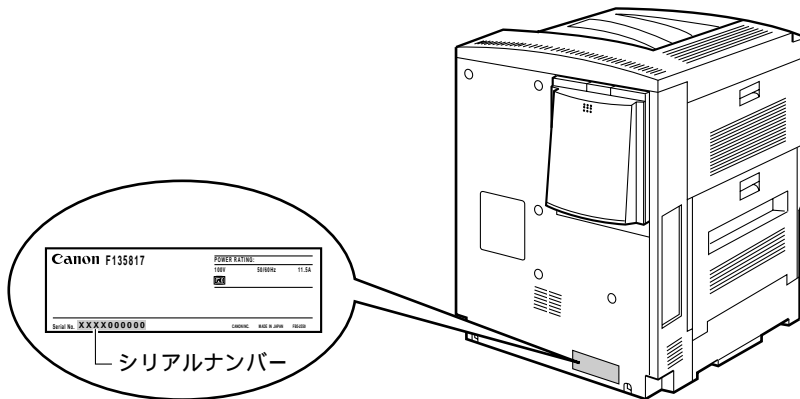
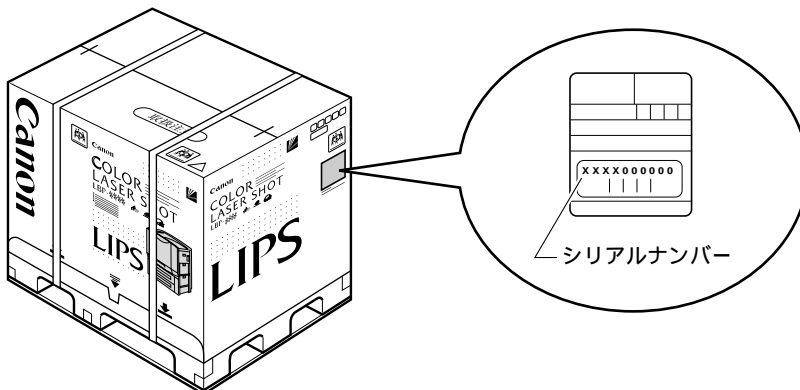
メモ

● 本プリンタのパッケージは、プリンタ本体と、消耗品等が入っているエンジンキットの２つのパッケージで構成されています。
● 本プリンタには、インタフェースケーブルは付属していません。お使いのパソコン、または接続方法に合わせてご用意ください。

シリアルナンバーの表示位置について

本プリンタの保守やサービスをお受けになるときは、シリアルナンバー（Serial No.）が必要になります。本プリンタのシリアルナンバーは、下図の位置に表示されています。

お願い

●シリアルナンバーが書かれたラベルは、サービスや保守の際の確認に必要です。絶対にはがさないでください。

●本体背面

●梱包箱外側

設置場所に運ぶ

設置場所が確保できたら、本プリンタを梱包箱から取り出し、設置場所へ運びます。

お願い

- 本プリンタ用ペディスタルやペーパーデッキを使用せずに本体のみを設置する場合は、本体の重さに耐えられる机などに設置してください。
- 本プリンタ及びオプションの重量で歪んだり、沈む可能性のある場所（じゅうたん、畳などの上）に設置することはお避けください。
- 本プリンタに 7 ビンソータ用ペディスタルと 7 ビンソータを組み合わせて使用する場合、およびペーパーデッキや本プリンタ専用ペディスタルを取り付けて使用する場合は、専門のサービスマンが設置します。ご購入の際は、本プリンタをお買い求めの販売店に設置を依頼してください。お客様による設置はできません。
- 階段を使うような移動が必要な場合は、本体のみの場合でも、必ず専門の運送業者に依頼してください。

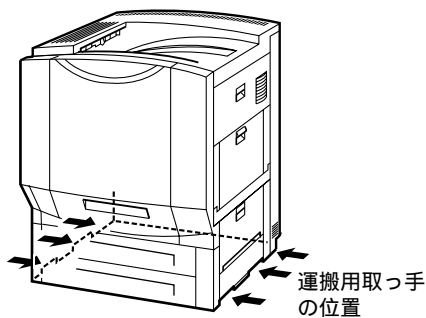
1

プリンタ本体を梱包箱から取り出します。

お願い

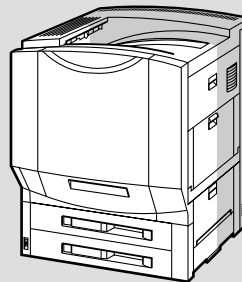
- プリンタ本体の取り出し作業は、周囲に十分なスペースがある広い場所で、必ず 4 人で行ってください。

2

プリンタ下側にある 6 箇所の運搬用取っ手に 4 人で手を掛け、同時に持ち上げて運びます。

警告

●本プリンタは、本体のみで約83kgあります。必ず4人で、腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。

●本プリンタは、本体背面側が重くなっています。持ち上げるときにバランスをくずさないように注意してください。

●絶対に給紙カセットなど、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。プリンタを破損したり、落下してケガをするおそれがあります。

お願い

●給紙トレイやカバーを止めてあるテープや梱包材などは付けたままで持ち運んでください。

3

設置場所にゆっくりとおろします。

注意

●手を挟まないように、ゆっくりと慎重にプリンタ本体を設置場所におろしてください。

お願い

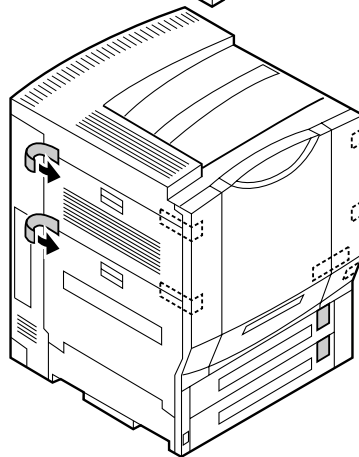
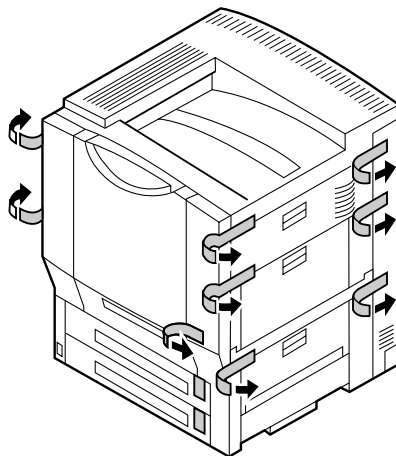
●オプションの取り付けやケーブルの接続などを行うためのスペースを確保しておいてください。

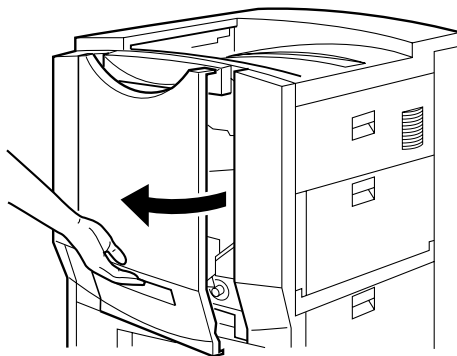
梱包材を取り外す

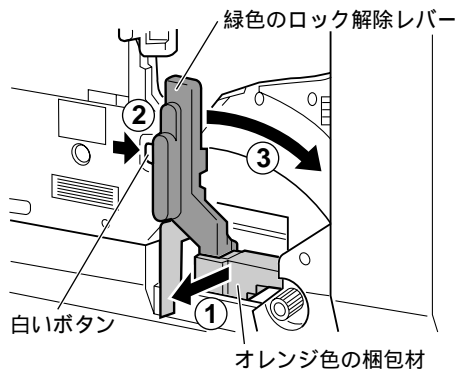
本プリンタには、輸送時の振動や衝撃から装置を守るためにテープや梱包材が取り付けられています。設置場所へ運んだら、これらの梱包材を取り外してください。

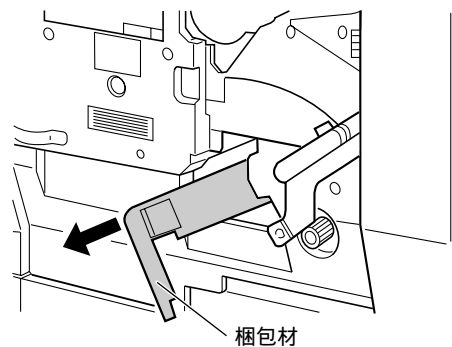
1

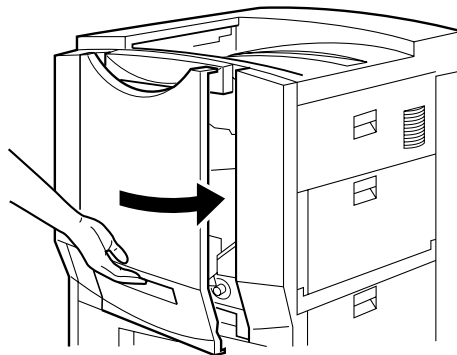
前ドアや左右のカバー、給紙カセットなどを止めているテープを取り除きます。

2

前ドアを開きます。

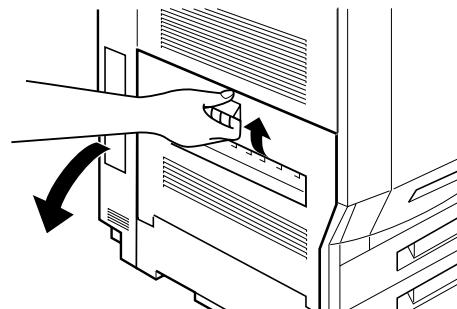
前ドアは、図のように手をかけ、手前に引くと開きます。

3

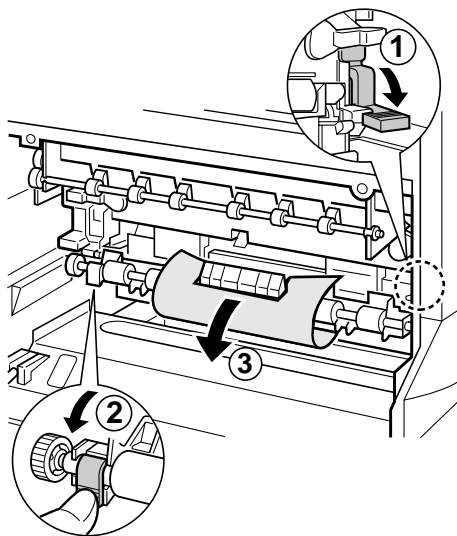
①の梱包材（オレンジ色）を取り除き、②の白いボタンを押し込みながら③の緑色のロック解除レバーを矢印の方向へ倒します。

4

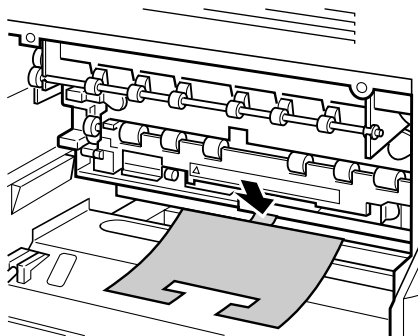
梱包材を引き抜いて、取り除きます。

5

緑色のロック解除レバーを元の位置へ戻し、前ドアを閉じます。

6

左下カバーを開きます。

左下カバーは、取っ手に手をかけ、奥のレバーを手前に引くとロックが外れます。そのままゆっくりと下まで開きます。

7

定着ユニット右側の加圧解除レバー①と定着ユニット左側の緑色のレバー②を押し下げ、梱包材を手前に引きます③。

8

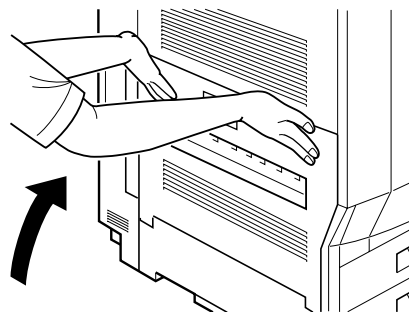
梱包材を抜き取ります。

お願い

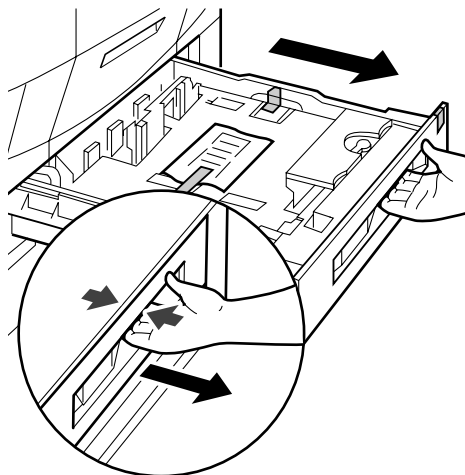
● 必ず、梱包材の注意文をよく読み、加圧解除レバーを押し下げてから梱包材を抜き取ってください。

9

左下カバーを閉じます。

カチッと音がするまで両手でしっかりと押さえて閉じてください。

10

給紙カセットをいっぱいに引き出します。

給紙カセットは、前面の取っ手に図のように手を入れ、奥のロック解除レバーを引いて引き出します。止まるまでいっぱいに引き出してください。

11

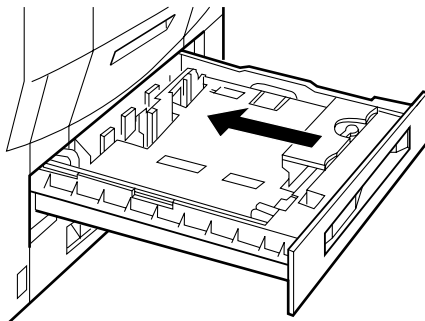
給紙カセット内部の梱包材①、②、用紙サイズ表示板とラベルが入ったビニール袋を取り除きます。

梱包材①は、プレートを手で押さえながら、左奥側へ押して取り外します。

● **給紙カセット内部には、梱包材、ビニール袋が取り付けられています。必ず給紙カセットを引き出し、残さずに取り除いてください。**

12

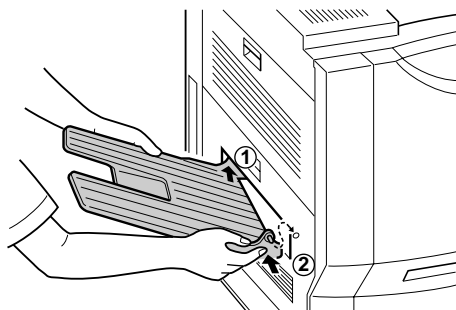
給紙カセットをしっかりと奥まで押し込みます。

給紙カセットの前面が、プリンタの前面と合うまで、しっかりと奥まで押し込んでください。

お願い

- **本体内部に梱包材が残っていると、プリント動作時に印字不良やプリンタが損傷する原因となりますので、必ず残さずに取り除いてください。**
- **取り外した梱包材は、移転や移設、修理などの輸送時に必要になります。無くさないように保管しておいてください。**

13

本体左側面に、サブ排紙トレイ（フェースアップトレイ）を取り付けます。

サブ排紙トレイは、左側のタブをプリンタ本体のスロットに入れ①、右側のタブを内側に軽く押しながらプリンタ本体のスロットに入れて②、取り付けます。

お願い

- **サブ排紙トレイ（フェースアップトレイ）に出力する方法については、ユーザーズガイド　第2章「排紙先を選択する」をご覧ください。**

電源コードを接続する

電源コードとアース線を接続します。接続する際には付属の「⚠安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。

⚠ 警告

● 次のことを必ず守って取り扱ってください。指定された条件以外で使用すると、火災や感電の原因となります。

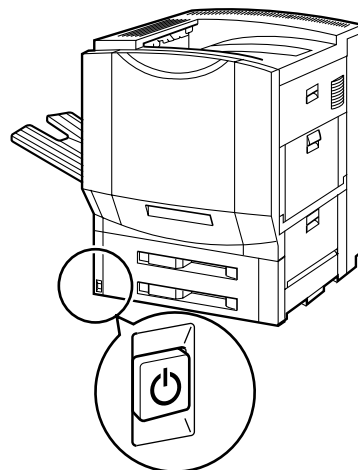
- **本プリンタの電源電圧や周波数の許容範囲は、AC100V ± 10%（50/60Hz ± 2Hz）です。最大消費電力は、LBP-2360 の場合は 1221W* 以下、LBP-2300 の場合は 1199W*以下（*注：フルオプション装着時／起動時の瞬間的なピークを除いた値）です。**
- **必ず 15A 以上の電源コンセントから、プリンタの電源をお取りください。**
- **一つの電源コンセントを本プリンタ専用にしてください。同一電源コンセント上の他の差し込み口は、使用しないでください。（本プリンタ専用のオプション品を接続する場合は除く）**
- **感電防止のため、必ずアース線を専用のアースに接続してください。なお、アース線は絶対にガス管や水道管、電話線のアース線、避雷針などには接続しないでください。感電の原因になります。**

お願い

● アース線を接続するときは、プリンタ、パソコン双方とも接続を行ってください。片方だけ接続すると、機器間に電位差が生じ故障の原因になることがあります。

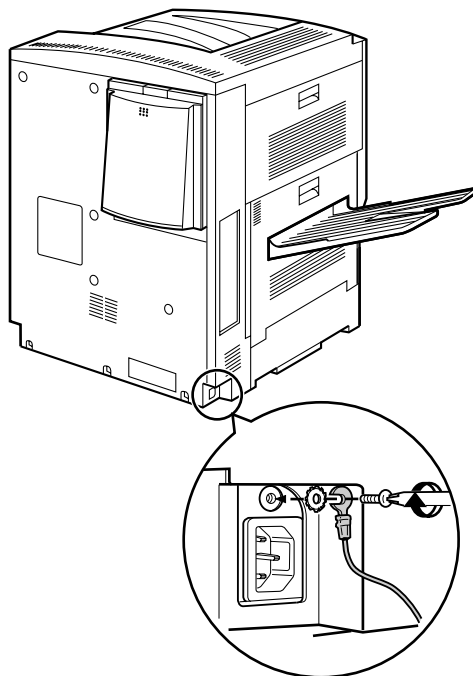
1

プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認してください。

電源スイッチは、飛び出した状態になっています。

2

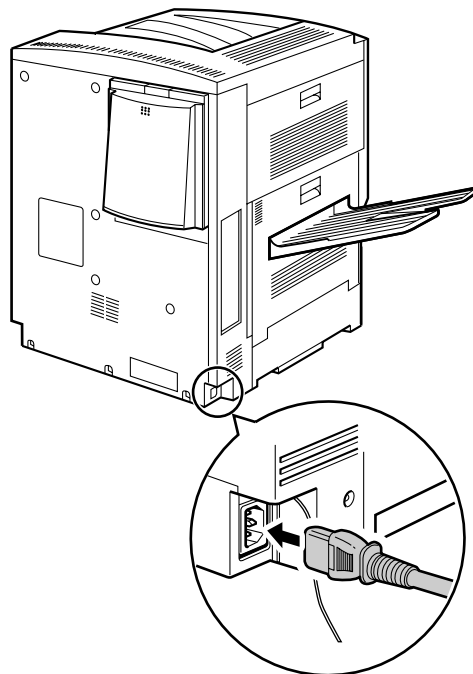
アース線を接続します。

アース線端子のネジをゆるめて取り外し、付属のアース線をネジ止めします。

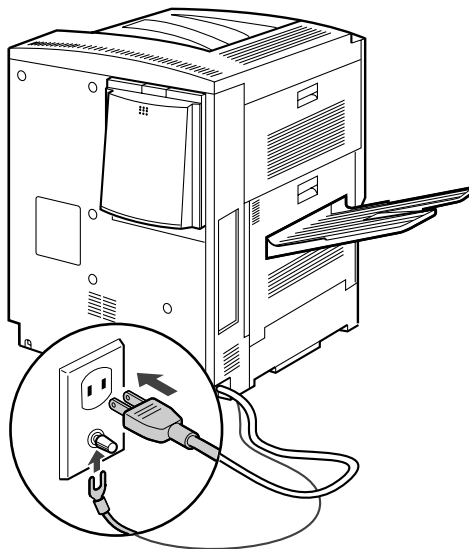
お願い

● アース線が、電源コード差し込み口にかからないようにアース線の向きに注意してください。

3

電源コードを接続します。

電源コード差し込み口に、付属の電源コードをしっかりと差し込みます。

4

電源コードを電源コンセントに、アース線を専用のアース線端子に接続します。

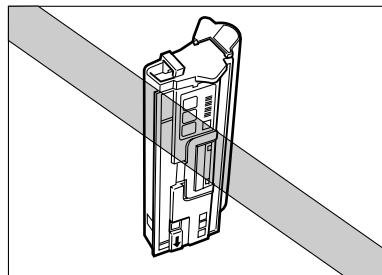
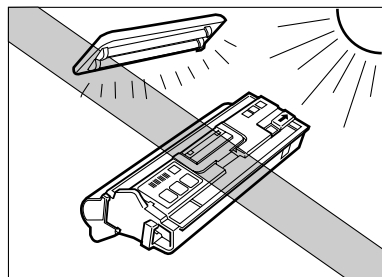
注意

● **必ずアース線を接続してください。アース線が接続されていないと、万一漏電した場合、感電の原因となることがあります。**

カートリッジをセットする

本プリンタは、工場出荷状態ではトナーカートリッジやドラムカートリッジは取り付けられていません。本プリンタを初めて使用される場合、必ずエンジンキットに同梱されているK（ブラック）、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）の4色のトナーカートリッジ、およびドラムカートリッジを取り付けてください。
トナーカートリッジやドラムカートリッジは精密な機構の部品で構成されています。また、ドラムカートリッジは光に対して非常に敏感です。取り扱いを誤ると、内部の感光ドラムが劣化し、印字品質が低下します。

お願い

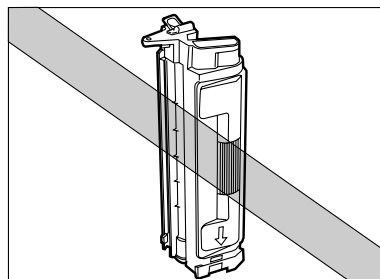
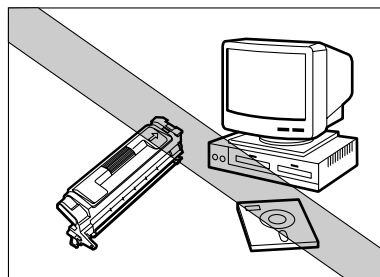
ドラムカートリッジを取り扱う際には、次の点に注意してください。

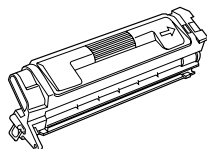
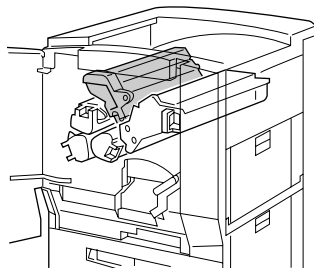
- **ドラムカートリッジは、本体にセットするまでは保護袋から出さないでください。またメンテナンスなどのために使用中のカートリッジを本体から取り外したときは、すみやかに遮光用の保護カバーを取り付けてカートリッジが入っていた保護袋に入れてください。**
- **ドラムカートリッジは、感光ドラムの品質が劣化しますので、絶対にドラム保護シャッターを開けないでください。**
- **ドラムカートリッジを立てたり、裏返したりしないでください。必ず矢印のついている面を上にして取り扱ってください。**

- **ドラムカートリッジは、絶対に直射日光や強い光（1500ルクス以上）に当てないでください。**

●万一、手や衣服がトナーで汚れた場合は、すぐに水で洗い流してください。このとき、温水は使わないでください。トナーが融着してとれなくなる恐れがあります。

トナーカートリッジを取り扱う際には、次の点に注意してください。

●必ず本プリンタに付属、または専用のトナーカートリッジを使用してください。

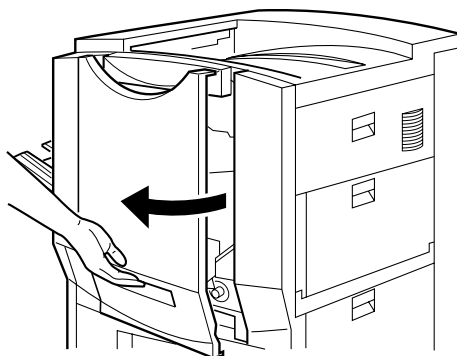
●メンテナンスなどのために使用中のトナーカートリッジを本体から取り外したときは、すみやかにカートリッジが入っていた保護袋に入れてください。

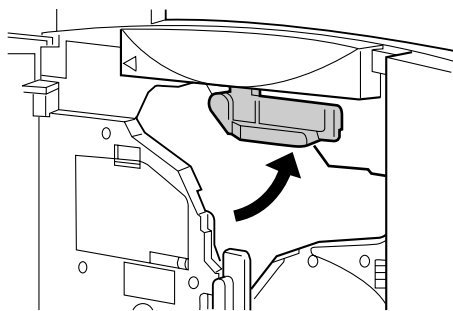
●トナーカートリッジを立てたり､裏返したりしないでください。必ず矢印のついている面を上にして取り扱ってください。

●K（ブラック）トナーカートリッジは磁気製品です。データを破損する恐れがありますので、パソコン本体やディスプレイ、フロッピーディスクやディスクドライブなど、磁気を嫌う製品には近づけないでください。

K（ブラック）トナーカートリッジの取り付け

エンジンキットに同梱されているK（ブラック）トナーカートリッジは、次の手順で取り付けます。

K（ブラック）トナーカートリッジ

取り付け位置

1

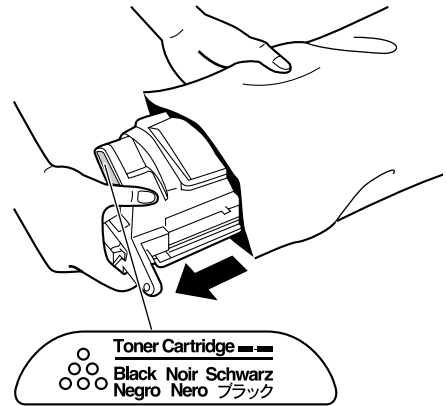
前ドアを開けます。

前ドアは、図のように手をかけ、手前に引くと開きます。

2

青色のロック解除レバーを図の矢印の方向へ押し上げます。

お願い

● **青色のロック解除レバーが押し上げられていないとK（ブラック）トナーカートリッジの取り付けができません。**

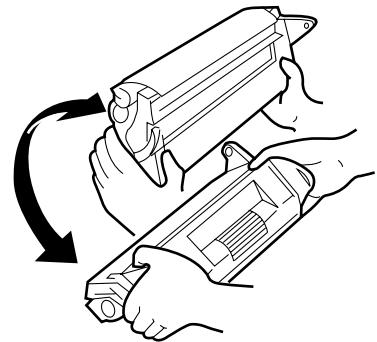
3

K（ブラック）トナーカートリッジを保護袋から取り出します。

お願い

●K（ブラック）トナーカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。本体のメンテナンス等、K（ブラック）トナーカートリッジを取り出すときに必要になります。

4

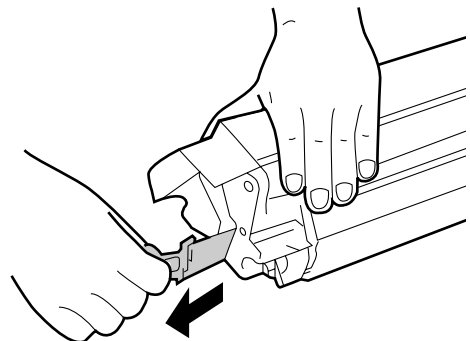
K（ブラック）トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと5～6回振って、内部のトナーを均一にならします。

お願い

●トナーが均一でないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。

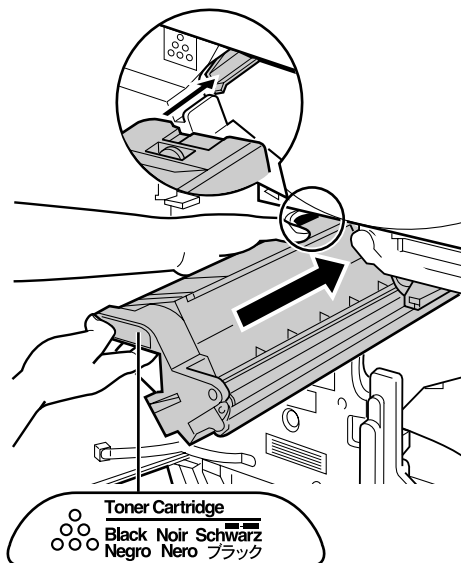
5

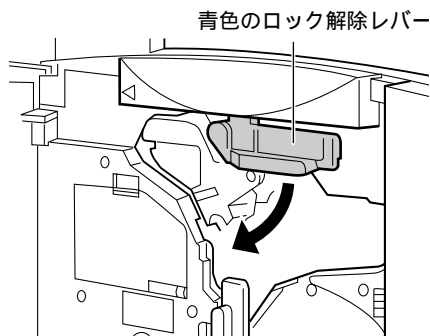
K（ブラック）トナーカートリッジを平らな場所に置き、カートリッジを押さえながらシーリングテープを引き抜きます。

シーリングテープは、タブに指を掛け、真っ直ぐ横に引っ張って引き抜きます。

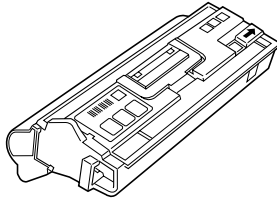
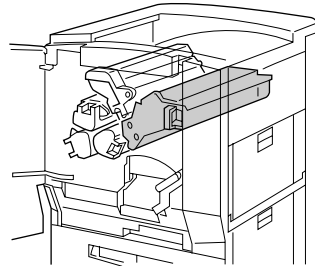
お願い

- 曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張ったりすると、シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。
- シーリングテープは最後まで完全に引き抜いてください。
- シーリングテープを引き抜いたK（ブラック）トナーカートリッジは絶対に振らないでください。
- 手や衣服をトナーで汚さないように十分に注意して作業を行ってください。
- シーリングテープを引き抜くときは、カートリッジシャッターを手で押さえつけないように十分に注意して作業を行ってください。

6

K（ブラック）トナーカートリッジを図のように水平に持ち、K（ブラック）トナーカートリッジ差し込み部内側の金属のガイドに合わせ、しっかりと奥まで差し込みます。

7

青色のロック解除レバーを元の位置へ戻します。

引き続き、ドラムカートリッジを取り付けます。前ドアは閉じないでください。

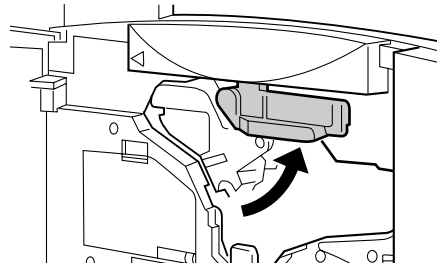
ドラムカートリッジの取り付け

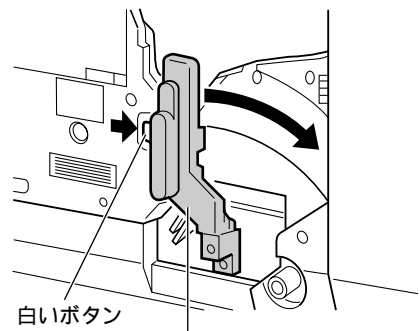
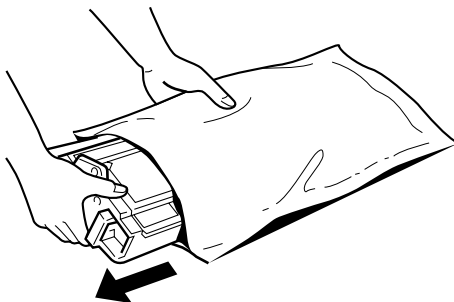
本プリンタは、工場出荷状態ではドラムカートリッジは取り付けられていません。本プリンタを初めて使用される場合、K（ブラック）トナーカートリッジの取り付けに引き続き、エンジンキットに同梱のドラムカートリッジを取り付けてください。

ドラムカートリッジ

取り付け位置

お願い

● **ドラムカートリッジは光に非常に敏感です。光が当たると性能が劣化し、プリントの品質が低下します。プリンタに取り付ける準備ができるまで保護袋から取り出さないでください。**

1

青色のロック解除レバーを図の矢印の方向へ押し上げます。

2

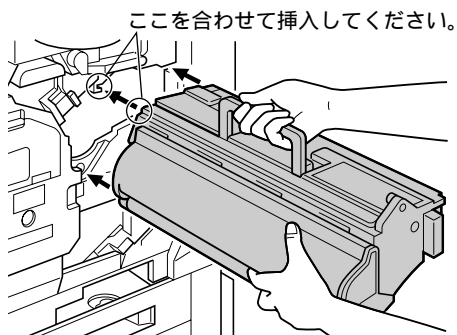
緑色のロック解除レバーを、白いボタンを押し込みながら、矢印の方向へ倒します。

3

ドラムカートリッジを保護袋から取り出します。

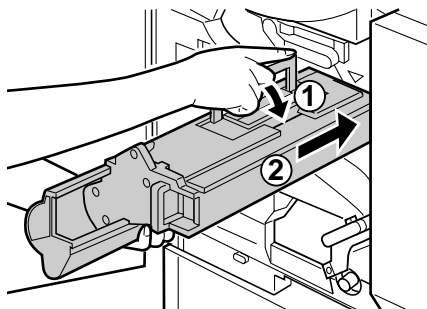
お願い

● ドラムカートリッジは光に非常に敏感です。光が当たると性能が劣化し、プリントの品質が低下します。プリンタに取り付ける準備ができるまで保護袋から取り出さないでください。

4

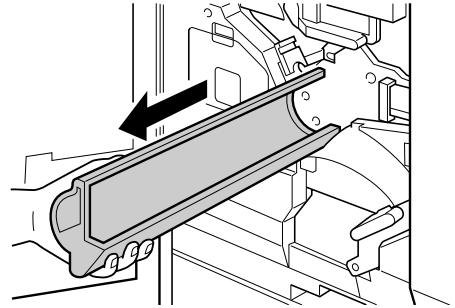
ドラムカートリッジの取っ手を起こして図のように持ち、ドラム差し込み部に合わせます。

5

保護カバーを片手で支えながら、取っ手を元の位置へ戻し①、ドラムカートリッジ本体を水平にゆっくりと押し込みます②。

カチッと音がしてロックされるまで、しっかりと押し込んでください。

お願い

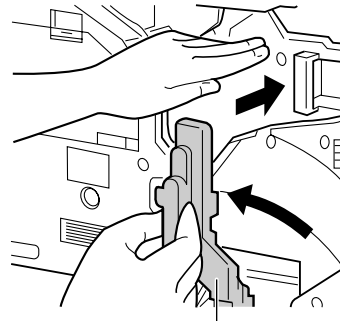
● ドラムカートリッジの感光面には、絶対に触れないように注意してください。触れると印字品質が低下する原因となります。

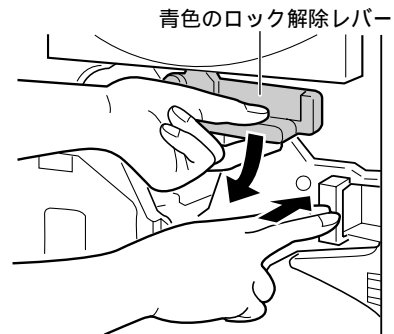
6

ドラムカートリッジを完全に押し込んだら、保護カバーを取り外します。

お願い

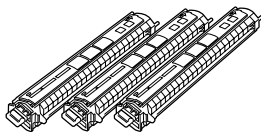
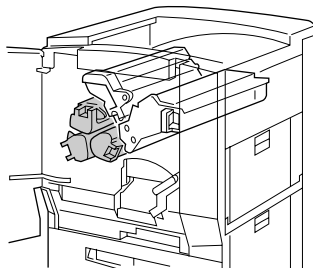
● 保護カバーは、ドラムカートリッジの交換時に必要になります。捨てずに保護袋といっしょにパッケージに入れて保管しておいてください。

7

緑色のロック解除レバーを元の位置へ戻します。

8

青色のロック解除レバーを元の位置へ戻します。

引き続き、カラートナーカートリッジを取り付けます。前ドアは閉じないでください。

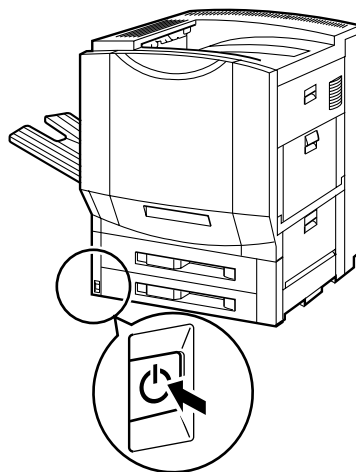
カラートナーカートリッジの取り付け

エンジンキットに同梱されているC（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）のカラートナーカートリッジは、次の手順で取り付けます。

C（シアン）トナーカートリッジ
M（マゼンタ）トナーカートリッジ
Y（イエロー）トナーカートリッジ

取り付け位置

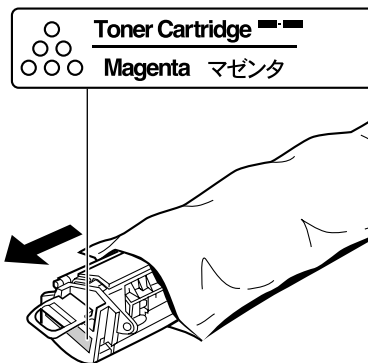
C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）のカラートナーカートリッジは、それぞれに同じ手順で取り付けてください。

1

プリンタの電源スイッチをオンにします。

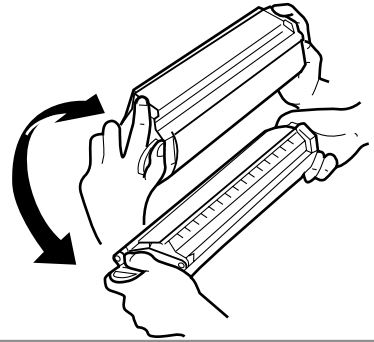
しばらくすると、ディスプレイに「14 Y カートリッジ ナシ」と表示されます。

2

カラートナーカートリッジを保護袋から取り出します。

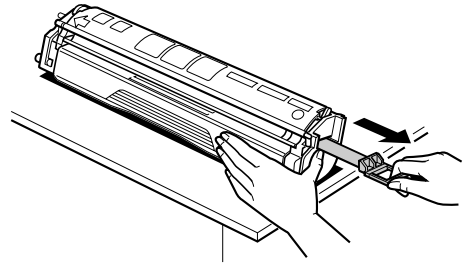
お願い

●カラートナーカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。本体のメンテナンス等、カラートナーカートリッジを取り出すときに必要になります。

3

カラートナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと5～6回振って、内部のトナーを均一にならします。

お願い

●トナーが均一でないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。

4

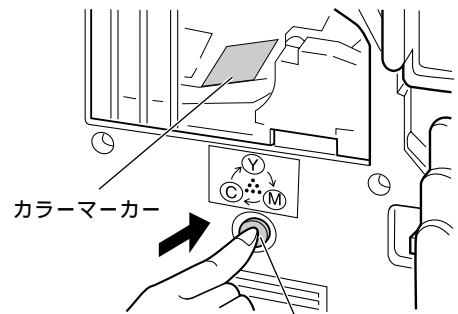
カラートナーカートリッジを平らな場所に置き、カートリッジを押さえながらシーリングテープを引き抜きます。

シーリングテープは、タブに指を掛け、真っ直ぐ横に引っ張って引き抜きます。

お願い

- 曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張ったりすると、シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。
- シーリングテープは最後まで完全に引き抜いてください。
- シーリングテープを引き抜いたカラートナーカートリッジは絶対に振らないでください。
- 手や衣服をトナーで汚さないように十分に注意して作業を行ってください。
- シーリングテープを引き抜くときは、カートリッジシャッターを手で押さえつけないように十分に注意して作業を行ってください。

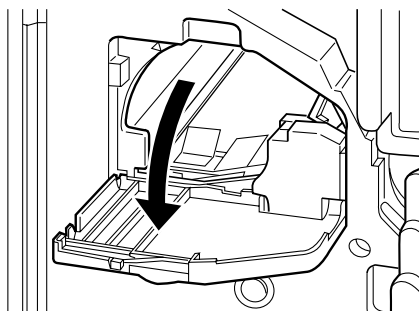
5

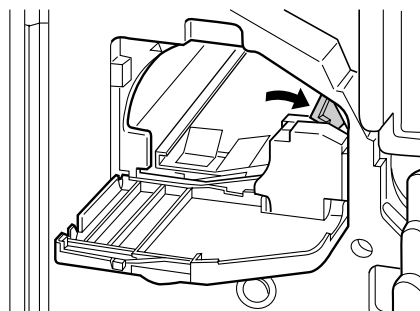
トナーカートリッジ交換ボタンを押し、セットするカラートナーカートリッジの色と同じ色のカラーマーカーを選択します。

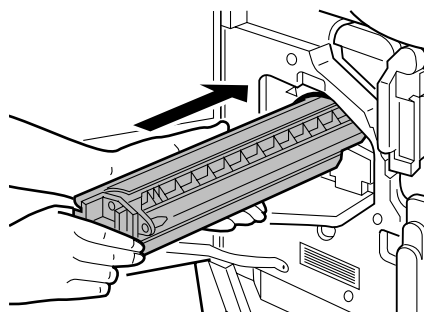
例えば、シアンのカラートナーカートリッジをセットする場合は、カラーマーカーの色がシアンになるまで繰り返しトナーカートリッジ交換ボタンを押します。

お願い

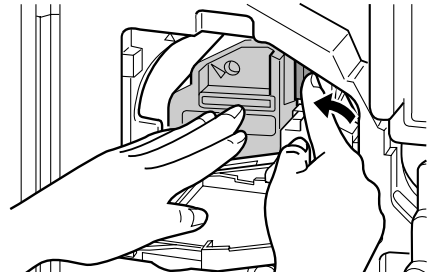
- トナーカートリッジ交換ボタンは必ず 1 回以上押してください。一度も押さずにロック解除レバーを開くと、プリンタ故障の原因となることがあります。
- カラーカートリッジカバーが開いているときは、必ず閉じてからトナーカートリッジ交換ボタンを押してください。
- ドラムカートリッジおよび K（ブラック）トナーカートリッジがセットされていないとトナーカートリッジ差し込み部は回転しません。必ず、先にドラムカートリッジおよび K（ブラック）トナーカートリッジをセットしてください。
- トナーカートリッジ差し込み部が回転しているときは、ロック解除レバーやカラーカートリッジカバーに触れないでください。プリンタ故障の原因となることがあります。

6

カラーカートリッジカバーを開きます。

7

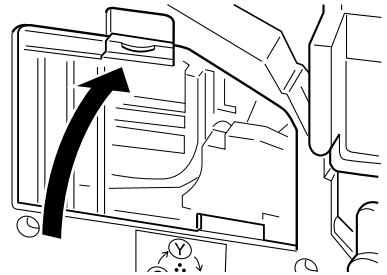
トナーカートリッジ差し込み部右側の青いロック解除レバーを右側へ開きます。

8

トナーカートリッジ差し込み部内のカラーマーカーと同じ色のカラートナーカートリッジを図のように水平に持ち、しっかりと奥まで差し込みます。

9

カラートナーカートリッジを奥へ押しながら、ロック解除レバーを元の位置へ戻して固定します。

お願い

●ロック解除レバーは、元の位置へきちんと戻し、しっかりとロックしてください。しっかりとロックされていないと、故障の原因になります。

10

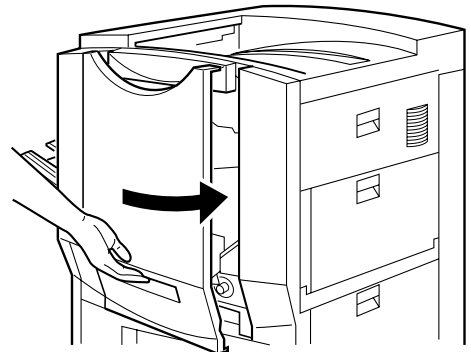
カラーカートリッジカバーを閉じます。

11

***2* から *10* の手順を繰り返し、3 色のトナーカートリッジをセットします。**

お願い

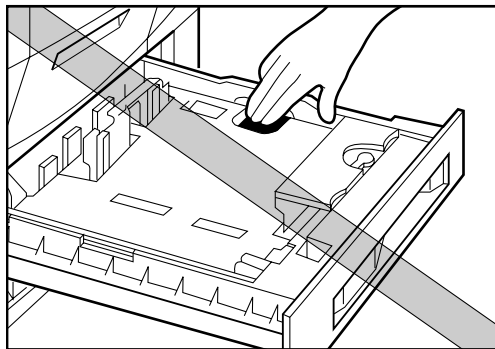
●必ずカラートナーカートリッジの色とトナーカートリッジ差し込み部内のカラーマーカーの色を合わせて取り付けてください。違う色のカラートナーカートリッジはセットすることができません。

12

前ドアを閉じます。

用紙をセットする

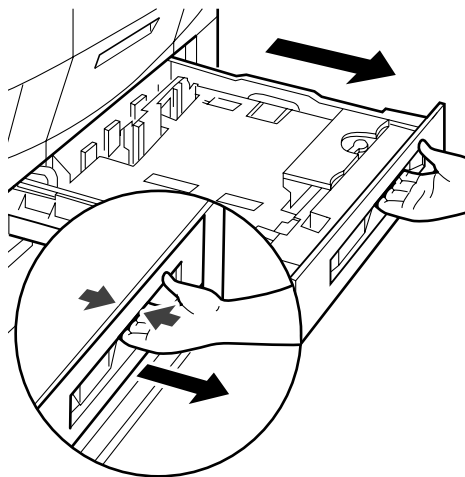
LBP-2360にはカセット1とカセット2の2種類、LBP-2300にはカセット1の1種類の給紙カセットを標準装備しています。カセット1（上段）には、A4、B4、レター、リーガルサイズ、カセット2（下段）には、A4、B4、A3、レター、リーガル、レジャーサイズの用紙をそれぞれ約500枚（普通紙64g/m²）セットできます。
トナーカートリッジのセットが終わり、給紙カセットの梱包材を取り外したら、用紙をセットします。

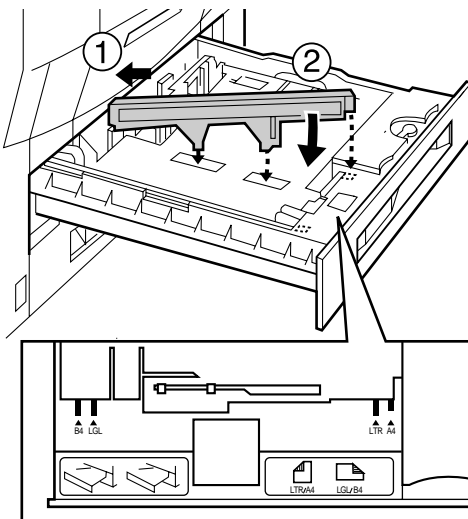
お願い

紙づまりの原因となることがありますので、次の注意を守ってください。
- **普通紙（64～105g/m²）以外の用紙をセットしないでください。**
- **しわのある用紙やひどくカールした用紙はセットしないでください。**
- **使用できる用紙についての詳細は、ユーザーズガイド　第2章「用紙について」をご覧ください。**
- **給紙カセットの黒いゴムパットには触れないでください。給紙不良の原因となることがあります。**

カセット1、カセット2共に用紙のセット方法は同じです。次の手順にしたがって、両方の給紙カセットに正しく用紙をセットしてください。

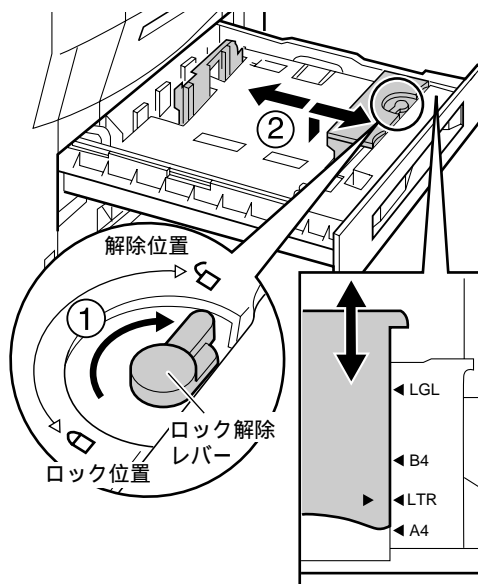
1

給紙カセットをいっぱいに引出します。

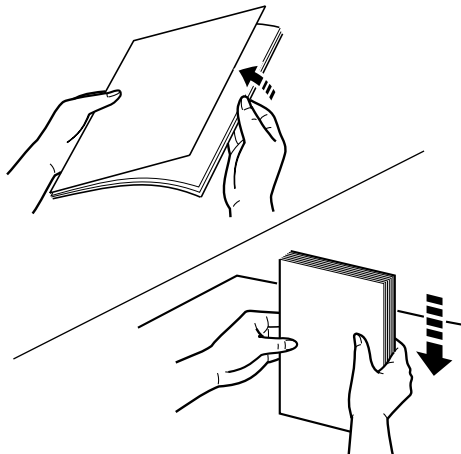
給紙カセットは、前面の取っ手に図のように手を入れ、奥のロック解除レバーを引いて引き出します。止まるまでいっぱいに引き出してください。

2

左側用紙ガイドの手前を持ち上げて外し、セットする用紙サイズが表示されている位置の溝へ、図の①、②の順に差し込んで固定します。

3

前側用紙ガイドのロック解除レバーを解除側に回し①、用紙ガイドの位置を合わせたら②、ロック解除レバーをロック側に回してロックします。

奥の用紙ガイドは、手前の用紙ガイドを動かすと連動します。

4

用紙の束をさばいてから、縁を揃えます。

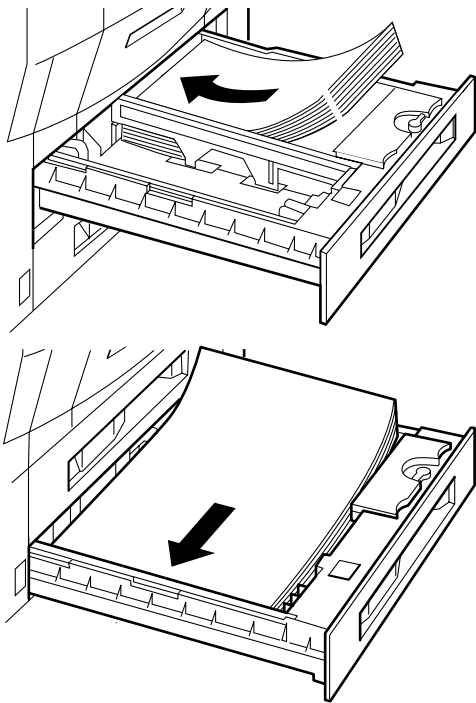
用紙は平らな場所で揃えてください。

お願い

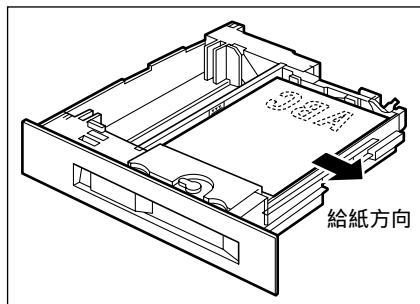
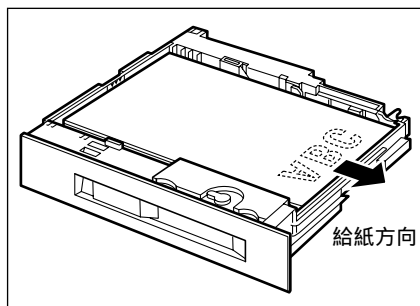
●用紙をさばかずにセットすると、給紙不良や紙づまりの原因になることがあります。

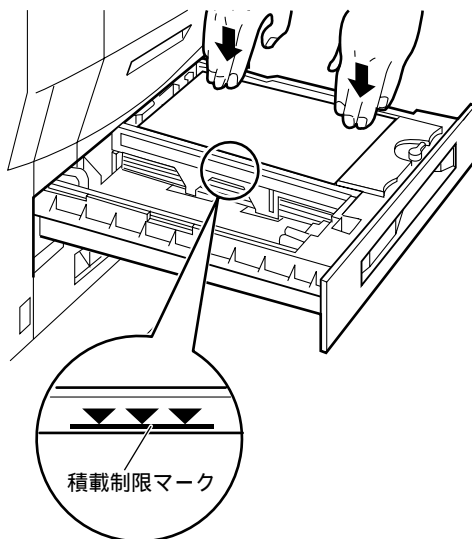
5

用紙を、左側と奥の用紙ガイドに沿わせてセットします。

A4、レターサイズの用紙の場合は矢印の方向（横送り）にセットします。

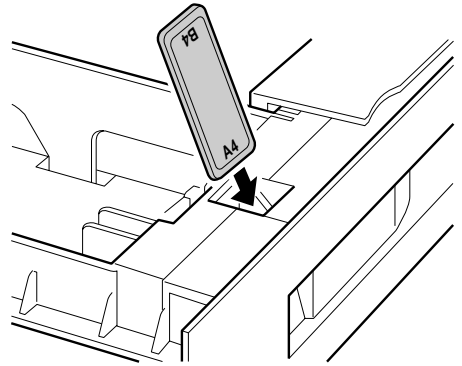
B4、A3、リガール、レジャーサイズの用紙の場合は矢印の方向（縦送り）にセットします。

●レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。

・A4、レターサイズの用紙の場合は、プリントする面を下に向け、用紙の上側を奥側に向けてセットします。

・B4、A3、リーガル、レジャーサイズの用紙の場合は、プリントする面を下に向け、用紙の上側が右になるようにセットします。

6

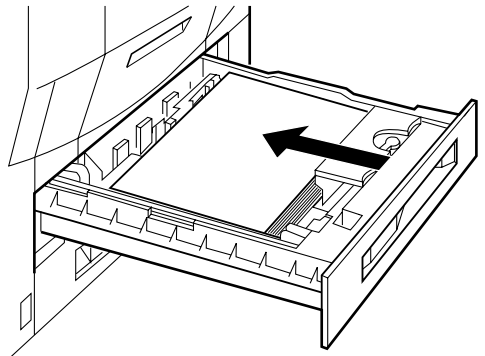
用紙の右側を下へ押さえ､用紙ガイドの積載制限マークを超えていないかどうか確認します。

●給紙カセットにセットできる枚数は、普通紙（64g/m²）で約500枚です。絶対に左端の用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となることがあります。

7

用紙サイズ表示板に、セットした用紙サイズのラベルを貼り、給紙カセットの前面左側の用紙サイズ表示板差し込み口に差し込みます。

セットした用紙サイズの表記を下側にしてセットします。

8

給紙カセットをカチッとロックするまで押し込みます。

給紙カセットの前面が、プリンタの前面と合うまで、しっかりと奥まで押し込んでください。

パソコンと接続する

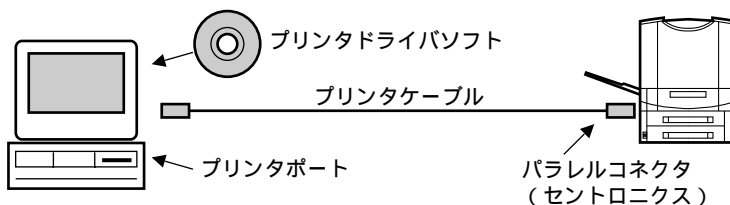
プリンタの準備が終わったら、本プリンタをパソコンやネットワークに、プリンタケーブルやネットワークケーブルで接続します。

●本プリンタにプリンタケーブルやネットワークケーブルは付属していません。あらかじめご使用のパソコンやネットワークに合ったケーブル（別売）をご用意ください。

DOS/Windows パソコンとの接続

本プリンタを DOS/Windows パソコンに直接接続するときは、プリンタポート（パラレルインタフェース）または USB ポートに接続します。

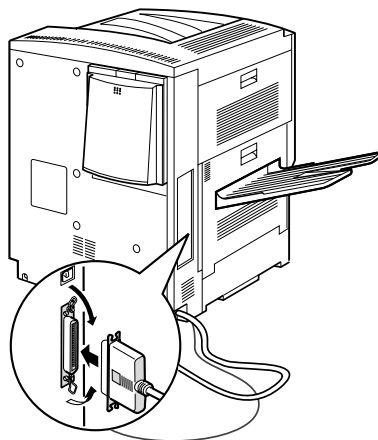
■プリンタポートに接続する場合

PC-9800 シリーズや IBM PC/AT 互換機（DOS/V パソコン）、その他の DOS/Windows パソコンのプリンタポートは、一般的にパラレルインタフェース（セントロニクス準拠）です。お使いのパソコン用のプリンタケーブルで本プリンタのパラレルコネクタとパソコンのプリンタポートを接続します。

注意

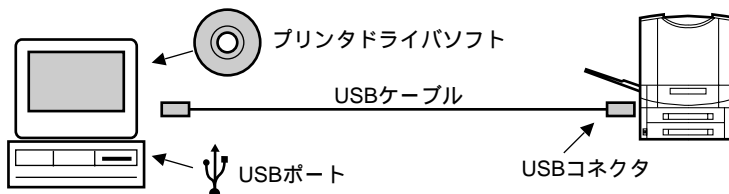
●プリンタケーブルを接続するときは、必ず次の手順を守ってください。感電の原因となることがあります。
①本プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
② パソコンの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

1

プリンタケーブルのセントロ 36 ピンコネクタ側を本プリンタ左側面のパラレルコネクタへ接続し、両側の留め金を掛けます。

2

プリンタケーブルの反対側をパソコンのプリンタポートへ接続します。

■ USB ポートに接続する場合

USB（ユニバーサル・シリアル・バス）ポートを装備したパソコンの場合は、USB ケーブルで本プリンタ左側面の USB コネクタとパソコンの USB ポートを接続します。

警告

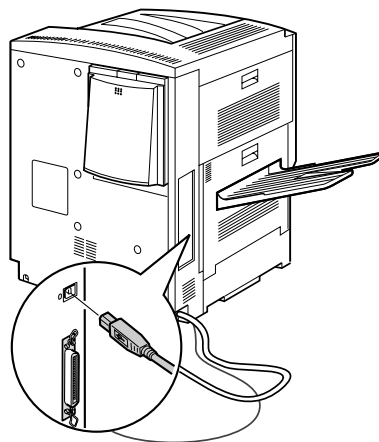
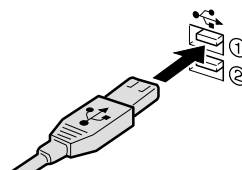
- 電源をオンにした状態でUSBケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

お願い

- 次のようなときは、USB ケーブルを抜き差ししないでください。パソコンやプリンタの動作不良の原因になります。
  - ・プリンタドライバのインストール中
  - ・パソコンの電源を入れた後の OS（Windows）起動中
  - ・プリント中
- パソコンおよびプリンタの電源が入っている状態でUSBケーブルを抜き差しする場合は、抜いた後に必ず 5 秒以上の間隔を空けてから差し込んでください。抜いた直後に差し込むと、パソコンやプリンタの動作不良の原因になります。
- USB ケーブルは 2m 以下のものをお使いください。

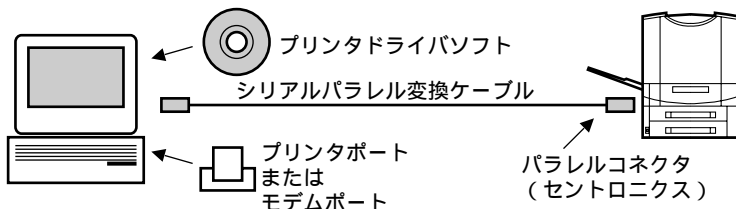
1

USB ケーブルの B タイプ（四角い）側を本プリンタ左側面の USB コネクタへ接続します。

2

USB ケーブルの A タイプ（平たい）側をパソコンの USB ポートへ接続します。

Macintosh パソコンとの接続

本プリンタを Macintosh に直接接続するときは、次の 2 つの方法があります。

■シリアルポートに接続する場合

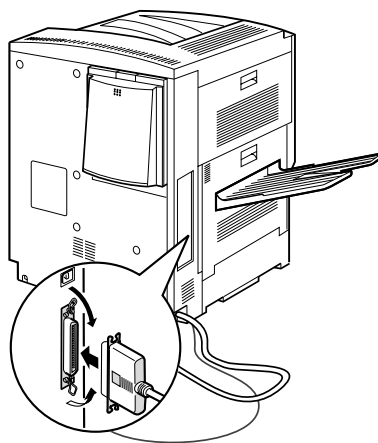
シリアルポートを装備した Macintosh は、シリアルパラレル変換ケーブルで本プリンタ左側面のパラレルコネクタとMacintoshのシリアルポートを接続します。接続用のオプションとして､「NetHawk SP-LS III」（プリンタドライバ＋シリアルパラレル変換ケーブルセット）が用意されています。

注意

● プリンタケーブルを接続するときは、必ず次の手順を守ってください。感電の原因となることがあります。
①本プリンタの電源をオフにし､電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
② パソコンの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

メモ

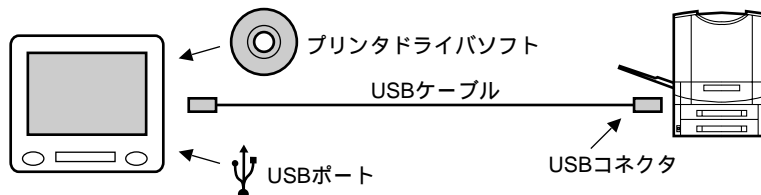
●「NetHawk SP-LS III」については、新潟キヤノテック（株）へお問い合わせください。（TEL.025-244-6445）

1

シリアルパラレル変換ケーブルのセントロ36ピンコネクタ側を本プリンタ左側面のパラレルコネクタへ接続し、両側の留め金を掛けます。

2

シリアルパラレル変換ケーブルの反対側をMacintoshのプリンタポート(シリアルポート)へ接続します。

■ USB ポートに接続する場合

USB（ユニバーサル・シリアル・バス）ポートを装備した Macintosh は、USB ケーブルで本プリンタ左側面の USB コネクタと Macintosh の USB ポートを接続します。

警告

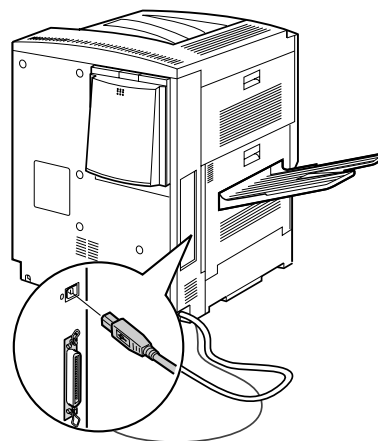
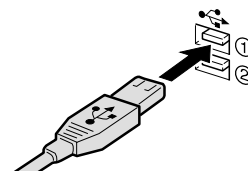
- 電源をオンにした状態でUSBケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

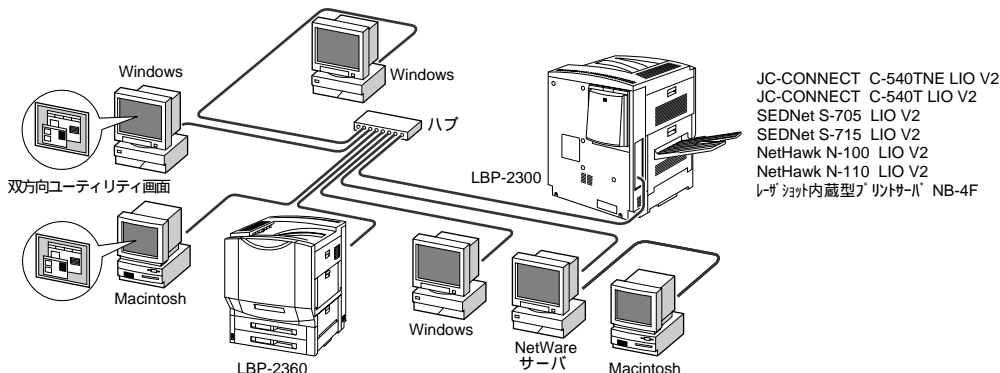
お願い

- 次のようなときは、USB ケーブルを抜き差ししないでください。パソコンやプリンタの動作不良の原因になります。
  - ・プリンタドライバのインストール中
  - ・パソコンの電源を入れた後の OS（Mac OS）起動中
  - ・プリント中
- パソコンおよびプリンタの電源が入っている状態でUSBケーブルを抜き差しする場合は、抜いた後に必ず 5 秒以上の間隔を空けてから差し込んでください。抜いた直後に差し込むと、パソコンやプリンタの動作不良の原因になります。
- USB ケーブルは 2m 以下のものをお使いください。

1

USB ケーブルの B タイプ（四角い）側を本プリンタ左側面の USB コネクタへ接続します。

2

USBケーブルのAタイプ(平たい)側をMacintosh の USB ポートへ接続します。

ネットワークとの接続

本プリンタをEthernetなどのネットワークに接続すると、ネットワーク上のパソコンからプリンタを共有して使用することができます。NetWare、UNIX、Windows、Mac OSなどのOSで使用可能です。

■標準のプリントサーバを使用する場合（LBP-2360のみ）

LBP-2360は、10BASE-T/100BASE-TX対応プリントサーバを標準装備しており、ネットワークへ直接接続してWindowsやMacintosh、UNIXなどのコンピュータからプリンタを共有することができます。本プリンタのプリントサーバはIPX/SPX、TCP/IP、EtherTalk、NetBIOS/NetBEUIのプロトコルに対応しています。

メモ

●本プリンタをネットワークに接続した場合、ネットワークOS（NetWare, UNIXなど）の設定やプリントサーバの設定などが必要です。これらの設定については「ネットワークガイド」をご覧ください。

●本プリンタをネットワークに接続した場合、ステータスプリントを行ってプリントサーバのMACアドレスなどを確認し、ネットワークOS（NetWare, UNIXなど）の設定やプリントサーバの設定を行ってください。

■オプションのプリントサーバを使用する場合

オプションのプリントサーバには以下の種類があります。プリントサーバにより、対応OSやネットワークの種類が異なります。お使いのネットワークやコンピュータに合わせてお選びください。

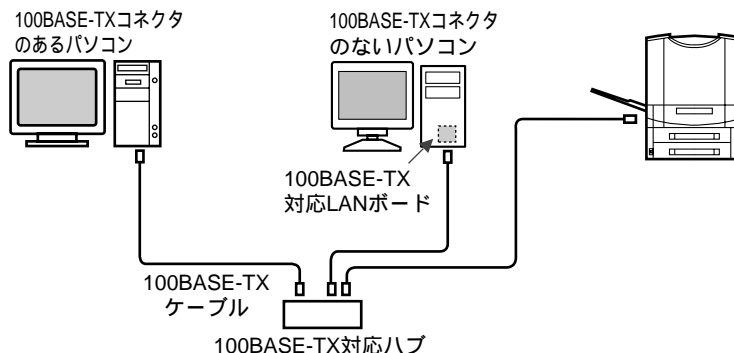
製品名称	対応プロトコル	ｲﾝﾀﾌｪｰｽ	メーカ名
JC-CONNECT C-540TNE LIO V2	IPX/SPX,TCP/IP,EtherTalk,NetBEUI	10BASE-T/100BASE-TX	日本ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ工業(株)
JC-CONNECT C-540T LIO V2	TCP/IP, NetBEUI	10BASE-T/100BASE-TX	日本ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ工業(株)
SEDNet S-705 LIO V2	IPX/SPX, TCP/IP	10BASE-T	住商電子ﾃﾞﾊﾞｲｽ(株)
SEDNet S-715 LIO V2	IPX/SPX, TCP/IP	10BASE-T/100BASE-TX	住商電子ﾃﾞﾊﾞｲｽ(株)
NetHawk N-100 LIO V2	TCP/IP, NetBEUI	10BASE-T/100BASE-TX	新潟ｷﾔﾉﾃｯｸ(株)
NetHawk N-110 LIO V2	IPX/SPX,TCP/IP,EtherTalk,NetBEUI	10BASE-T/100BASE-TX	新潟ｷﾔﾉﾃｯｸ(株)
内蔵型ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ NB-4F	IPX/SPX, TCP/IP, NetBEUI, AppleTalk	10BASE-T/100BASE-TX	キヤノン(株)

これら製品の詳細や購入については、プリンタをお買い上げの販売店へお問い合わせください。

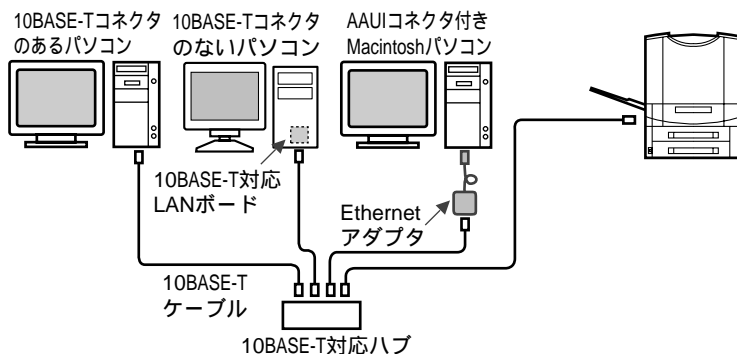
メモ

●本プリンタにプリントサーバを装着してネットワークに接続した場合、ネットワークOS（NetWare, UNIXなど）の設定やプリントサーバまたはリモートプリンタとしてのインストール作業、プリントサーバの設定などが必要です。これらの作業についてはネットワークOSやプリントサーバに付属の取扱説明書をご覧ください。

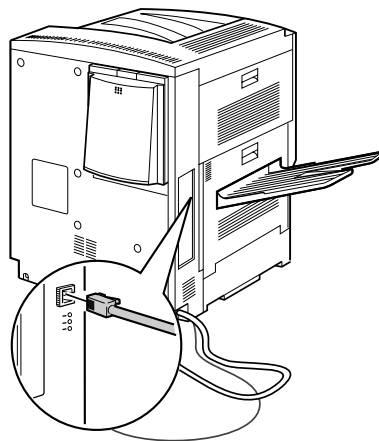
■ 100BASE-TX で接続する場合

本プリンタのプリントサーバとハブのポートを100BASE-TX対応LANケーブル（カテゴリ5用ツイストペアケーブル）で接続します。100BASE-TXのネットワークに対応していないパソコンの場合は、100BASE-TX対応のネットワークボードも必要になります。さらにネットワーク上のパソコンにはネットワーク管理ソフトをインストールして、プリントサーバの設定を行います。

● ハブやLANケーブル、パソコン用ネットワークボードなど、LANに接続している機器は、すべて100BASE-TXに対応しているものが必要になります。詳しくはお買い求めの販売店、またはキヤノン販売（株）「お客様相談センター」へお問い合わせください。

■ 10BASE-T で接続する場合

本プリンタのプリントサーバとハブのポートを10BASE-T対応LANケーブル（カテゴリ３～5用ツイストペアケーブル）で接続します。ネットワークに対応していないパソコンの場合は、ネットワークボードも必要になります。さらにネットワーク上のパソコンにはネットワーク管理ソフトをインストールして、プリントサーバの設定を行います。

■接続のしかた

1

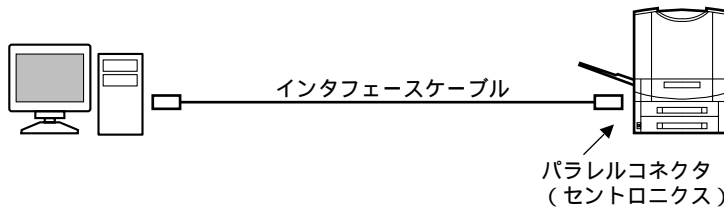
LANケーブルを本プリンタ左側面のLANコネクタへ接続します。

2

LAN ケーブルの反対側をハブのコネクタへ接続します。

PS/55、PS/V シリーズとの接続

ご使用のパソコンのプリンタポートがパラレルインタフェース（セントロニクス準拠）のときは、そのパソコンのコネクタに合ったインタフェースケーブルで本プリンタと接続します。

注意

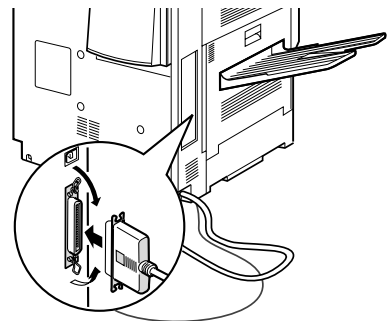
● **インタフェースケーブルを接続するときは、必ず次の手順を守ってください。感電の原因となることがあります。**
①本プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
②パソコンの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

なお、本プリンタをPS/55、PS/Vなどのコンピュータに接続して使用する場合、オプションのコントロールROMが必要です。また、これらのコンピュータからプリントする場合、インタフェースの自動切り替えや動作モードの自動切り替えができないことがあります。この場合、使用しているインタフェースおよびコントロールROMのエミュレーションモードに固定してご使用ください。

お願い

● **使用できるインタフェースケーブルについては、お買い求めの販売店、またはキヤノン販売（株）「お客様相談センター」にお問い合わせください。**
● **コントロール ROM の取り付けについては、第 3 章 「RAM/ROM」（→ P.81）をご覧ください。**
● **インタフェースおよびエミュレーションモードの固定方法については、「LIPS 機能ガイド」をご覧ください。**

1

プリンタケーブルのセントロ 36 ピンコネクタ側を本プリンタ左側面のパラレルコネクタへ接続し、両側の留め金を掛けます。

2

プリンタケーブルの反対側をパソコンのプリンタポートへ接続します。

動作を確認する

プリンタの動作を確認する

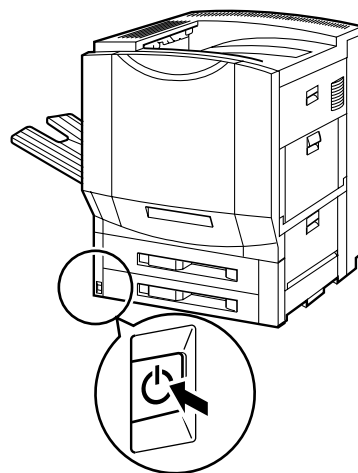
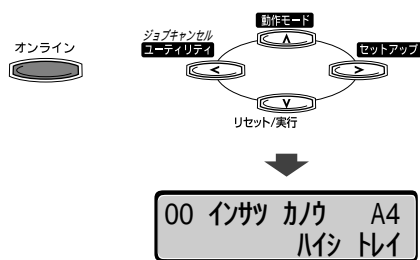
本プリンタには、プリンタの状態や印字品質などを確認するためのテストプリント機能があります。プリンタの準備や接続が終わったらテストプリントを行い、正しく動作することを確認してください。テストプリントはA4サイズの用紙に行いますので、いずれかの給紙元にA4サイズの用紙をセットしてください。

■操作のしかた

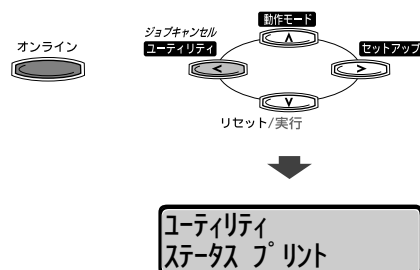
1

プリンタの電源をオンにします。

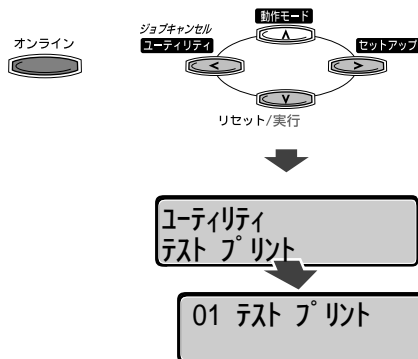
しばらくすると、ディスプレイに「00 インサツ　カノウ」と表示され、プリント可能な状態になります。

2

オンラインキーを押し、オンラインランプを消灯します。

3

ユーティリティキーを押します。

ディスプレイに「ステータス　プリント」と表示されます。

4

（＜）、（＞）キーで「テスト　プリント」を選択し、（∨）キーを押して実行します。

ディスプレイに「01　テスト　プリント」と表示され、テストプリントを開始します。

■テストプリントのプリント内容

プリンタが正常に動作していると、次のようなパターンがプリントされます。

COLOR LASER SHOT
LBP-2360

Black:24ppm
Color:6ppm

Real 600dpi
Super Smoothing Technology

LIPS IV　RISC　6 ppm　A3　32MB

キヤノンが開き、導く、独創のテクノロジー
いま、未来を築き、歴史を刻む

COLOR
LASER
SHOT

キヤノン・テクノロジーの集大成。
それが、カラーレーザショット。

手軽に、そして確実に、フルカラープリンティング。
それがカラーレーザショットの思想。
こんなにもリアルで、鮮やかなフルカラーが身近に。
いま、あらゆるドキュメントがカラーで語りはじめます。

手軽に、そして確実に、フルカラープリンティング。
それがカラーレーザショットの思想。
こんなにもリアルで、鮮やかなフルカラーが身近に。
いま、あらゆるドキュメントがカラーで語りはじめます。

手軽に、そして確実に、フルカラープリンティング。
それがカラーレーザショットの思想。
こんなにもリアルで、鮮やかなフルカラーが身近に。
いま、あらゆるドキュメントがカラーで語りはじめます。

Canon

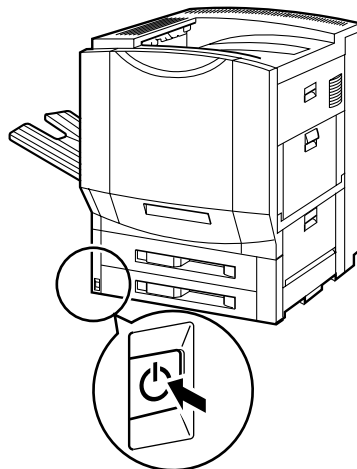
プリントサーバの動作を確認する

本プリンタをネットワークに接続している場合は、プリントサーバの動作状態をランプで確認することができます。

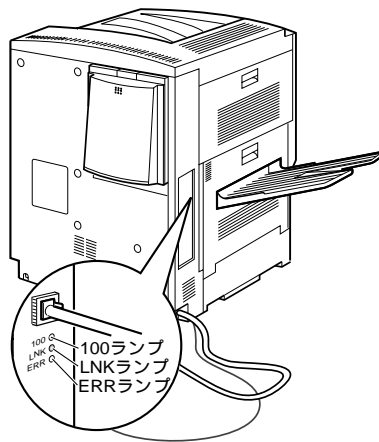
■確認のしかた

1

プリンタの電源をオンにします。

しばらくすると、ディスプレイに「00 インサツ　カノウ」と表示され、プリント可能な状態になります。

2

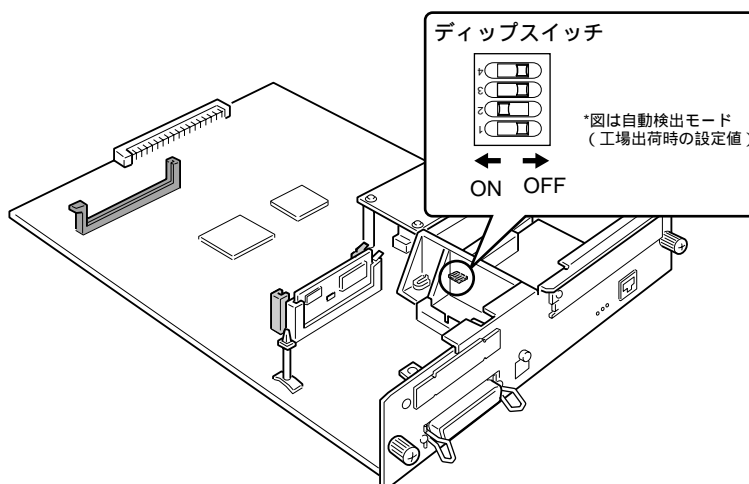
プリントサーバの LNK ランプ（緑）が点灯していることを確認します。

10BASE-Tの場合は、LNKランプが点灯していれば、正常です。100BASE-TXの場合は、LNKランプと100ランプが点灯していれば、正常です。
正常に動作していない場合は、LAN ケーブルの接続やハブの動作状態を確認してください。他の機器がすべて正常に動作している場合は、プリンタの電源をオフにしてメインボードを取り外し、プリントサーバのディップスイッチを接続した LAN に合わせて変更してください。**（→ P.63）**

3

確認が終わったら、プリンタの電源をオフにします。

■プリントサーバの設定

LBP-2360に内蔵のプリントサーバは、工場出荷状態では「自動検出モード」に設定されています。10BASE/100BASEの通信速度や転送モードは自動的に検出されるので、通常は設定を変更する必要はありません。LAN側の機器とうまく通信できないときは、プリントサーバ上のディップスイッチを設定してください。

プリントサーバの設定は、プリンタの電源をオフにしてからプリンタ左側面のメインボードを取り外して行います。接続したLANの通信速度に合わせて、ディップスイッチを下表のように設定してください。

LANの通信速度 / 転送モード	ディップスイッチの設定
10BASE-T/半二重モード に固定する場合	ON OFF
10BASE-T/全二重モード に固定する場合	ON OFF
100BASE-TX/半二重モード に固定する場合	ON OFF
100BASE-TX/全二重モード に固定する場合	ON OFF

1

プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから外します。

2

電源コードやインタフェースケーブルを取り外します。

3

作業がしにくいときは、サブ排紙トレイを取り外します。

作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動してください。

4

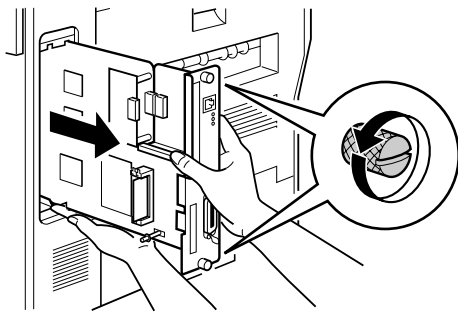
メインボードを上下のネジをゆるめて引き出し、両手で持って取り外します。

ネジは軽く動くところまでゆるめれば十分です。取り外す必要はありません。取り出したメインボードは、水平で作業しやすい場所に置いてください。

注意

- メインボードは必ず両手で全体を支えながら取り外してください。ネジ部だけを持って引き出すと、メインボードが落下してけがや破損の恐れがあります。

お願い

- メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- 作業中にネジなどの金属がメインボードに触れないように注意してください。

5

プリントサーバのディップスイッチを設定します。

ディップスイッチは、先端の細いもので設定してください。設定方法は P.63 の表をご覧ください。

6

メインボードを図のように両手で持ち、メインボード後部のフック（黒いプラスチックの部分）を本体のメインボード差し込み部のレールに載せてまっすぐに押し込んで、上下のネジを締めて固定してください。

お願い

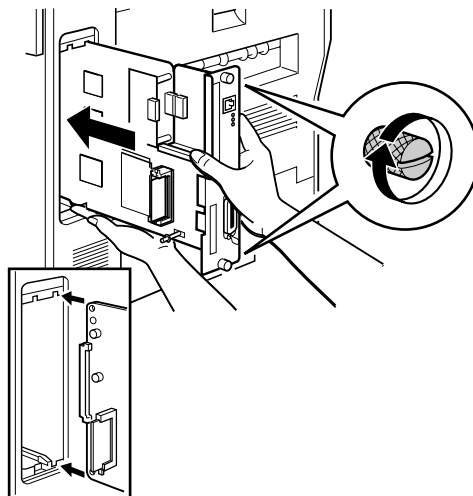
● **メインボードのパネル面がプリンタ本体にぴったりと合うまでしっかりと押し込んでください。**

7

サブ排紙トレイを取り付け、プリンタのインタフェースケーブルや電源コードを接続します。

8

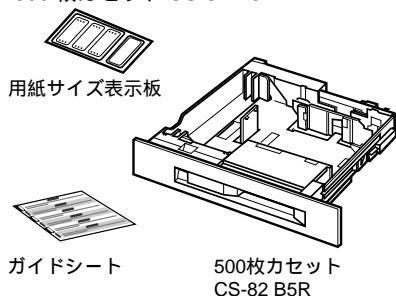
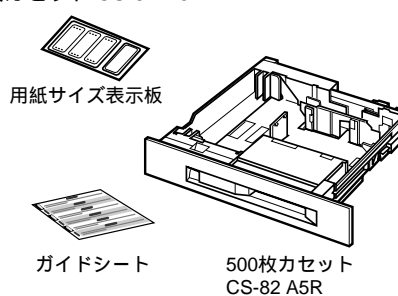
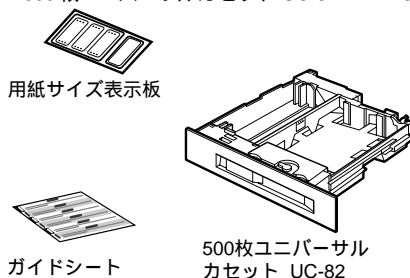
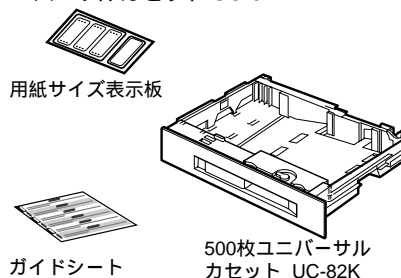
電源プラグを電源コンセントに接続します。

第 3 章

オプションの取り付け

500 枚カセット **68**
上段カセットを追加する（LBP-2300 のみ）........ 69
カセットを交換する 75
両面ユニット **77**
RAM/ROM **81**
プリントサーバ **89**
ハードディスク（LBP-2360 のみ） **95**
オプションコントローラボード **106**
7 ビンソータ **111**

500枚カセット

500枚カセットCS-82（B5R、A5R）や500枚ユニバーサルカセットUC-82は本体上段のカセット1と入れ換えて（LBP-2300の場合は追加して）使用します。500枚ユニバーサルカセットUC-82Kは、本体下段のカセット2と入れ換えて使用します。取り付け作業を始める前に、以下のものがパッケージにすべて揃っているか確認してください。万一不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

お願い

- **500枚カセットCS-82（B5R、A5R）は、プリンタ本体のカセット1および2×500枚ペーパーデッキのカセット3の交換用です。プリンタ本体のカセット2や2×500枚ペーパーデッキのカセット4に取り付けることはできません。**
- **LBP-2300にカセット1を追加するときは、必ずプリンタ本体の電源をオフにしてから作業を行ってください。**

上段カセットを追加する（LBP-2300のみ）

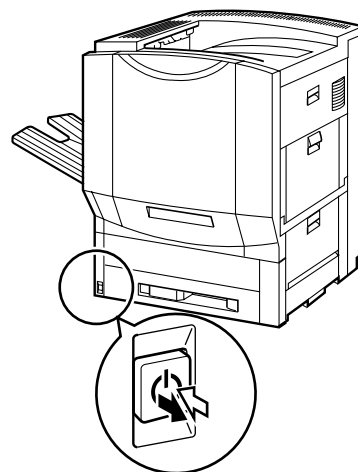
LBP-2300に500枚カセットCS-82（B5R、A5R）や500枚ユニバーサルカセットUC-82を取り付けるときは、次の手順でプリンタ本体の上段カセット（カセット1）部に取り付けます。取り付け後、セットアップメニューの「カセット1　シヨウ」を「スル」に変更します。

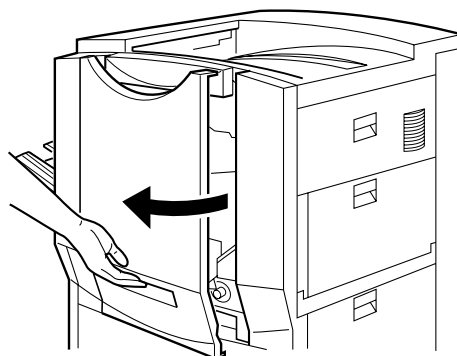
●カセットを取り付けた後は、「カセット1の設定を変更する」（→P.72）の手順に従って、必ずセットアップメニューの「カセット1　シヨウ」を「スル」に変更してください。この設定を行わないと、カセット1を使用することはできません。また、各パソコンのプリンタドライバ側でも「500枚カセット」を使用できる設定にしてください。操作パネルおよびプリンタドライバの両方を設定しないと、カセット1を使用することはできません。プリンタドライバの操作については、「LIPSソフトウェアガイド」をご覧ください。

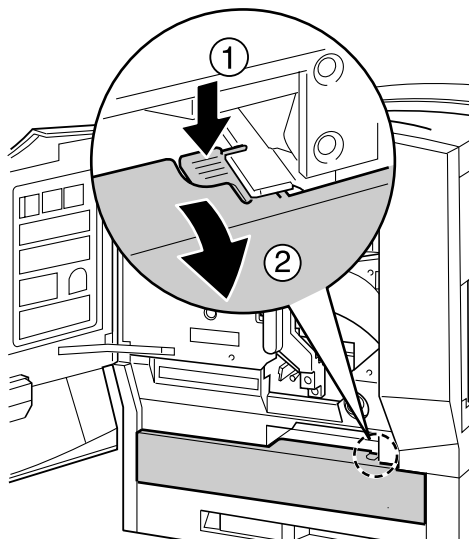
■上段カセットの取り付け

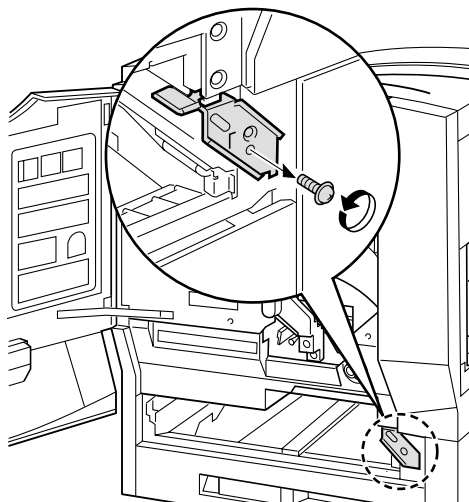
1

電源スイッチを押して、プリンタをオフにします。

2

前ドアを開きます。

前ドアは、図のように手をかけ、手前に引くと開きます。

3

カセットカバーのレバーを押しながら①、カバーを手前に開いて取り除きます②。

4

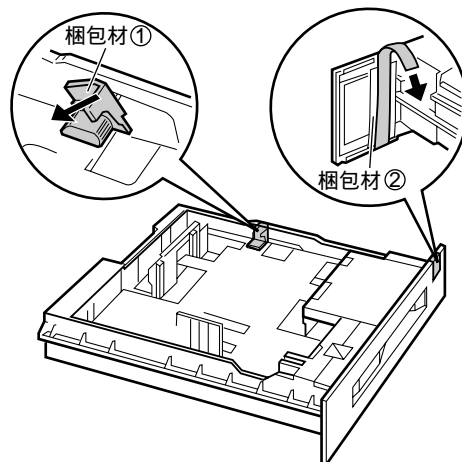
図のネジを取り外し、プレートを取り除きます。

● 取り外したカセットカバーやプレート、ネジは、上段カセットを外したときに必要になります。無くさないように保管しておいてください。

5

給紙カセットをパッケージから取り出します。

6

給紙カセット内部の梱包材①、②、ビニール袋を取り除きます。

梱包材①は、カセット内のプレートを押し下げながら、左奥方向へ倒して取り外します。

7

オプションの給紙カセットをセットします。

給紙カセット下部の溝と左側をプリンタ本体のガイドに合わせ、まっすぐに押し込みます。

プリンタ本体の三角マークと給紙カセットの三角マークを合わせ、給紙カセットの左端を本体のガイドに載せる

- **上下や左右にゆがんだ状態で無理に押し込まないでください。給紙カセットが破損する原因となります。**
- **500 枚カセット CS-82（B5R、A5R）に用紙をセットするときは、用紙を縦送り方向でセットしてください。**

引き続き、セットアップメニューの「カセット１　シヨウ」の設定変更を行います。（→ P.72）

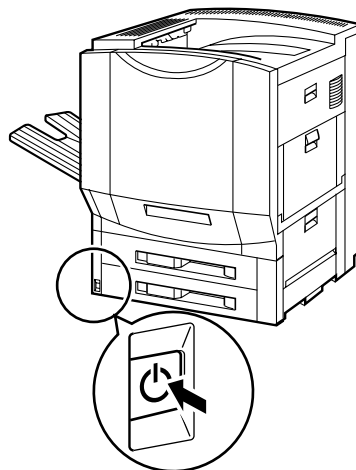
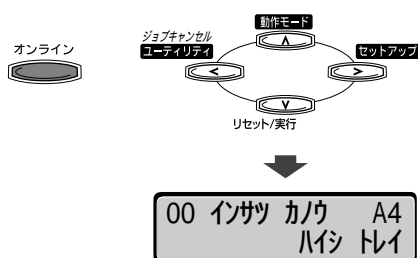
■カセット 1 の設定を変更する

本体に上段カセットを追加したときは、必ずセットアップメニューの「カセット1　シヨウ」を「スル」に設定してください。また、上段カセットを取り外した場合は、セットアップメニューの「カセット1　シヨウ」を「シナイ」に設定し直してください。

1

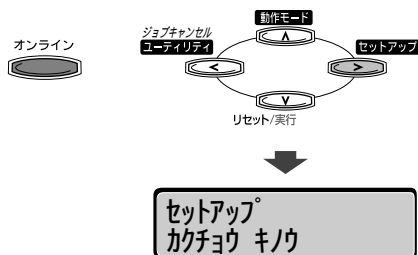
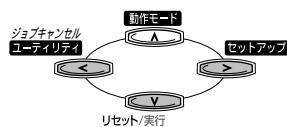
プリンタの電源をオンにします。

しばらくすると、ディスプレイに「00 インサツ　カノウ」と表示され、プリント可能な状態になります。

2

（オンライン）キーを押し、オンラインランプを消灯します。

3

（セットアップ）キーを押します。

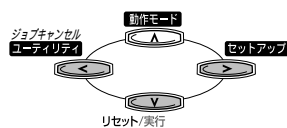
ディスプレイに「セットアップ」と表示されます。

4

＜、＞キーで「キュウシ」を選択し、∨キーを押して実行します。

セットアップ
キュウシ →

キュウシ
トレイ ヨウシ サイズ →

5

＜、＞キーで「カセット１　シヨウ」を選択し、∨キーを押して実行します。

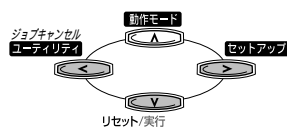
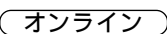
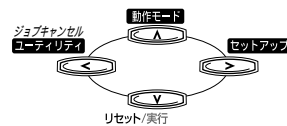
キュウシ
カセット1 シヨウ →

カセット1 シヨウ
=シナイ

6

＜、＞キーで「スル」を選択し、∨キーを押して実行します。

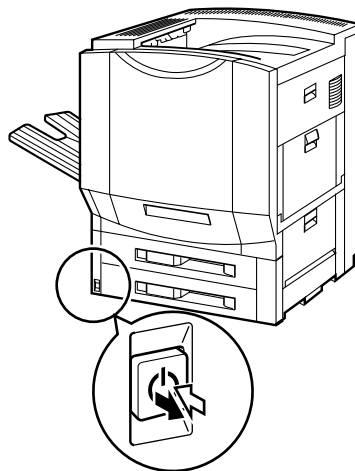
カセット1 シヨウ
スル →

カセット1 シヨウ
=スル →

7

オンラインキーを押し、オンラインランプを点灯します。

「00　インサツ　カノウ」が表示されます。

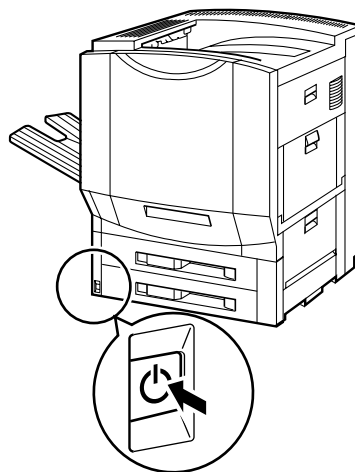
8

電源スイッチを押してプリンタをオフにします。

メモ

●プリンタの電源をオフにする代わりに、ハードリセットの操作を行うことでもカセット1を使用可能にすることができます。操作方法については、ユーザーズガイド　第4章「プリントを中止したいときは」をご覧ください。

9

電源がオフになってから、プリンタの電源をオンにします。

しばらくすると、ディスプレイに「00 インサツ　カノウ」と表示され、カセット1が使用可能になります。

カセットを交換する

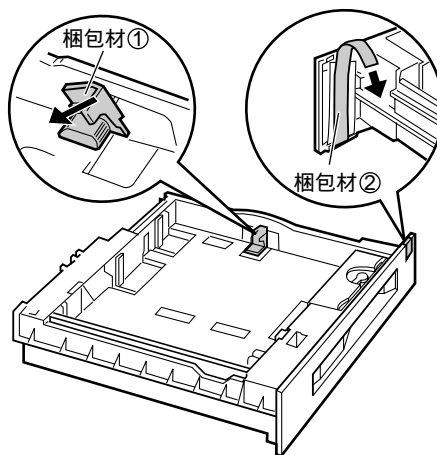
500 枚ユニバーサルカセット UC-82K は、次の手順で本体下段カセット（カセット 2）と交換します。また上段カセット（カセット 1）と、500 枚カセット CS-82（B5R、A5R）や 500 枚ユニバーサルカセット UC-82 を交換する場合も同様の手順です。

1

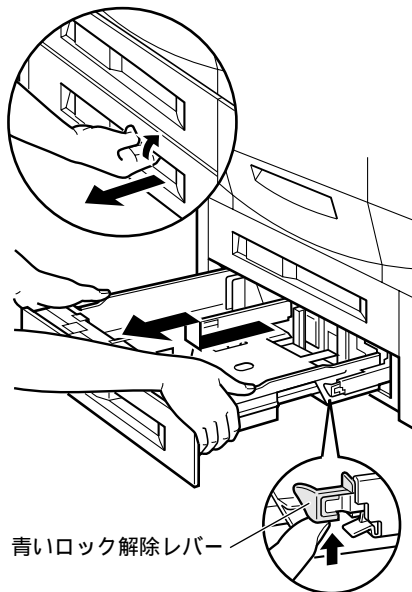
給紙カセットをパッケージから取り出します。

2

給紙カセット内部の梱包材①、②、ビニール袋を取り除きます。

梱包材①は、カセット内のプレートを押し下げながら、左奥方向へ倒して取り外します。

3

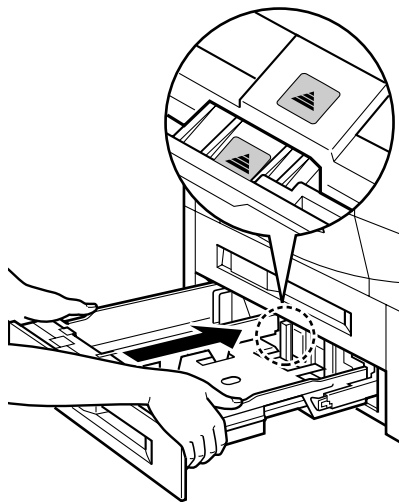
交換したい給紙カセットを抜き取ります。

給紙カセットのロック解除レバーを引いて給紙カセットをいっぱいに引き出した後、右側面の青いロック解除レバーを上に押し上げながら給紙カセットを上に持ち上げてさらに引くと外れます。

お願い

●抜き取った給紙カセットは、安全な場所に保管しておいてください。

4

オプションの給紙カセットをセットします。

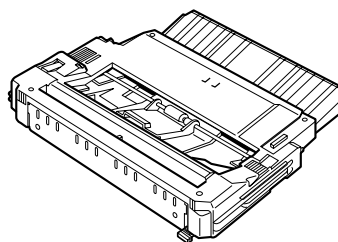
給紙カセット下部の溝と左側をプリンタ本体のガイドに合わせ、まっすぐに押し込みます。

プリンタ本体の三角マークと給紙カセットの三角マークを合わせ、給紙カセットの左端を本体のガイドに載せる

お願い

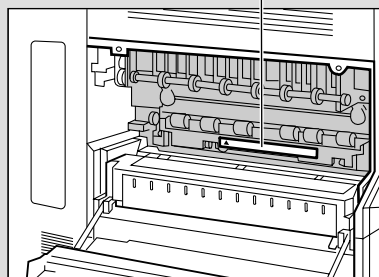
●上下や左右にゆがんだ状態で無理に押し込まないでください。給紙カセットが破損する原因となります。

両面ユニット

両面ユニットは、本体左下カバーの内部に取り付けます。取り付け作業を始める前に、以下のものがパッケージにすべて揃っているか確認してください。万一不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

ガイドシート

両面ユニット DU-82

注意

● 本体左下カバー内部の定着ユニットや排紙部付近は、プリンタの使用中には非常に高温になっており、不用意に触るとやけどをする恐れがあります。プリンタを直前まで使用していた状態で両面ユニットの取り付け作業を行うときは、電源をオフにしてからしばらく時間をおき、完全に冷えてから作業を行ってください。

お願い

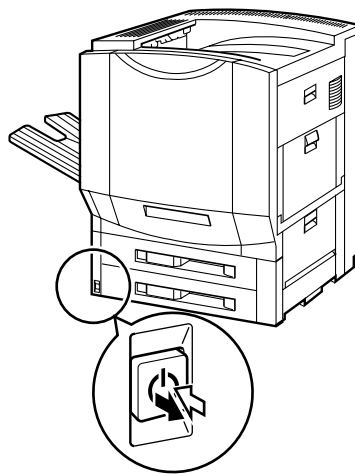
● プリンタ本体の設置やペーパーデッキと同時にオプションの両面ユニットを取り付けるときは、プリンタ本体をペーパーデッキやペディスタルに設置した後で取り付けてください。
● 両面ユニットを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにしてから作業を行ってください。

3

第3章 オプションの取り付け

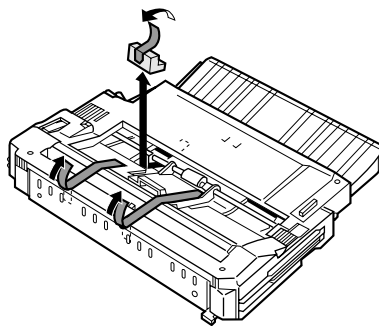
両面ユニットは、次の手順で取り付けます。

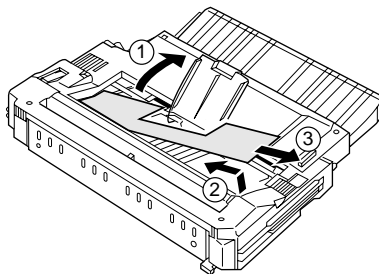
1

電源スイッチを押して、プリンタをオフにします。

2

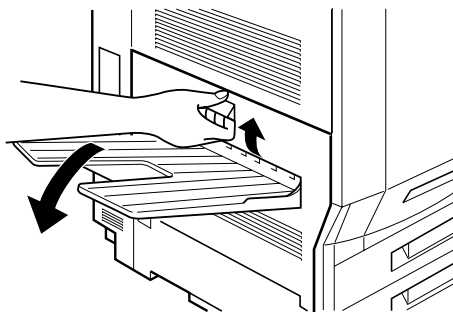
両面ユニットをパッケージから取り出します。

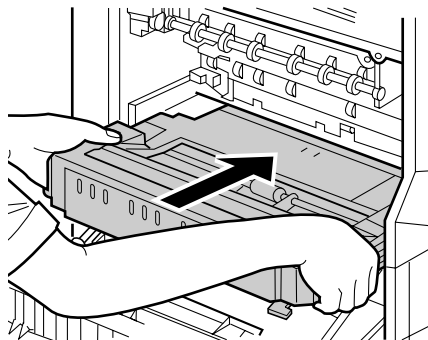
3

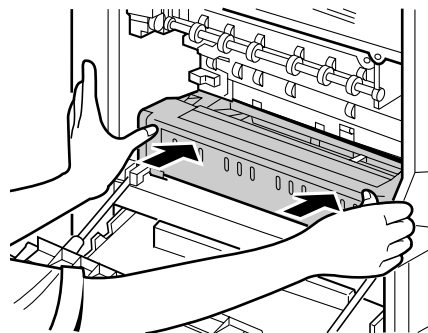
テープや梱包材を取り除きます。

4

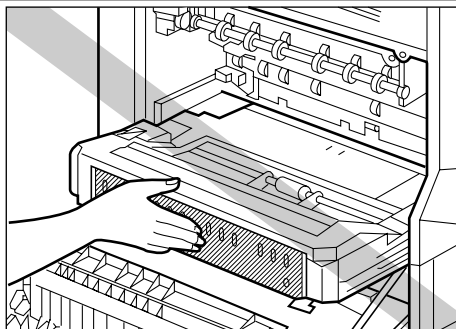
両面ユニット内部の梱包材を図のようにしてを取り除きます。

5

左下カバーを開きます。

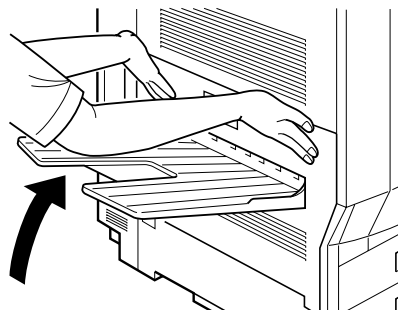
カバーは、取っ手に手を入れ、奥のレバーを手前に引くとロックが外れます。そのままゆっくりと下まで開きます。

6

両面ユニットを図のように両手で持ち、両面ユニット用スロットに差し込みます。

7

両面ユニットを途中まで差し込んだら、図のように両面ユニットの両側に親指をかけ、カチッと音がしてロックするまで押し込みます。

お願い

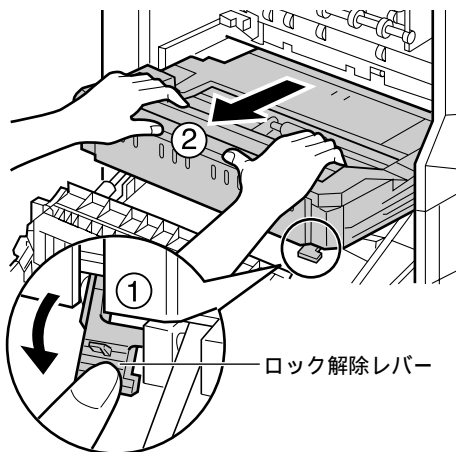
● **両面ユニット背面の金属板の部分を押さないでください。金属板が変形して、給紙不良や紙づまりの原因となることがあります。**

8

左下カバーを閉じます。

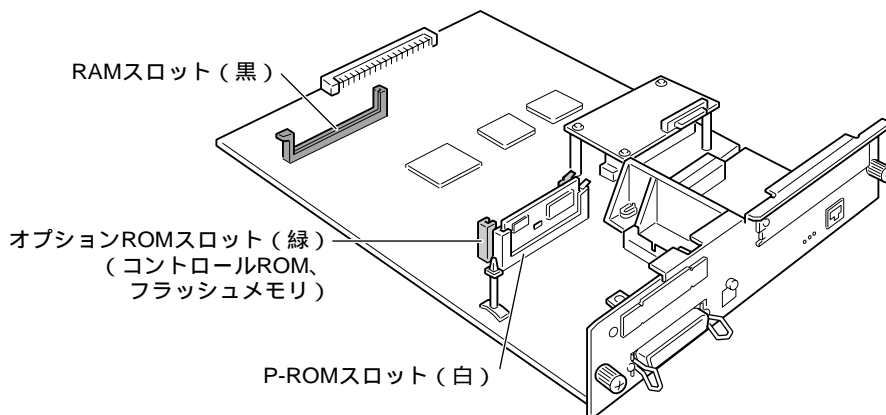
カチッと音がしてロックするまで、両手でしっかりと押さえてください。

両面ユニットを取り出すときは

一度取り付けた両面ユニットを取り外すときは、次のように操作します。

① 両面ユニット右下のロック解除レバーを押し下げます。

② 両面ユニットを図のように両手で引き出し、ゆっくりと取り出します。

● 両面ユニット背面の金属板の部分を押さないでください。金属板が変形して、給紙不良や紙づまりの原因となることがあります。

RAM/ROM

拡張RAMやコントロールROM、フラッシュメモリなどのオプションのRAMやROMは、次の手順でプリンタ本体のメインボードに取り付けます。

- **P-ROM用スロット(白)に取り付けられているROMは絶対に取り外さないでください。プリンタが使用できなくなります。**
- **RAMとROMは、形状や取り付ける位置、取り付け方法が違います。取り付け位置を間違えないように注意してください。**
- **RAMやROMを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにしてインタフェースケーブルや電源コードを取り外し、作業しやすい場所へ移動して作業を行ってください。**

■ RAMの取り付けかた

RAMは、次の手順で取り付けます。

お願い

- **RAMには、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気によるRAMの破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のことをお守りください。**
  - **一度室内の金属部分に手を触れ､体の静電気を逃がしてから作業をしてください。**
  - **作業中に、パソコンのディスプレイなど、静電気を発生しやすいものに触れないでください。**
  - **メインボードの部品やプリント配線､コネクタには直接手を触れないでください。**
  - **静電気の影響を避けるために､RAMは取り付ける直前まで保護袋から取り出さないでください。**
  - **取り出したメインボードは、水平で作業しやすい場所に置いてください。**

1

プリンタの電源をオフにし､電源プラグを電源コンセントから外します。

2

電源コードやインタフェースケーブルを取り外します。

3

作業がしにくいときは､サブ排紙トレイを取り外します。

作業用スペースが十分とれない場合は､作業しやすい場所にプリンタを移動してください。

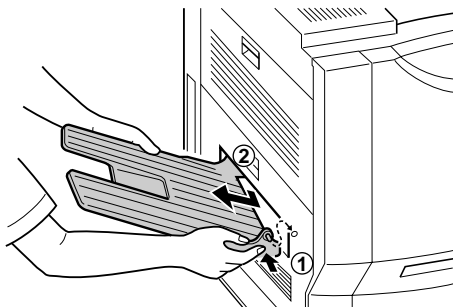
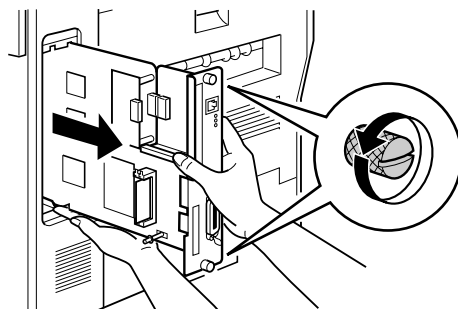
4

メインボードを上下のネジをゆるめて引き出し、両手で持って取り外します。

ネジは軽く動くところまでゆるめれば十分です。取り外す必要はありません。取り出したメインボードは、水平で作業しやすい場所に置いてください。

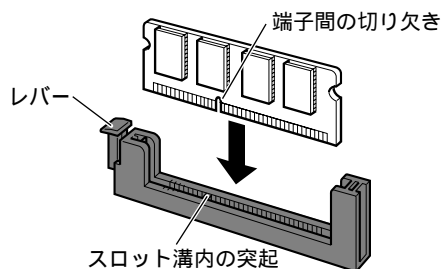
注意

●メインボードは必ず両手で全体を支えながら取り外してください。ネジ部だけを持って引き出すと、メインボードが落下してけがや破損の恐れがあります。

お願い

●メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
●作業中にネジなどの金属がメインボードに触れないように注意してください。

5

RAM を黒いスロットに真上から差し込み、奥までしっかり押し込みます。

RAM は、端子間の切り欠きをレバー寄りにしてガイド溝にしっかりと差し込みます。RAM が完全に差し込まれるとレバーが上がり、ロックします。

注意

●メインボードの部品や RAM の角でけがをしないよう、注意してください。

6

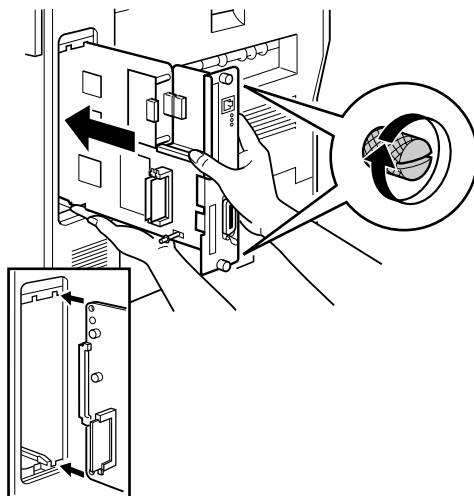
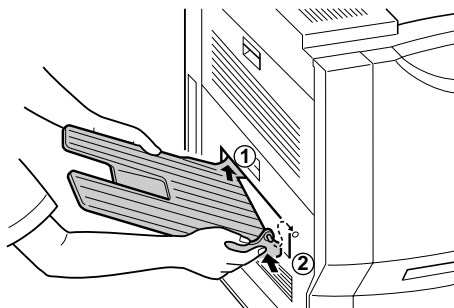
メインボードを図のように両手で持ち、メインボード後部のフック（黒いプラスチックの部分）を本体のメインボード差し込み部のレールに載せてまっすぐに押し込んで、上下のネジを締めて固定します。

お願い

● メインボードのパネル面がプリンタ本体にぴったりと合うまでしっかりと押し込んでください。

7

サブ排紙トレイを取り付け、プリンタのインタフェースケーブルや電源コードを接続します。

8

電源プラグを電源コンセントに接続します。

■ ROMの取り付けかた

ROMは、次の手順で取り付けます。

● ROMには、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気によるROMの破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のことをお守りください。
- **一度室内の金属部分に手を触れ､体の静電気を逃がしてから作業をしてください。**
- **作業中に、パソコンのディスプレイなど、静電気を発生しやすいものに触れないでください。**
- **メインボードの部品やプリント配線､コネクタには直接手を触れないでください。**
- **静電気の影響を避けるために､ROMは取り付ける直前まで保護袋から取り出さないでください。**
- **取り出したメインボードは、水平で作業しやすい場所に置いてください。**

1

プリンタの電源をオフにし､電源プラグを電源コンセントから外します。

2

電源コードやインタフェースケーブルを取り外します。

3

作業がしにくいときは､サブ排紙トレイを取り外します。

作業用スペースが十分とれない場合は､作業しやすい場所にプリンタを移動してください。

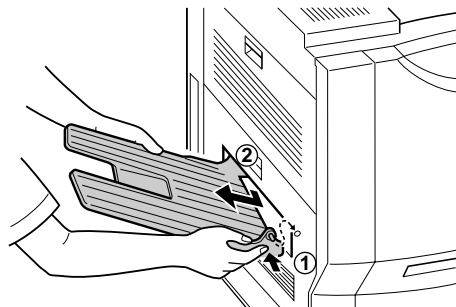
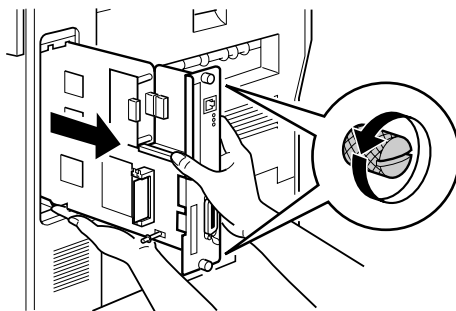
4

メインボードを、上下のネジをゆるめて引き出し、両手で持って取り外します。

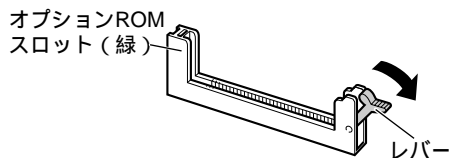
ネジは軽く動くところまでゆるめれば十分です。取り外す必要はありません。取り出したメインボードは、水平で作業しやすい場所に置いてください。

注意

- **メインボードは必ず両手で全体を支えながら取り外してください。ネジ部だけを持って引き出すと、メインボードが落下してけがや破損の恐れがあります。**

お願い

- **メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。**
- **作業中にネジなどの金属がメインボードに触れないように注意してください。**

5

緑の ROM スロットのレバーを押し下げます。

注意

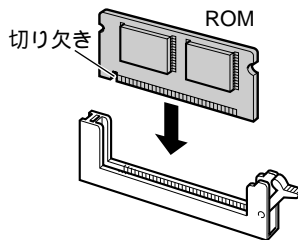
- **メインボードの部品や ROM の角でけがをしないよう、注意してください。**

お願い

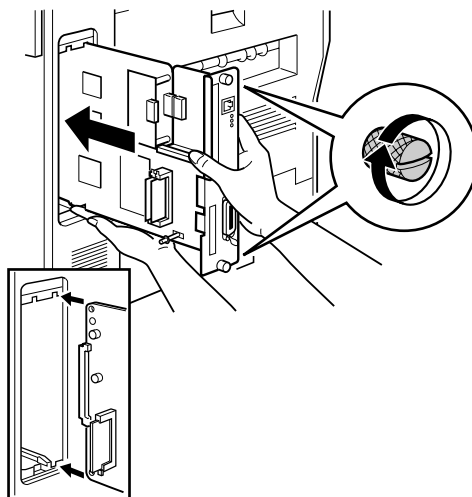
- **メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。**

6

切り欠きをレバーの反対側にしてオプションROMをスロットガイドに合せて差し込み、レバーが垂直になるまでしっかりと押し込みます。

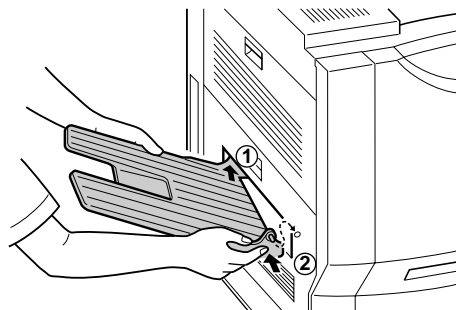
ROM が完全に入ると、レバーが垂直になってレバーの突起が ROM の溝に掛かります。

7

メインボードを図のように両手で持ち、メインボード後部のフック（黒いプラスチックの部分）を本体のメインボード差し込み部上部のレールに載せてまっすぐに押し込んで、上下のネジを締めて固定します。

お願い

● メインボードのパネル面がプリンタ本体にぴったりと合うまでしっかりと押し込んでください。

8

サブ排紙トレイを取り付け、プリンタのインタフェースケーブルや電源コードを接続します。

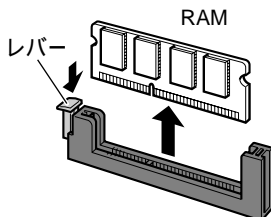
9

電源プラグを電源コンセントに接続します。

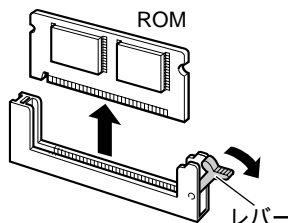
■ RAM または ROM の取り外しかた

RAM または ROM を取り外すときは、次の手順で行います。

● メインボードの脱着方法については、RAMまたはROMの取り付けをご覧ください。

● RAM の場合

黒い RAM スロットのレバーを押し下げると、RAM が浮いて外れます。

● ROM の場合

緑の ROM スロットのレバーを押し下げると、オプション ROM が浮いて外れます。

■ RAM、ROM の設定

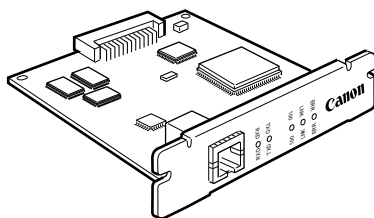
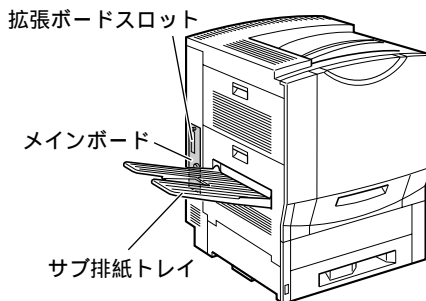
RAM や ROM を取り付けた後は、次の設定を行ってください。

拡張 RAM	→ 必要に応じてメニューの印字調整グループの設定を行ってください。
フラッシュメモリ	→ オプションの Flash Buddy でフォントやオーバレイなどをダウンロードします。
コントロール ROM	→ NetSpot またはメニュー機能で設定します。

● NetSpot およびプリンタドライバの使いかたの詳細については、プリンタドライバのヘルプをご覧ください。

● 操作パネルのメニュー機能のエミュレーションモードの設定については「LIPS機能ガイド」またはオプションのコントロール ROM に付属のマニュアルをご覧ください。

プリントサーバ

プリントサーバを装着する場合は、メインボードの拡張ボードスロットへ取り付けます。プリントサーバの詳細については、プリントサーバに付属の取扱説明書をご覧ください。

キヤノン レーザショット
内蔵型プリントサーバ NB-4F

取り付け位置

お願い

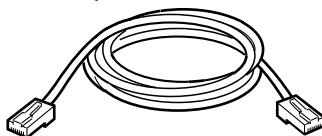
● プリントサーバには、静電気に敏感な部品が使用されています。このため、プリントサーバを不用意に取り扱うと、静電気によって部品を破損し、動作不良などのトラブルの原因となることがあります。取り扱いに当たっては次のことをお守りください。

- **静電気の影響を避けるために、プリントサーバは取り付ける直前まで保護袋から取り出さないでください。なお、保護袋はプリントサーバを取り外すときに必要になります。捨てないで保管しておいてください。**
- **一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業をしてください。**
- **プリントサーバの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。**
- **作業中にパソコンのディスプレイなど静電気を発生しやすいものに触れないでください。**

■ケーブルやコネクタの準備

本プリントサーバをプリンタに取り付け、ネットワークに接続して使用する場合、ネットワークの種類に応じて次のようなケーブルやコネクタが必要です。あらかじめこれらのケーブルやコネクタを準備してから作業を行ってください。

●ツイストペア LAN ケーブル

接続するネットワークに合わせて、10BASE-T または 100BASE-TX 対応のネットワークケーブル（両端に RJ-45 コネクタが付いたより対線）をご用意ください。

●ハブ

プリンタを接続するハブの空きポートを確認してください。空きポートがない場合、ハブの増設が必要になります。

■プリントサーバの取り付けかた

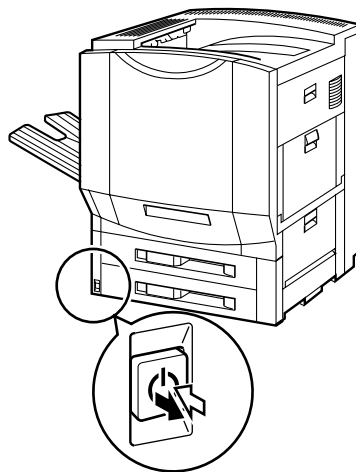
プリントサーバは、次の手順で取り付けます。ここでは、プリントサーバ NB-4F を例に説明しています。プリントサーバの取り付け作業には、⊕ドライバーが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

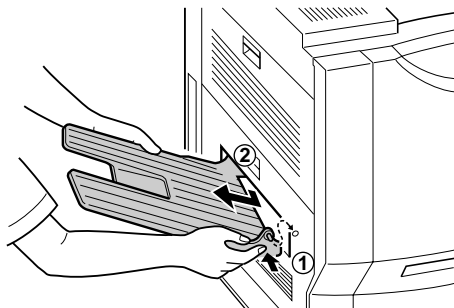
1

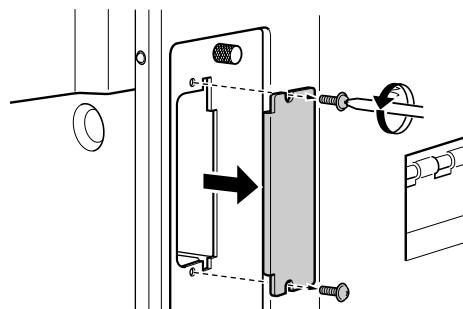
プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから外します。

2

電源コードやインタフェースケーブルを取り外します。

3

作業がしにくいときは、サブ排紙トレイを取り外します。

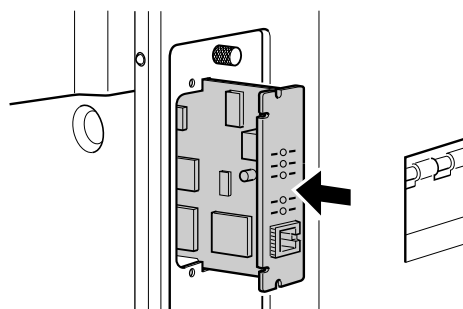
作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動してください。

4

拡張ボードスロットの上下のネジを取り外し、保護板を取り除きます。

お願い

● 取り外した保護板とネジは、プリントサーバを外したときに必要になります。無くさないように保管しておいてください。

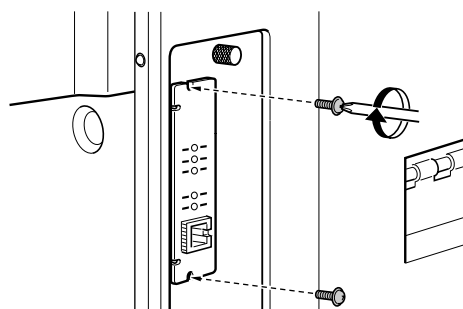
5

プリントサーバを拡張ボードスロットに差し込み、奥のコネクタにしっかりと押し込みます。

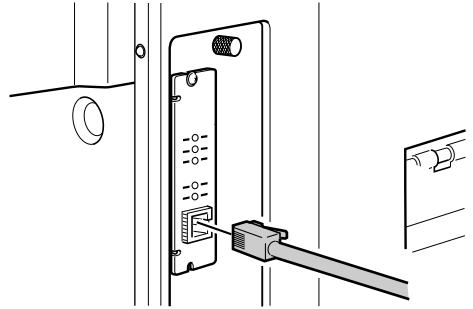
プリントサーバは金属製のパネル部分を持ち、ボードを拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせて差し込んでください。

お願い

● プリントサーバの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
● プリントサーバのパネルがメインボードのパネルより浮いているときは、取り付けが不完全です。プリントサーバのプリンタ接続コネクタが拡張ボードスロット奥のコネクタと接続されるまで、しっかりと確実に押し込んでください。

6

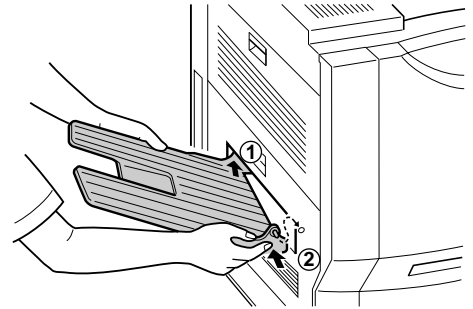
付属の 2 本のネジでプリントサーバを固定します。

7

ネットワークケーブルをプリントサーバのLANコネクタに接続します。

メモ

●ネットワークとの接続については、オプションのプリントサーバに付属の取扱説明書をご覧ください。

8

サブ排紙トレイを取り付け、プリンタのインタフェースケーブルや電源コードを接続します。

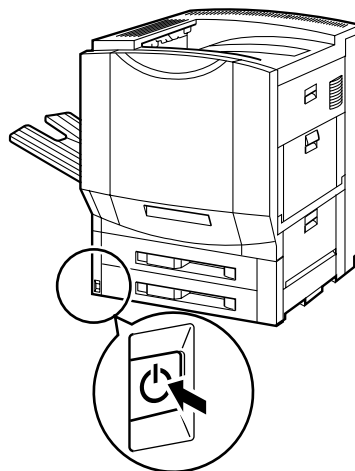
お願い

●プリントサーバNB-4Fを取り付けたプリンタがAppleTalkネットワーク上に2台以上接続されている場合、それぞれのプリンタの電源は10秒以上間隔をおいてオンにしてください。

9

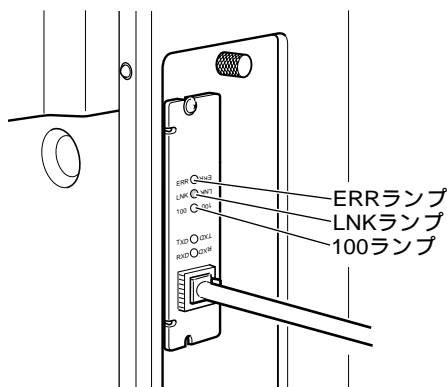
電源プラグを電源コンセントに接続します。

10

本体の電源スイッチを押し込みます。

しばらくするとディスプレイに「00　インサツ　カノウ」と表示され、プリント可能な状態になります。

11

プリントサーバの LNK ランプ（緑）が点灯していることを確認します。

10BASE-Tの場合は、LNKランプが点灯していれば、正常です。100BASE-TXの場合は、LNKランプと100ランプが点灯していれば、正常です。
正常に動作していない場合は、LAN ケーブルの接続やハブの動作状態、プリントサーバの取り付け状態を確認してください。（→プリントサーバの取扱説明書）

12

確認が終わったら、電源スイッチをオフにします。

■プリントサーバの取り外しかた

一度取り付けたプリントサーバを取り外すときは、次の手順で作業をします。

1

プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから外します。

2

電源コードやインタフェースケーブルを取り外します。

3

作業がしにくいときは、サブ排紙トレイを取り外します。

作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動してください。

4

プリントサーバの固定ネジ（2 本）を取り外します。

5

プリントサーバを引き抜きます。

6

拡張ボードスロットの保護板を取り付け、ネジ止めします。

お願い

●異物やほこりなどが入るのを防ぐため、保護板は必ず取り付けてください。
●取り外したプリントサーバは、必ず保管しておいた保護袋に入れてください。

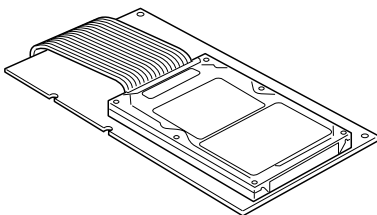
7

サブ排紙トレイを取り付け、プリンタのインタフェースケーブルや電源コードを接続します。

8

電源プラグを電源コンセントに接続します。

ハードディスク（LBP-2360のみ）

LBP-2360にハードディスクを装着する場合は、メインボードに取り付け、操作パネルでハードディスクの設定を「ツカウ」に変更します。取り付け作業を始める前に、以下のものがパッケージにすべて揃っているか確認してください。万一不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

ハードディスク HD-9

ガイドシート

お願い

- **メインボードやハードディスクには、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気による破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のことをお守りください。**
  - **一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業をしてください。**
  - **作業中に、パソコンのディスプレイなど、静電気を発生しやすいものに触れないでください。**
  - **メインボードやハードディスクの部品、プリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。**
  - **取り出したメインボードは、水平で作業しやすい場所に置いてください。**
  - **静電気の影響を避けるために、ハードディスクは取り付ける直前まで保護袋から取り出さないでください。また、強い磁気を発生するものの側に近づけないでください。**
  - **ハードディスクを落としたり、衝撃を与えないでください。**
  - **ハードディスクは精密機器なので、ドライブの上面を押したり、重ねたり、他の物にぶつけたりしないでください。**
  - **ハードディスクのドライブ上面に貼ってあるシール等を絶対にはがさないでください。また、別なシール等を貼ったりしないでください。**
  - **ハードディスクを気温の低い場所から急に暖かい場所へ移動しないでください。**

メモ

- **ハードディスクを使用するときは、拡張 RAM が 32MB 以上必要です。また、rip once（リップワンス）機能を使用するときは、拡張 RAM が 64MB 以上必要です。ハードディスクと併せて取り付けてください。拡張 RAM の取り付けについては、「RAM/ROM」（→ P.81）をご覧ください。**

■ハードディスクの取り付けかた

ハードディスクは、次の手順で取り付けます。ハードディスクの取り付け作業には、⊕ドライバーが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

1

プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから外します。

2

電源コードやインタフェースケーブルを取り外します。

3

作業がしにくいときは、サブ排紙トレイを取り外します。

作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動してください。

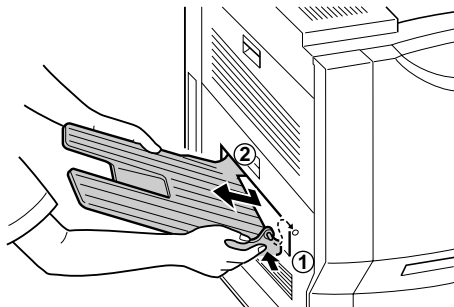
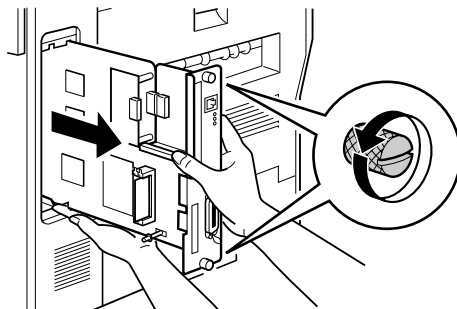
4

メインボードを上下のネジをゆるめて引き出し、両手で持って取り外します。

ネジは軽く動くところまでゆるめれば十分です。取り外す必要はありません。取り出したメインボードは、水平で作業しやすい場所に置いてください。

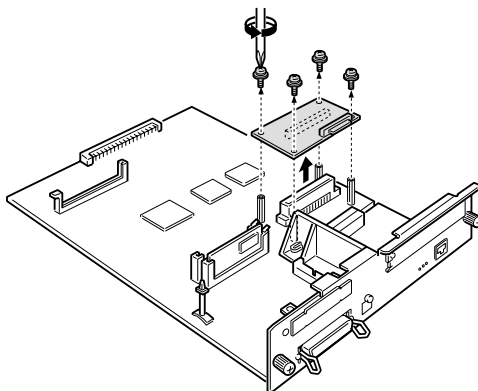
注意

● メインボードは必ず両手で全体を支えながら取り外してください。ネジ部だけを持って引き出すと、メインボードが落下してけがや破損の恐れがあります。

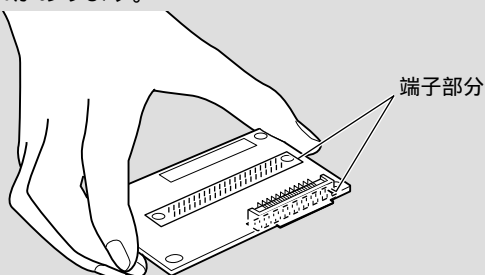
お願い

● メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
● 作業中にネジなどの金属がメインボードに触れないように注意してください。

5

スロットコネクタボードの 4 本のネジを取り外し、スロットコネクタボードを取り外します。

取り外したネジは、ハードディスクの取り付けに必要なので、無くさないでください。

注意

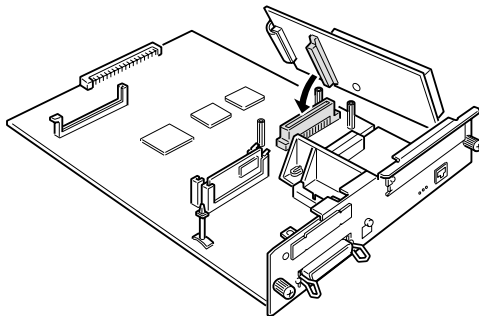
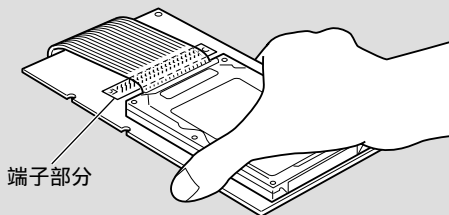
● スロットコネクタボードは必ず端を持ち、端子部分には手を触れないでください。けがをする恐れがあります。

お願い

- メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- ドライバ、ネジなどでメインボードを傷つけないように注意してください。プリンタ故障の原因となります。
- 取り外したスロットコネクタボードは、ハードディスクを外したときに必要になります。無くさないように保管しておいてください。

6

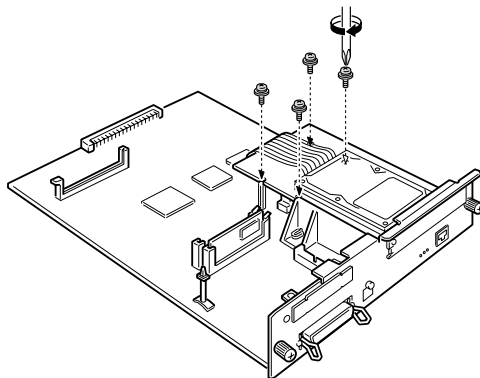
ハードディスクの端を持ち､コネクタを図のようにメインボートのソケットに合わせてからしっかりと差し込みます。

ハードディスクの4つの穴とメインボードのネジ穴が合うまでしっかりと押し込んでください。

注意

- ハードディスクは必ず端を持ち、端子部分には手を触れないでください。けがをする恐れがあります。

お願い

- 取り付け時に金属のスペーサでハードディスクの裏側を傷つけないように注意してください。

7

4 本のネジでハードディスクを固定します。

お願い

- **ドライバ、ネジなどでハードディスクを傷つけないように注意してください。プリンタ故障の原因となります。**
- **フラットケーブルを上から押さないでください。プリンタ故障の原因となります。**
- **ハードディスクを取り付けた場合、拡張ボードスロットの保護板は取り外さないでください。**

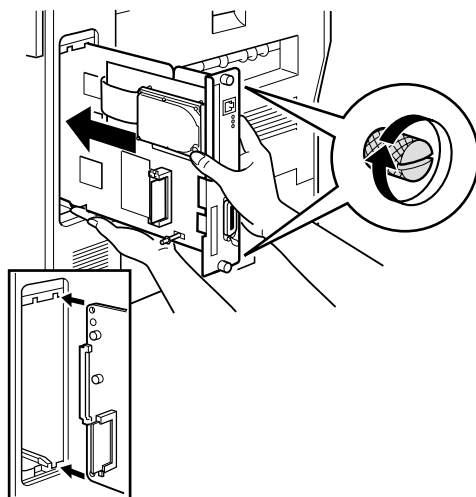
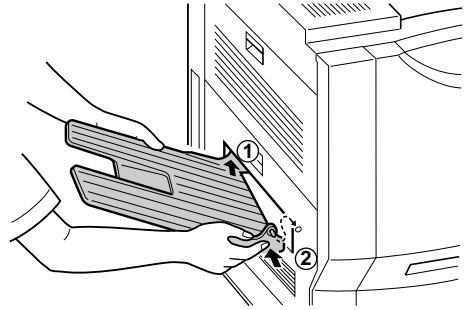
8

メインボードを図のように両手で持ち、メインボード後部のフック（黒いプラスチックの部分）を本体のメインボード差し込み部のレールに載せてまっすぐに押し込んで、上下のネジを締めて固定してください。

お願い

- **メインボードのパネル面がプリンタ本体にぴったりと合うまでしっかりと押し込んでください。**

サブ排紙トレイを取り付け、プリンタのインタフェースケーブルや電源コードを接続します。

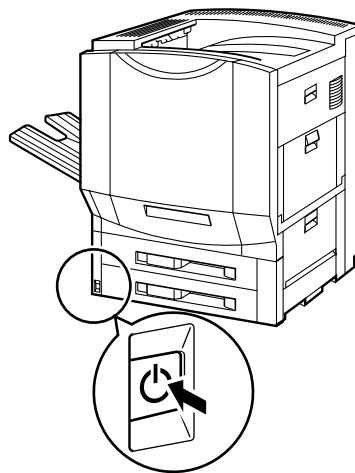
10

電源プラグを電源コンセントに接続します。

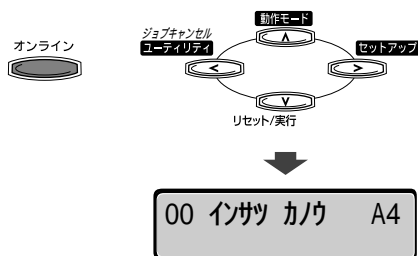
■ハードディスクの設定

ハードディスクの取り付けが終わったら、操作パネルでハードディスクの設定を「ツカウ」に変更します。

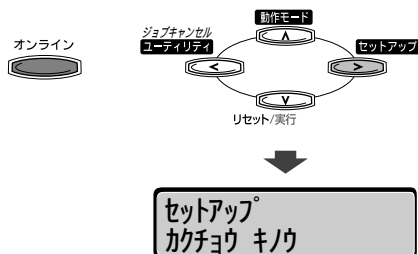
1

本体の電源スイッチを押し込みます。

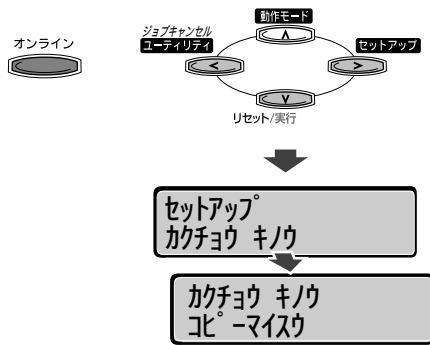
しばらくするとディスプレイに「00　インサツ　カノウ」と表示され、プリント可能な状態になります。

2

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

3

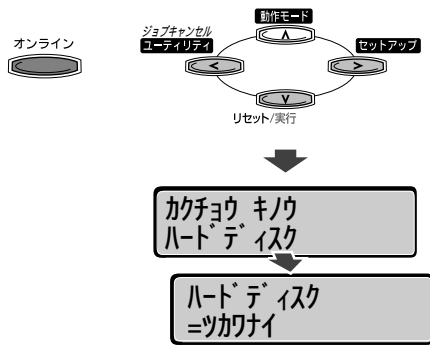
（セットアップ）キーを押します。

メニュー機能が使える状態になります。

＜、＞ キーで「カクチョウ　キノウ」を選択し、∨ キーを押します。

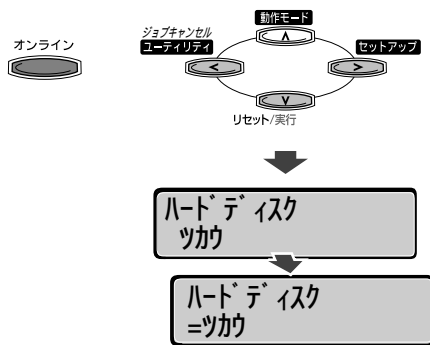
セットアップ
カクチョウ　キノウ →

カクチョウ　キノウ
コピーマイスウ →

5

＜、＞ キーで「ハードディスク」を選択し、∨ キーを押します。

カクチョウ　キノウ
ハードディスク →

ハードディスク
=ツカワナイ →

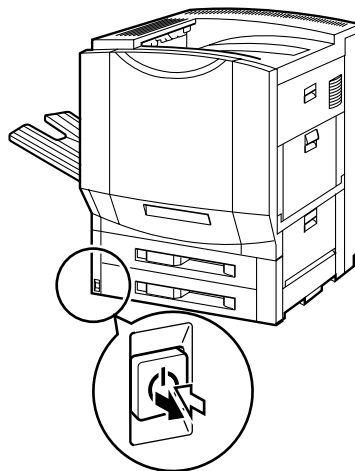
6

＜、＞ キーで「ツカウ」を選択し、∨ キーを押します。

ハードディスク
ツカウ →

ハードディスク
=ツカウ →

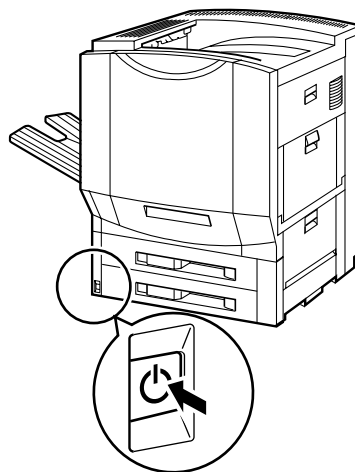
7

電源スイッチを押してプリンタをオフにします。

メモ

● プリンタの電源をオフにする代わりに、ハードリセットの操作を行うことでもハードディスクを使用可能にすることができます。操作方法については、ユーザーズガイド第４章「プリントを中止したいときは」をご覧ください。

8

電源がオフになってから、プリンタの電源をオンにします。

しばらくすると、ディスプレイに「00 インサツ　カノウ」と表示され、ハードディスクが使用可能になります。

メモ

● オプションのハードディスクはフォーマット済みです。
● ハードディスクが読み書きできないときは、ユーティリティメニューでフォーマットしてください。また、電源をオンにした後の自己診断でハードディスクエラーが発生すると、自動的にフォーマットされます。

■ハードディスクの取り外しかた

一度取り付けたハードディスクを取り外すときは、次の手順で作業をします。ハードディスクを取り付けた際に取り外したスロットコネクタボードを用意してください。

1

プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから外します。

2

電源コードやインタフェースケーブルを取り外します。

3

作業がしにくいときは、サブ排紙トレイを取り外します。

作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動してください。

4

メインボードを上下のネジをゆるめて引き出し、両手で持って取り外します。

ネジは軽く動くところまでゆるめれば十分です。取り外す必要はありません。取り出したメインボードは、水平で作業しやすい場所に置いてください。

注意

● メインボードは必ず両手で全体を支えながら取り外してください。ネジ部だけを持って引き出すと、メインボードが落下してけがや破損の恐れがあります。

お願い

● メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
● 作業中にネジなどの金属がメインボードに触れないように注意してください。

5

ハードディスクの 4 本のネジを取り外し、ハードディスクを真上に引き抜きます。

注意

- ハードディスクは必ず端を持ち、端子部分には手を触れないでください。けがをする恐れがあります。

6

スロットコネクタボードの端を持ち、コネクタをメインボードのソケットに合わせてからしっかりと差し込みます。

注意

- スロットコネクタボードは必ず端を持ち、端子部分には手を触れないでください。けがをする恐れがあります。

7

4 本のネジでスロットコネクタボードを固定します。

8

メインボードを両手で持ち、メインボード後部のフック（黒いプラスチックの部分）を本体のメインボード差し込み部のレールに載せてまっすぐに押し込んで、上下のネジを締めて固定してください。

お願い

- メインボードのパネル面がプリンタ本体にぴったりと合うまでしっかりと押し込んでください。

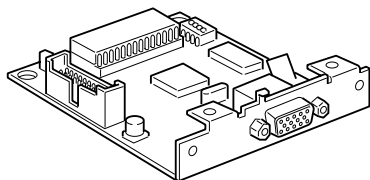
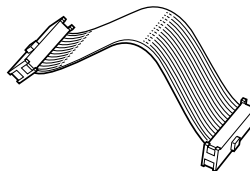
9

サブ排紙トレイを取り付け、プリンタのインタフェースケーブルや電源コードを接続します。

10

電源プラグを電源コンセントに接続します。

オプションコントローラボード

オプションコントローラボードは､7ビンソータやペーパーデッキを接続する場合に必要なコントローラボードです。オプションコントローラスロットに取り付けます。取り付け作業を始める前に､以下のものがパッケージにすべて揃っているか確認してください｡万一不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

オプションコントローラボード PH-82M

コネクタケーブル

ガイドシート

ボード固定用ネジ（3本）

お願い

● メインボードやオプションコントローラボードには、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気による破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のことをお守りください。

- **一度室内の金属部分に手を触れ､体の静電気を逃がしてから作業をしてください。**
- **作業中にパソコンのディスプレイなど､静電気を発生しやすいものに触れないでください。**
- **メインボードやオプションコントローラボードの部品、プリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。**
- **取り出したメインボードは、水平で作業しやすい場所に置いてください。**
- **静電気の影響を避けるために､オプションコントローラボードは取り付ける直前まで保護袋から取り出さないでください。**

■オプションコントローラボードの取り付けかた

オプションコントローラボードは、次の手順で取り付け、7ビンソータなどのオプション装置と接続します。オプションコントローラボードの取り付け作業には、⊕ドライバーが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

1

プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから外します。

2

電源コードやインタフェースケーブルを取り外します。

3

作業がしにくいときは、サブ排紙トレイを取り外します。

作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動してください。

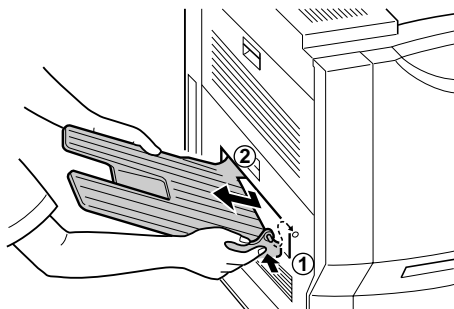
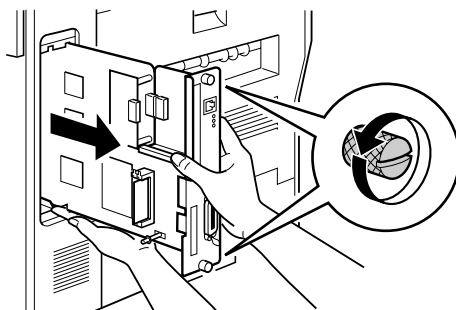
4

メインボードを上下のネジをゆるめて引き出し、両手で持って取り外します。

ネジは軽く動くところまでゆるめれば十分です。取り外す必要はありません。取り出したメインボードは、水平で作業しやすい場所に置いてください。

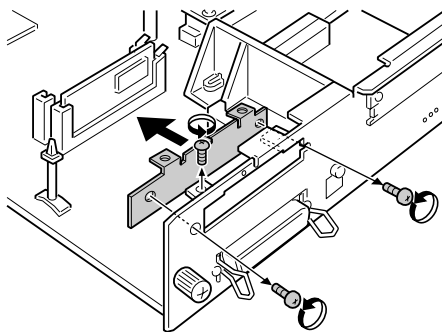
注意

● メインボードは必ず両手で全体を支えながら取り外してください。ネジ部だけを持って引き出すと、メインボードが落下してけがや破損の恐れがあります。

お願い

● メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
● 作業中にネジなどの金属がメインボードに触れないように注意してください。

5

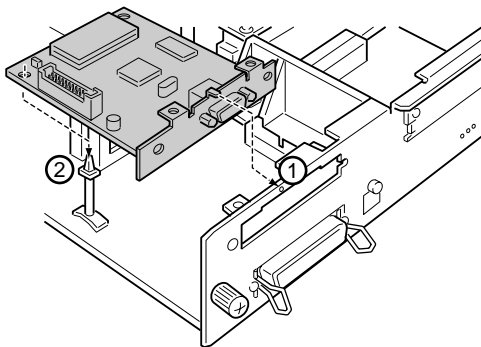
メインボードのパネルから、オプションコントローラスロットの保護板を取り外します。

保護板は、3本のネジを外して取り除きます。

お願い

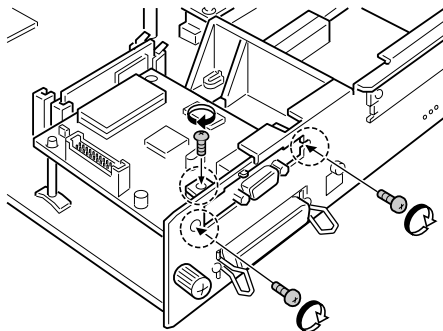
● 取り外した保護板とネジは、オプションコントローラボードを外したときに必要になります。無くさないように保管しておいてください。

6

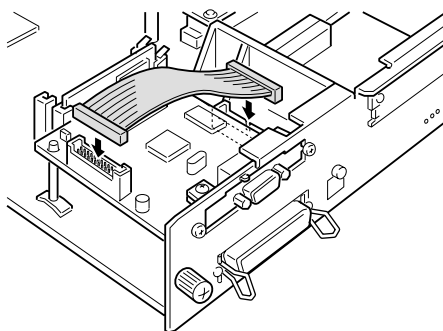
オプションコントローラボード金属部分の突起をオプションコントローラスロット上の穴に差し込んでから①、ボード後部の穴にメインボードの支柱を差し込みます②。

お願い

● メインボードやオプションコントローラボードの部品、プリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。

7

オプションコントローラボードを3本のネジで固定します。

8

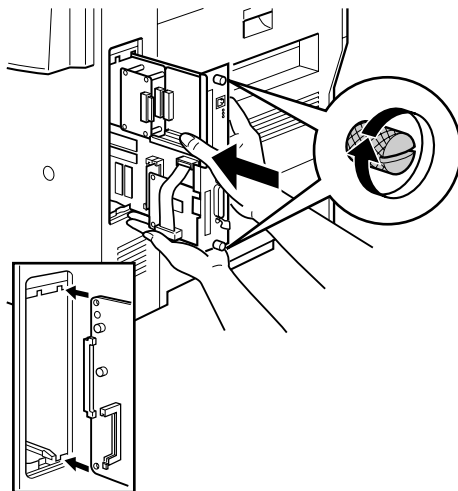
コネクタケーブルを取り付けます。

オプションコントローラボードのソケットと、メインボードのオプションコントローラボード用のソケットを、付属のコネクタケーブルで接続します。

お願い

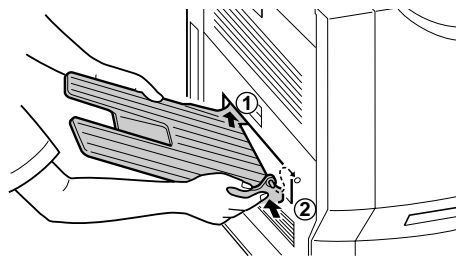
● ソケットは、位置が合っていなかったり、斜めになっている状態で無理に押し込まないでください。ピンが破損し、オプションコントローラボードが正しく動作しなくなることがあります。

9

メインボードを図のように両手で持ち、メインボード後部のフック（黒いプラスチックの部分）を本体のメインボード差し込み部のレールに載せてまっすぐに押し込んで、上下のネジを締めて固定します。

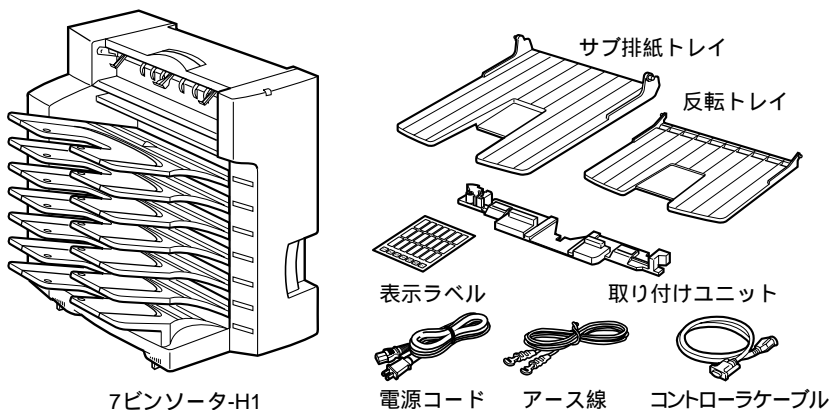
お願い

- **メインボードのパネル面がプリンタ本体にぴったりと合うまでしっかりと押し込んでください。**

10

サブ排紙トレイを取り付け、プリンタのインタフェースケーブルや電源コードを接続します。

11

電源プラグを電源コンセントに接続します。

7 ビンソータ

7ビンソータは、プリンタ本体の左側に取り付けます。取り付けや紙づまり処理で7ビンソータを引き出すことがありますので、必ず7ビンソータとプリンタは水平で障害物のない場所に設置してください。
取り付け作業を始める前に、以下のものがパッケージにすべて揃っているか確認してください。万一不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

お願い

- 7ビンソータと2×500枚ペーパーデッキ-C1Lまたは本プリンタ専用ペディスタルを組み合わせて使用することはできません。
- 本プリンタに7ビンソータ用ペディスタルと7ビンソータを組み合わせて使用する場合、およびペーパーデッキや本プリンタ専用ペディスタルを取り付けて使用する場合は、専門のサービスマンが設置します。ご購入の際は、本プリンタをお買い求めの販売店に設置を依頼してください。お客様による設置はできません。
- 7ビンソータを使用するときは、オプションのオプションコントローラボードも必要になります。(→ P.106)

メモ

- ソータに付属のサブ排紙トレイは、本プリンタでは使用しません。

■梱包材の取り外し

1

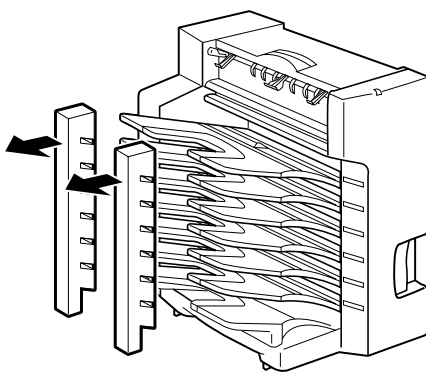
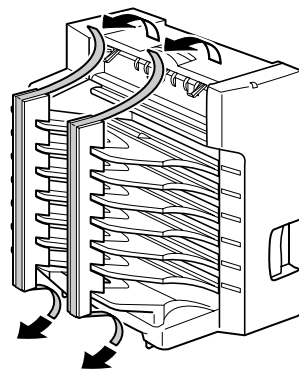
7ビンソータと付属部品をパッケージから取り出し、
7 ビンソータを立てて置きます。

7ビンソータは、プリンタ左側の少し離れた場所に
立てて置いてください。

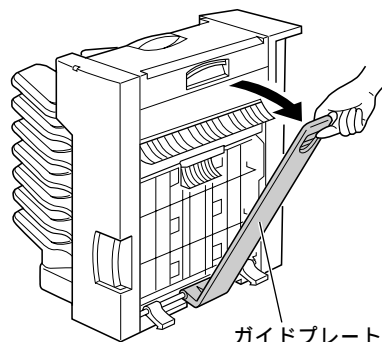
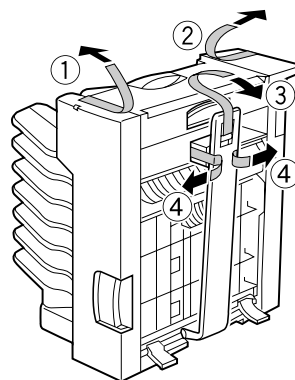
お願い

●7ビンソータと付属品の取り出し作業は、周囲に十分なスペースがある広い場所で行ってください。

2

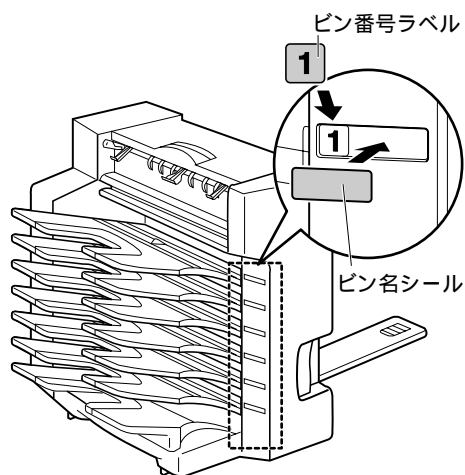
図のテープを取り外し、ビンを止めている梱包材を
取り除きます。

3

7ビンソータの各部を止めているテープを図の順に取り外し、ガイドプレートを開いて、床に降ろします。

③、④のテープを取り外すときは、ガイドプレートが倒れないように押さえながら取り外してください。

- **ガイドプレートが倒れないように押さえながら梱包材を取り外してください。**
- **7ビンソータを移動するときは、必ず取り外した梱包材でガイドプレートを固定して運搬してください。**

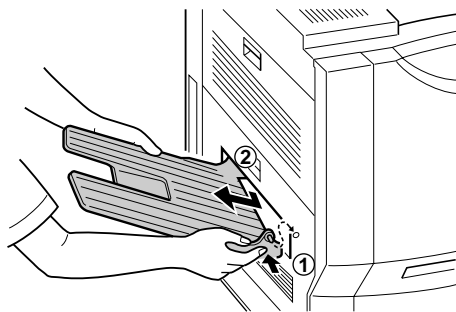
4

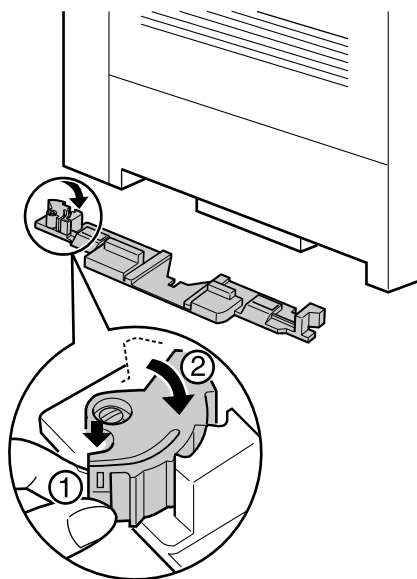
ビン番号ラベルとビン名シールを7ビンソータの側面に貼り付けます。

ビン番号ラベルは、一番上のビンから順に1〜7のラベルを貼ってください。
ビン名シールは、使いかたに合わせて、区分を書き込んでください。

■ 7 ビンソータの取り付け

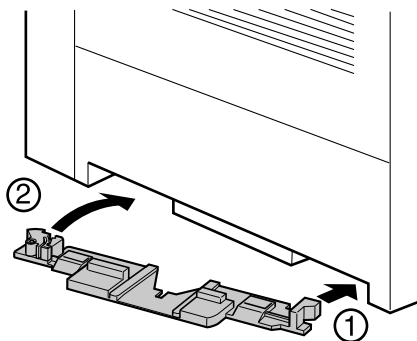
7 ビンソータは、次の手順でプリンタに取り付けます。

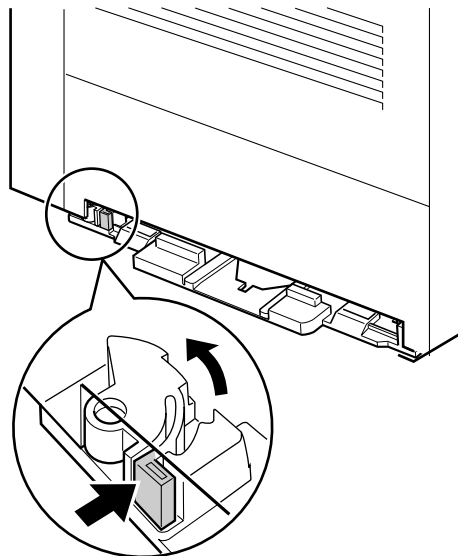
1

サブ排紙トレイの側面を押して、プリンタから取り外します。

2

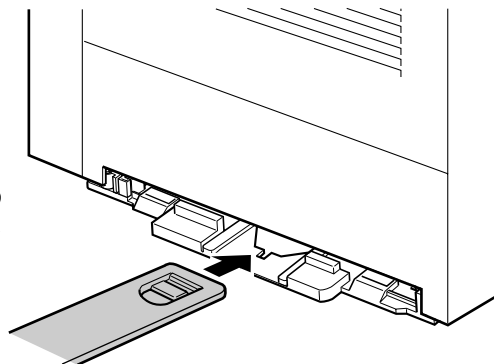
付属の取り付けユニットを図のように置き、ロックを押しながら①、ロック解除レバーを回して引き出します②。

3

取り付けユニットを図の順でプリンタ左側の取っ手部に取り付けます。

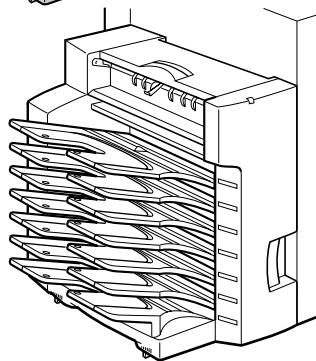
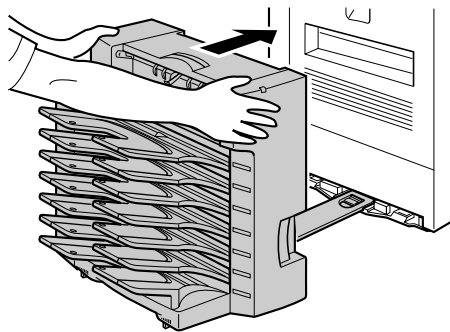
取り付けユニットは、奥まで差し込んでください

4

ロック解除レバーをロックするまで回し、取り付けユニットを固定します。

5

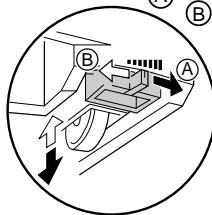
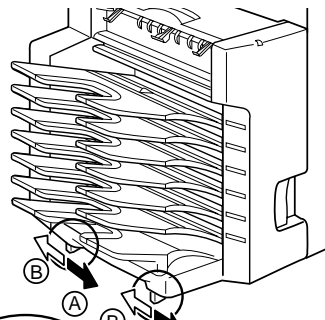
7ビンソータをプリンタの横に並行に置いて、ガイドプレートを取り付けユニットに差し込みます。

ガイドプレートが直角になるように7ビンソータの位置や向きを調整してから、ガイドプレートを差し込んでください。

6

7 ビンソータを静かに押して、プリンタに接続します。

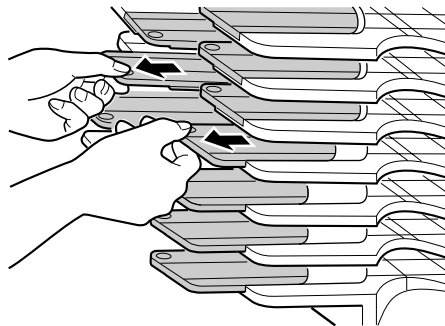
7 ビンソータは、プリンタ側面と接触するまで寄せてください。

7

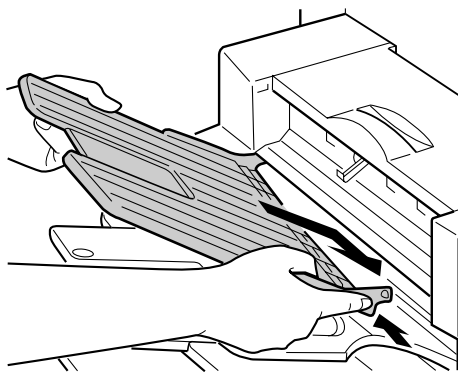
図の傾き調整レバーで7ビンソータとプリンタの隙間を調整します。

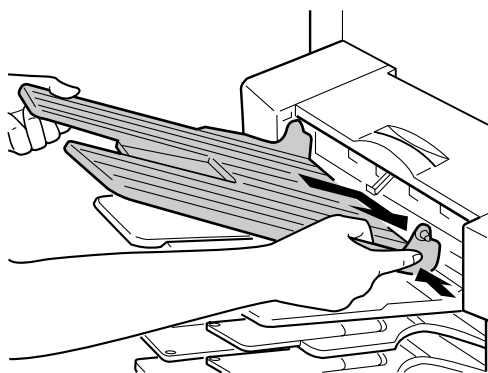
7ビンソータとプリンタ側面の上側に隙間ができる場合は、図の傾き調整レバーを両側共にⒶの方向へ押して、隙間がなくなるように調整してください。
7ビンソータとプリンタ側面の下側に隙間ができる場合は、図の傾き調整レバーを両側共にⒷの方向へ押して、隙間がなくなるように調整してください。

お願い

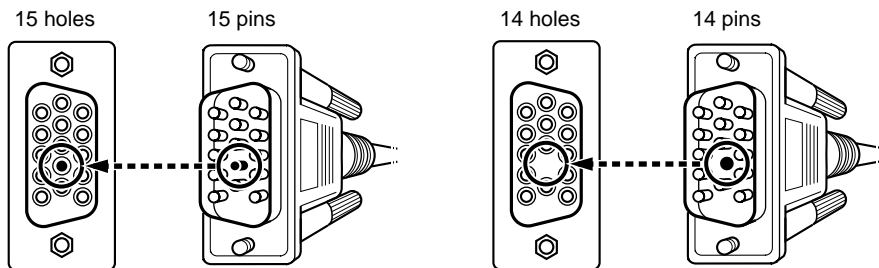
- **もし、7ビンソータがプリンタに寄らない場合は、7ビンソータの向きをプリンタと並行に直してからやり直してください。7 ビンソータが斜めになっていると、ガイドプレートが奥まで入りません。**
- **どうしても調整できない場合は、設置場所が水平で平らな場所か確認し、設置場所を見直してください。**
- **傾き調整レバーが動かしにくいときは、7ビンソータを少し持ち上げながら動かしてください。**

8

ビンの延長トレイを図のように両手で持ち、下のビンから順に引き出します。

9

付属の反転トレイを図のように側面を押しながら、取り付けます。

10

手順*1*で取り外したサブ排紙トレイを図のように側面を押しながら、取り付けます。

■コントローラケーブルの接続

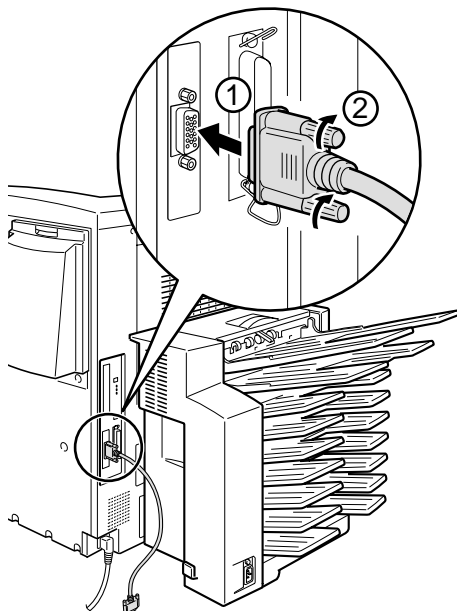
7 ビンソータには、ピン数が 15 ピンと 14 ピンの 2 つのオプションコントローラコネクタがあります。7 ビンソータの取り付けが終わったら、付属のコントローラケーブルでオプションコントローラコネクタと接続します。また、2000 枚ペーパーデッキや 2 × 500 枚ペーパーデッキなどのオプション機器にも同様のコネクタがあり、同様の手順でプリンタ本体からペーパーデッキ、7 ビンソータの順で 15 ピンコネクタと 14 ピンコネクタを接続していきます。

注意

- **コントローラケーブルの接続は、必ずプリンタの電源をオフにして作業を行ってください。オンのまま作業を行うと、感電やプリンタ故障の原因となります。**

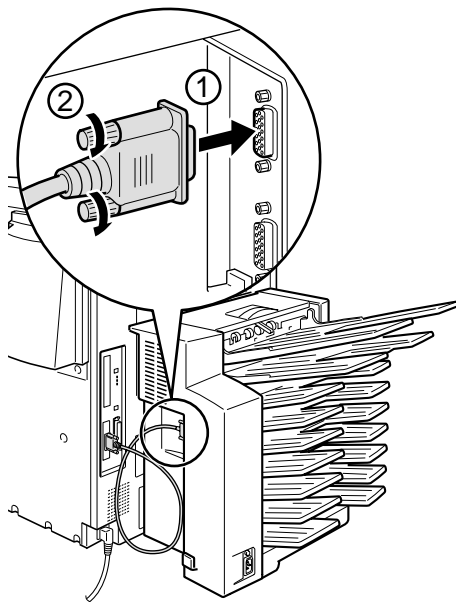
コントローラケーブルは、次の手順で取り付けます。

1

コントローラケーブルの14ピン側コネクタをオプションコントローラボードのコネクタ（14 ピン）に接続します。

コネクタを差し込み①、両側のネジを締め付けて固定してください②。

2

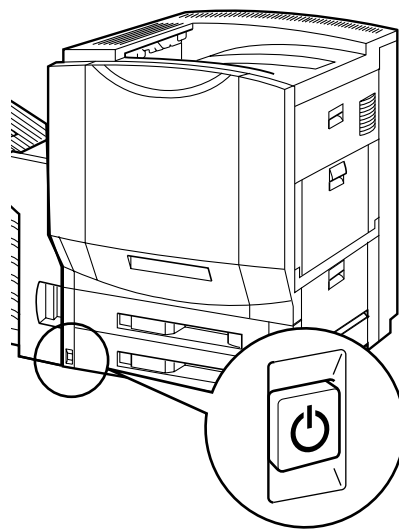
コントローラケーブルの15ピン側コネクタを7ビンソータの15ピンコネクタ(上側)に接続します。

コネクタを差し込み①、両側のネジを締め付けて固定してください②。

■電源コードの接続

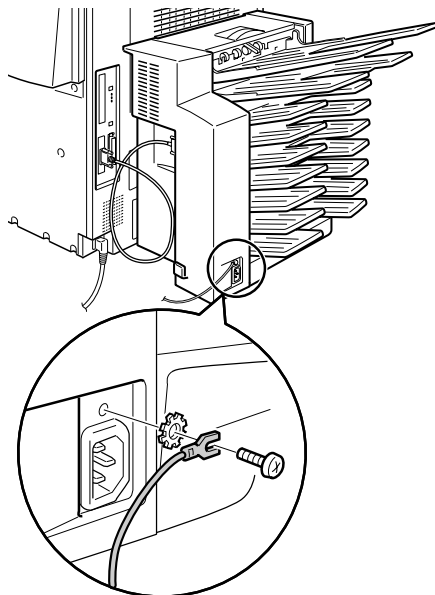
次の手順で電源コードとアース線を接続します。電源コンセントは、プリンタ本体とは別に必要となります。

1

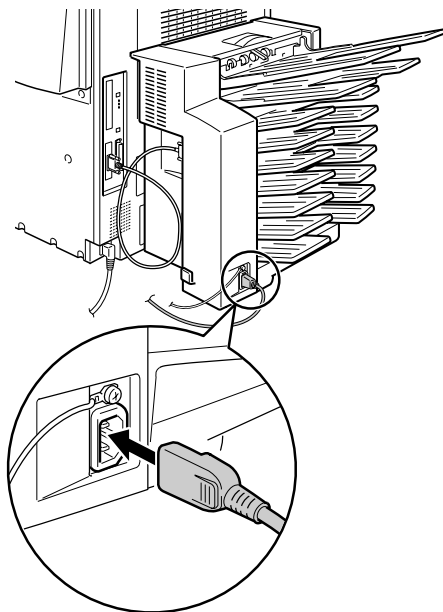
プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認してください。

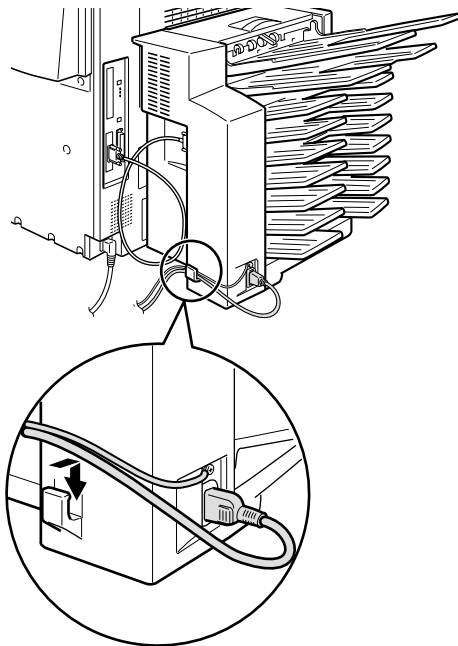
電源スイッチは、飛び出した状態になっています。

2

7ビンソータのアース線端子にアース線を取り付けます。

お願い

● アース線が、電源コード差し込み口にかからないようにアース線の向きに注意してください。

3

7ビンソータの電源コード差し込み口に電源コードを取り付けます。

4

電源コードとアース線をコードホルダに通します。

5

アース線をアース線端子に、電源コードを電源コンセントに接続します。

注意

● **必ずアース線を接続してください。アース線が接続されていないと、万一漏電した場合、感電の原因となることがあります。**

各部の寸法

■プリンタ本体

●標準仕様

（単位は mm）

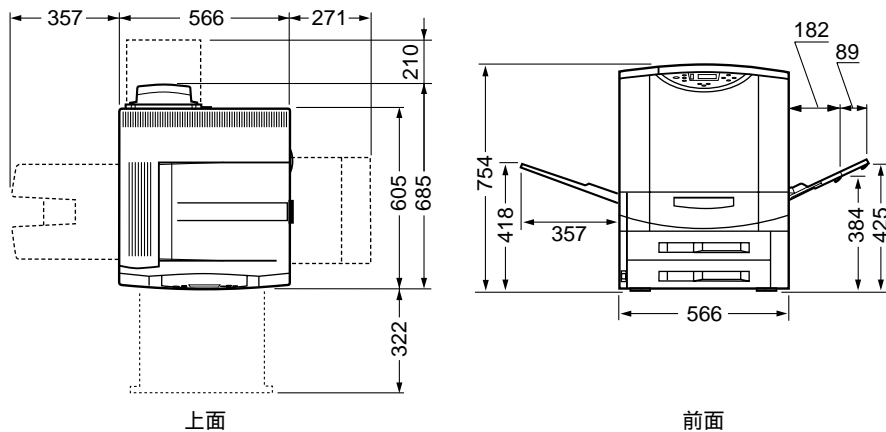
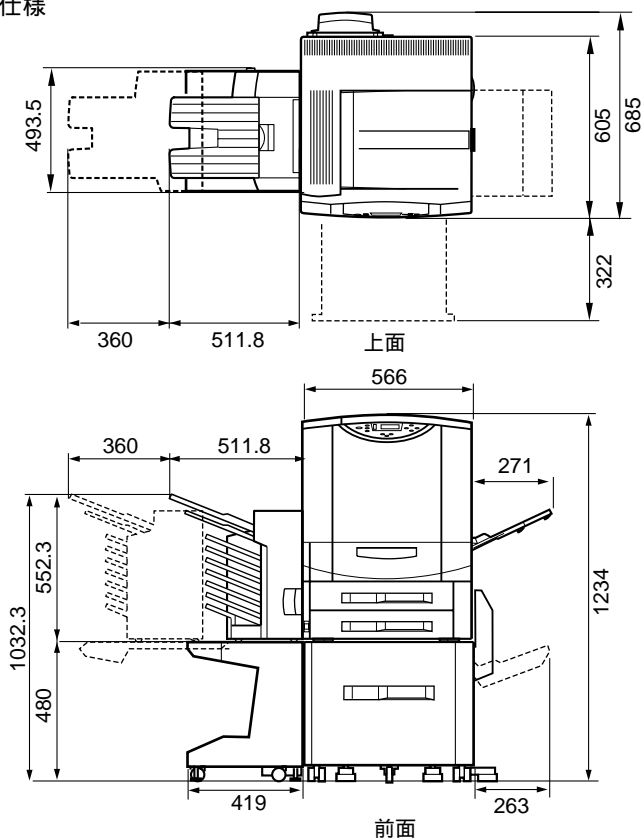
上面

前面

●オプション装備仕様

（単位は mm）

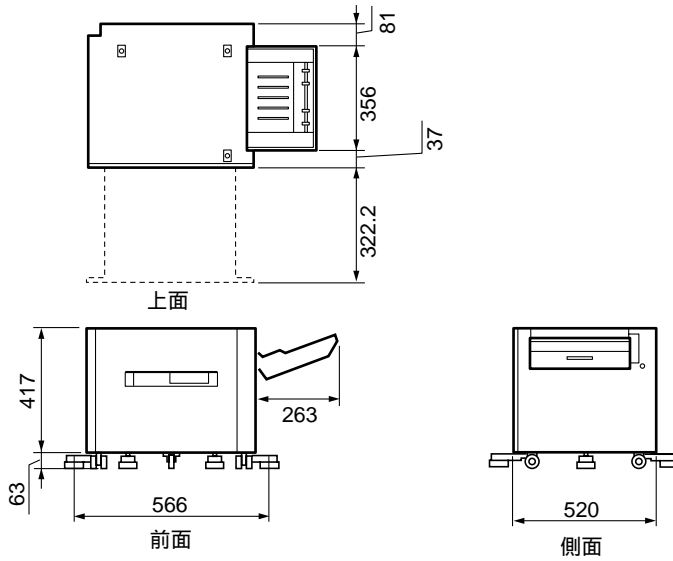
上面

前面

■ 2000 枚ペーパーデッキ PD-82

（単位は mm）

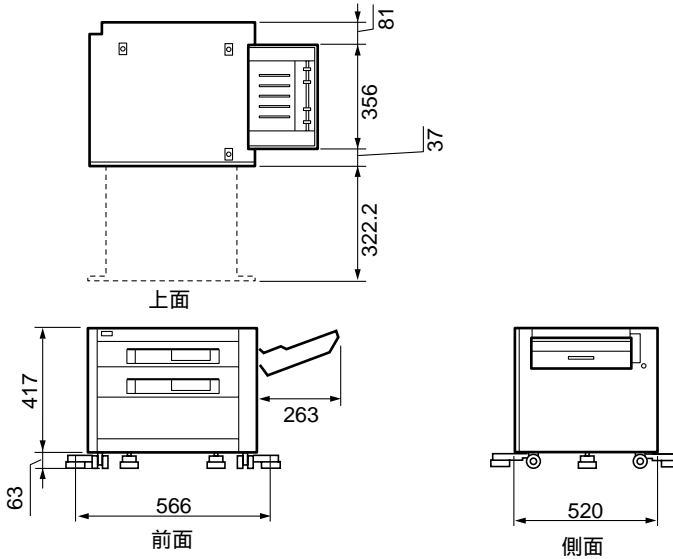
上面

前面

側面

■ 2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1

（単位は mm）

前面

側面

■ 2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1L

（単位は mm）

上面

前面

側面

■ペディスタル

（単位は mm）

上面

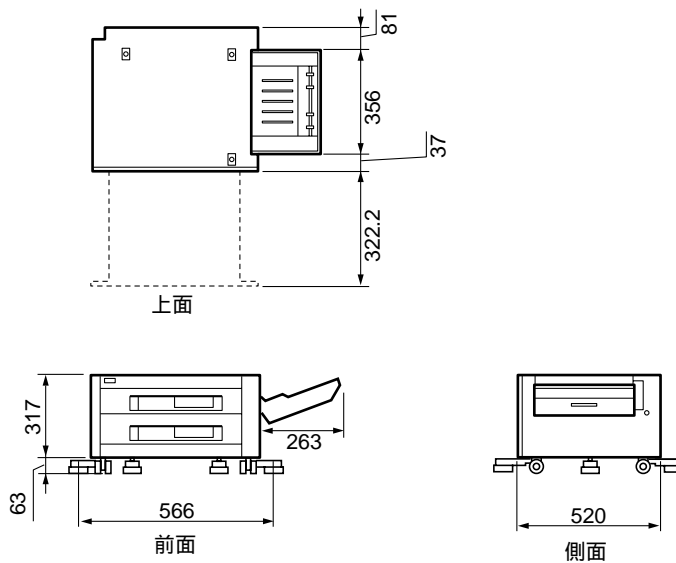
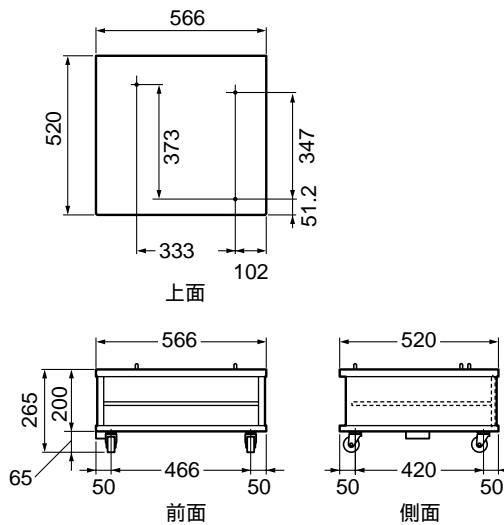
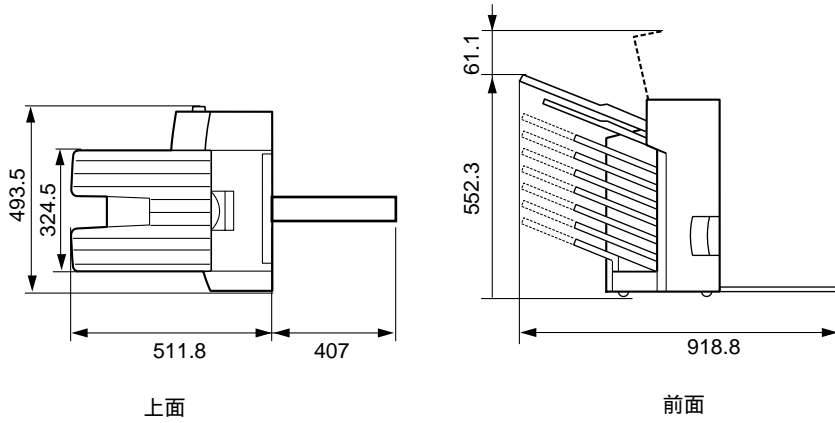
前面

側面

■ 7 ビンソータ -H1

（単位は mm）

上面

前面

■ 7 ビンソータ用ペディスタル

（単位は mm）

482.6

上面

前面

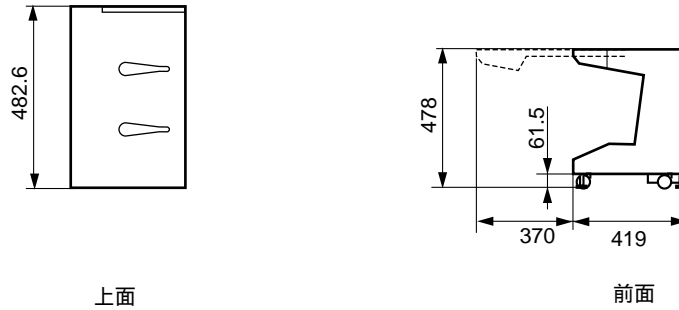
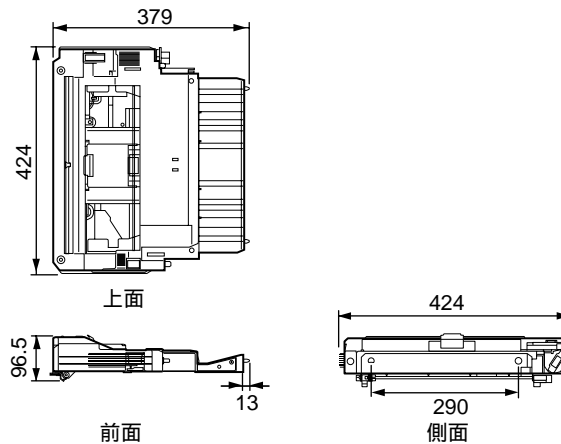
■両面ユニット DU-82

（単位は mm）

上面

96.5
13

前面

側面

索引

英数字

100BASE-TX 57
100 ランプ 62, 93
10BASE-T 57
500 枚カセット 8, 68
500 枚ユニバーサルカセット 8, 68
7 ビンソータ 9, 111
7 ビンソータ用ペディスタル 9
DOS 51
K（ブラック）トナーカートリッジの取り付け 36
LAN ケーブル 58, 89
LAN コネクタ 58
LNK ランプ 62, 93
Macintosh 54
NetHawk SP-LS III 54
PS/55 59
RAM 81
　の設定 88
　の取り付け 82
　の取り外し 88
ROM 81
　の設定 88
　の取り付け 85
　の取り外し 88
USB ケーブル 53, 55
USB コネクタ 53, 55
USB ポート 53, 55
Windows 51

ア行

アース線 32, 120
足の位置 19
オプション 8
オプションコントローラボード 11, 106
　の取り付け 107
オプションの取り付け位置 14

カ行

拡張 RAM 12
カセット 1 の設定 72
カラートナーカートリッジの取り付け 42
給紙カセット 46
　の交換 75
コントローラケーブルの接続 118
コントロール ROM 13
梱包材 26

サ行

上段カセットの取り付け 69
シリアルナンバー 23
シリアルパラレル変換ケーブル 54
シリアルポート 54
寸法
　2 × 500 枚ペーパーデッキ 125, 126
　2000 枚ペーパーデッキ 125
　7 ビンソータ 127
　7 ビンソータ用ペディスタル 127
　プリンタ本体 124
　ペディスタル 126
　両面ユニット 127
積載制限マーク 49
設置環境 16
設置サービス 6
設置スペース 18
設置の手順 15
設置場所 16, 24

タ行

テストプリント 60
電源環境 17
電源コード 31, 120
動作確認 60
ドラムカートリッジの取り付け 39

付録

付録

ナ行

ネットワーク 56

ハ行

ハードディスク 11, 95
　の設定 101
　の取り付け 96
　の取り外し 104
パソコン 51
パッケージの内容 22
パラレルコネクタ 52, 54, 59
プリンタケーブル 52, 59
プリンタポート 51
プリントサーバ 11, 56, 89
　の設定 63
　の動作確認 62
　の取り付け 90
　の取り外し 94
ペーパーデッキ 10
ペディスタル 10
保守契約制度 130

マ行

無償保証 6

ヤ行

用紙 46
用紙サイズ表示板 50
用紙の向き 49

ラ行

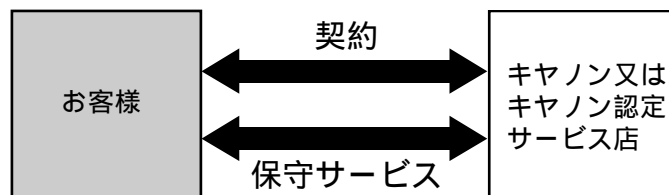
両面ユニット 9, 77
　の取り付け 77
　の取り外し 80

保守契約制度のご案内

ご購入製品をいつまでもベストの状態で
ご使用いただくために

このたびはレーザショットプリンタをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくレーザショットプリンタの無償修理保証期間経過後の保守サービスとして「キヤノン保守契約制度」を用意しています。当制度はキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持・管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ便利でお得な当制度に是非ともご加入いただき、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

ご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）

精密機器だからこそ保守契約が必要です

ご購入いただきました機械は精密機器です。この機械は大切な情報の計算、記録、保管、伝達等の目的でご購入いただいております。万一にでも、思いがけないトラブルが発生した場合、お仕事の上に時間的なロス等の不便が生じます。そこでトラブルが起こってからではなく、トラブルを未然に防ぐために日頃の専門的な「手入れ」が必要になります。この「手入れ」をキヤノンでは保守契約制度で完全に実施いたします。また、万一のトラブルにも「サービスエンジニア」が修理にあたる万全の体制を備えています。

＊保守契約制度は、キヤノン製品を安心してお使いいただくために設けたお客様のための制度です。
＊トナーカートリッジ、などの消耗品は保守契約の対象外です。

本製品には、無償保証期間後の保守契約制度として、A方式（定期交換部品代金を含まない方式）とB方式（定期交換部品代金を含む方式）を用意しています。本保守契約制度にご加入いただきますと、ただちに「お客様用カルテ」を作成し、コンピュータに登録を行い、ご愛用品の「健康管理」を開始いたします。

キヤノン保守契約制度の内容およびメリット

内　容	メリット
●定期点検の実施 **キヤノン認定のサービスエンジニアが定期的に機械の保守点検を実施します。** （製品により定期点検回数が異なります。また、一部定期点検を設けていない製品もあります。）	**トラブルの発生を未然に防止することで、製品の信頼性を高め、更に製品の寿命も伸びます。**
●優先サービス **万一トラブルが発生した場合には、最優先のサービスが受けられます。**	**トラブル時の業務停止時間を最小限に押さえます。**
●保守契約料金は一定 **保守契約料金は契約時に定額を支払うだけです。**	**サービス費用の予算がたてやすく、また事務の簡素化が計れます。**
●修理料金は無料 **保守契約料金には定期点検と偶発的に発生したトラブル時の訪問料金、部品代、技術料等いっさいを含んでおります。（B方式）**	**契約期間中に発生したトラブルは、その内容や回数にかかわらず無料です。（B方式）** （但し天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルは除きます。）
●スポット料金より割安 **トラブルの内容により保守契約料金より１回のスポット料金の方が高い場合もあります。**	**スポット料金より年間維持経費は大巾に割安になります。**
●定期交換部品の交換料金は無料 **（A方式は部品代のみ有償）** **本プリンタでは、定着ユニット、中間転写体ユニット、オゾンフィルタなどの定期交換を行います。**	**契約期間中に定期交換が発生した場合は、その内容や回数にかかわらず無料です。** （但し、機種により一部特定部品は有償。天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルは除きます。）

購入時契約のおすすめ

ご愛用品は原則として保守契約に加入してご使用願うことになっております。また、ご購入時に加入いただきますと、手続きなどの手間は一度ですみ便利です。

キヤノン保守契約に関するお申し込み、お問い合わせはお買い上げの販売店もしくはキヤノン販売（株）までお願いいたします。

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP、LIPS、NetSpot は、キヤノン株式会社の商標です。
LASER　SHOT は、キヤノン株式会社の登録商標です。
Microsoft、MS-DOS、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標または商標です。
Apple、AppleTalk、EtherTalk、Macintosh は、米国 Apple Computer, Inc. の登録商標または商標です。
AT、IBM、PS/55 シリーズ、PS/V シリーズは、米国 International Business Machines Corporation の登録商標または商標です。
NetWare、Novell は、米国 Novell, Inc. の登録商標です。
HP、HP-GL は、米国 Hewlett-Packard Company の米国の商標です。
Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。
NetHawk、NetHawk SP-LS III は新潟キヤノテック株式会社の商標です。
Unix は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国および他の国における登録商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。
国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

Canon

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報及びソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容についてご了解いただいたものとさせていただきます。

■ 情報の入手方法

インターネット、ＦＡＸ情報サービス、パソコン通信を利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

❑ キヤノン販売ホームページ（http://www.canon-sales.co.jp/）

商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

❑ キヤノンFAX情報サービス

札幌（011）728-0485　秋田（018）826-0441　仙台（022）211-5730　東京（03）3455-5962
名古屋（052）936-0758　大阪（06）4795-9011　広島（082）240-6729　高松（087）826-1621
福岡（092）411-9510

音声メッセージにしたがって操作をしてください。
ダイヤル回線をご利用の場合は、トーン切り換えを行ってください。
情報BOX番号は「各種ドライバ入手方法 ご案内：10001」「ドライバ郵送サービス一覧：11001」となります。

❑ @niftyキヤノンステーション（http://www.nifty.com）

@niftyアクセス後、キヤノンステーションへのGOコマンド「SCANON」を入力してください。「電子会議」の「【プリンタ LASER SHOT】インフォメーション」内に掲載されています。
※キヤノンステーションは会員制のスクエアです。@niftyで予め入会の手続きをお取りください。

■ ソフトウェアの入手方法

ダウンロードサービスおよび郵送サービスにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

❑ キヤノン販売ホームページ（http://www.canon-sales.co.jp/）

キヤノン販売ホームページにアクセス後、ダウンロードサービスをクリックしてください。

❑ @niftyキヤノンステーション（http://www.nifty.com）

@niftyアクセス後、キヤノンステーションへのGOコマンド「SCANON」を入力してください。「データライブラリ」の「【LASER SHOT】ドライバ・ライブラリ」にプリンタドライバが登録されています。
※キヤノンステーションは会員制のスクエアです。@niftyで予め入会の手続きをお取りください。

❑ CD-ROM・FDの郵送サービス

郵送サービス手数料を郵便振替にてお払い込みいただき、プリンタドライバなどのソフトウェアのCD-ROMもしくはFDを郵送にてお届けいたします。お申し込み方法、ソフトウェアの種類、内容、金額はＦＡＸ情報サービス、キヤノン販売ホームページ（FAQ）などでご確認いただき、下記振込先へお払い込みください。
口座番号：00160-1-51418
口座名称：セザックス株式会社キヤノンプリンタドライバ係

- 「通信欄」には必ず「メディア名称・品番」をご記入ください。
- 「払込住所氏名欄」の記載住所へ発送いたします。なお、当サービスの対象エリアは日本国内とさせていただきます。
- お客様のお電話番号は必ずご記入ください。
- お払い込みには郵便局備え付けの払込書をご利用ください。払込料金はお客様負担となります。
- ソフトウェアの種類により、CD-ROM/FDのメディアが異なります。

■■■■■■■■■■■■■■■■■ お客様ご相談窓口について ■■■■■■■■■■■■■■

COLOR LASER SHOT LBP-2360/2300の取り扱い方法、消耗品などのお問い合わせ、および修理サービスについてのご相談は、お買い上げの販売店または下記の窓口にご相談ください。

■ 製品取り扱い方法ご相談窓口

技術的なご質問・お取り扱い方法については、下記の窓口にご相談ください。

お客様相談センター　全国共通電話番号　　キヤノンお客様サポートネット

TEL 0570-01-9000 <該当番号：42>*1

全国6４ヶ所の最寄りのサービス拠点までの通話料金のみで製品に関するご質問に電話でお答えします。
なお、携帯電話等をご使用の場合は、（043）211-9627をご利用ください。

上記窓口の受付時間*2は以下のとおりです。
月曜〜金曜（祝日を除く）：9:00〜12:00、13:00〜18:00、19:00〜21:00
土、日、祝日（1/1〜1/3は休み）：10:00〜12:00、13:00〜17:00

*1 該当番号は予告なく変更することがあります。音声メッセージに従って該当番号を選択してください。
*2 受付時間は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

■ 消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、上記**お客様相談センター**までご相談ください。

■ 修理サービスのご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。ご不明な場合は、上記**お客様相談センター**までご相談ください。